

中部地方ダム年次報告書（令和3年次）



長島ダム



美和ダム



小渋ダム



新豊根ダム



寒狭川堰



矢作ダム



小里川ダム



丸山ダム



横山ダム



徳山ダム



岩屋ダム



阿木川ダム



長良川河口堰



味噌川ダム



蓮ダム

令和4年12月

国土交通省 中部地方整備局

独立行政法人 水資源機構 中部支社

目 次

はじめに	2
------	---

令和3年中部地方ダムの概要	3
---------------	---

1. 概要

(1) ダム諸元	4
----------	---

(2) 容量配分	7
----------	---

(3) 令和3年中部地方の気象概要	11
-------------------	----

(4) 令和3年中部地方の月別降水量	12
--------------------	----

2. 貯水池運用	13
----------	----

3. 防災操作

(1) 洪水調節図（概念図）	28
----------------	----

(2) 各ダムの防災操作	30
--------------	----

4. 利水

(1) 各ダムの貯水容量	49
--------------	----

(2) 各ダムの回転率	51
-------------	----

5. 堆砂

(1) 堆砂状況	55
----------	----

(2) 堆砂対策	57
----------	----

6. 水質

(1) 水質の現況	58
-----------	----

(2) 水質変化現象	60
------------	----

7. 生物

(1) 調査実施状況	61
------------	----

(2) 重要種・外来種の選定基準	64
------------------	----

(3) 調査結果の概要	65
-------------	----

(4) 環境保全対策の実施状況	70
-----------------	----

8. 水源地域動態

(1) ダム湖利用状況	72
-------------	----

(2) 水源地域ビジョン	75
--------------	----

はじめに

- 対象は、美和ダム、小渋ダム、新豊根ダム、矢作ダム、丸山ダム、横山ダム、徳山ダム、蓮ダム、長島ダム、寒狭川堰、小里川ダム、岩屋ダム、阿木川ダム、長良川河口堰、味噌川ダムの15ダムです。
- とりまとめは、「年次報告書作成の手引き（平成15年度版）」をもとに、これまでのフォローアップ委員会での意見等を踏まえ、令和3年のフォローアップ調査結果として整理しました。

令和3年 中部地方ダムの概要

<3>

■ 貯水池運用

年間降水量は近10ヶ年平均と比較して、櫛田川水系を除く6水系では多く、洪水期の月別降水量は、7月、8月で前線の影響によりほとんどの水系で多い傾向がみられました。貯水池運用に際しては、1～6月の間に蓮ダム、阿木川ダム、味噌川ダムで例年よりやや低く推移、徳山ダムではやや高く推移していましたが、年間通じては、概ね計画通りの貯水池運用を行いました。

■ 防災操作

横山ダム（1回）、丸山ダム（1回）、小渋ダム（3回）、小里川ダム（2回）、矢作ダム（1回）、新豊根ダム（3回）、美和ダム（5回）、岩屋ダム（5回）、阿木川ダム（3回）、味噌川ダム（2回）、徳山ダム（4回）で計30回実施しました。

■ 利水

各ダムともに適切に発電及び利水補給を実施しました。回転率（総流入量/非洪水期利水容量）においても、概ね例年通りとなっています。

■ 堆砂

美和ダム、小渋ダム、丸山ダムにおいて計画年間堆砂量を大きく上回る堆砂量となりましたが、その他の各ダムでは、平年並みもしくはそれ以下の堆砂進行状況でした。

■ 水質

環境基準が設定されている項目は、令和3年において概ね基準値を満足していましたが、BOD及び大腸菌群数は基準値を超過するダムがみられました。全てのダムにおいて、管理上問題となる水質障害は発生していませんでした。

■ 生物

河川水辺の国勢調査、フォローアップ調査等については、下記のように実施しました。

魚類：蓮ダム

植物プランクトン：美和ダム、小渋ダム、新豊根ダム、丸山ダム、蓮ダム

植物：横山ダム、丸山ダム、徳山ダム、岩屋ダム、阿木川ダム、味噌川ダム

鳥類：矢作ダム

陸上昆虫類等：長島ダム

環境基図：新豊根ダム、小渋ダム、美和ダム

フォローアップ調査：寒狭川堰、長良川河口堰

■ 水源地域動態

各ダムにおいて、ダム見学やインターネットを用いた動画配信等を行いました。

1. 概要

(1) ダム諸元(1)

<4>

ダム名		長島(ながしま)ダム	美和(みわ)ダム	小渋(こしぶ)ダム	新豊根(しんとよね)ダム	寒狭川(かんさがわ)堰	矢作(やはぎ)ダム	小里川(おりがわ)ダム
水系名及び河川名		大井川水系 大井川	天竜川水系 三峰川	天竜川水系 小渋川	天竜川水系 大入川	豊川水系 豊川	矢作川水系 矢作川	庄内川水系 小里川
完成年度		平成14年	昭和34年	昭和44年	昭和48年	平成9年	昭和46年	平成16年
管理事務所等名		長島ダム管理所	天竜川ダム統合管理事務所 美和ダム管理支所	天竜川ダム統合管理事務所	浜松河川事務所 新豊根ダム管理支所	中部地方整備局および (独)水資源機構	矢作ダム管理所	庄内川河川事務所 小里川ダム管理支所
所在地		左岸： 静岡県榛原郡根本町梅地	左岸： 長野県伊那市高遠町勝間	左岸： 長野県下伊那郡松川町生田	左岸： 愛知県北設楽部豊根村古真立字月代1-3	左岸： 愛知県新城市玖老勢字大曲	左岸： 愛知県豊田市閑羅瀬町	左岸： 岐阜県瑞浪市陶町水上
		右岸： 静岡県榛原郡川根本町犬間	右岸： 長野県伊那市長谷非持345	右岸： 長野県上伊那郡中川村大草6884-19	右岸： 愛知県北設楽部豊根村古真立字後山1-1	右岸： 愛知県新城市玖老勢字向山	右岸： 岐阜県恵那市串原閑羅瀬	右岸： 岐阜県恵那市山岡町田代1565-21
ダムの外観								
ダムの諸元	ダムの形式	G:重力式コンクリートダム	G:重力式コンクリートダム	A:アーチ式コンクリートダム	A:アーチ式コンクリートダム	可動堰(洪水吐き:ローラーゲート2門)	A:アーチ式コンクリートダム	G:重力式コンクリートダム
	ダムの目的	ⓕⓃⓐⓌⓈⓔ	ⓕⓃⓐⓌⓈⓔ	ⓕⓃⓐⓌⓈⓔ	ⓕⓃⓐⓌⓈⓔ	ⓕⓃⓐⓌⓈⓔ	ⓕⓃⓐⓌⓈⓔ	ⓕⓃⓐⓌⓈⓔ
	堤高	109m	69.1m	105.0m	116.5m	3.9m(堰上高)	100m	114m
	堤頂長	308m	367.5m	293.3m	311.0m	58m(堰長)	323.1m	331.1m
	流域面積	534.3km ²	311.1km ²	288.0km ²	136.3km ²	300km ²	504.5km ²	55km ²

※ダムの目的 F:洪水調節、N:流水の正常な機能の維持、A:特定かんがい、W:上水、I:工水、P:発電

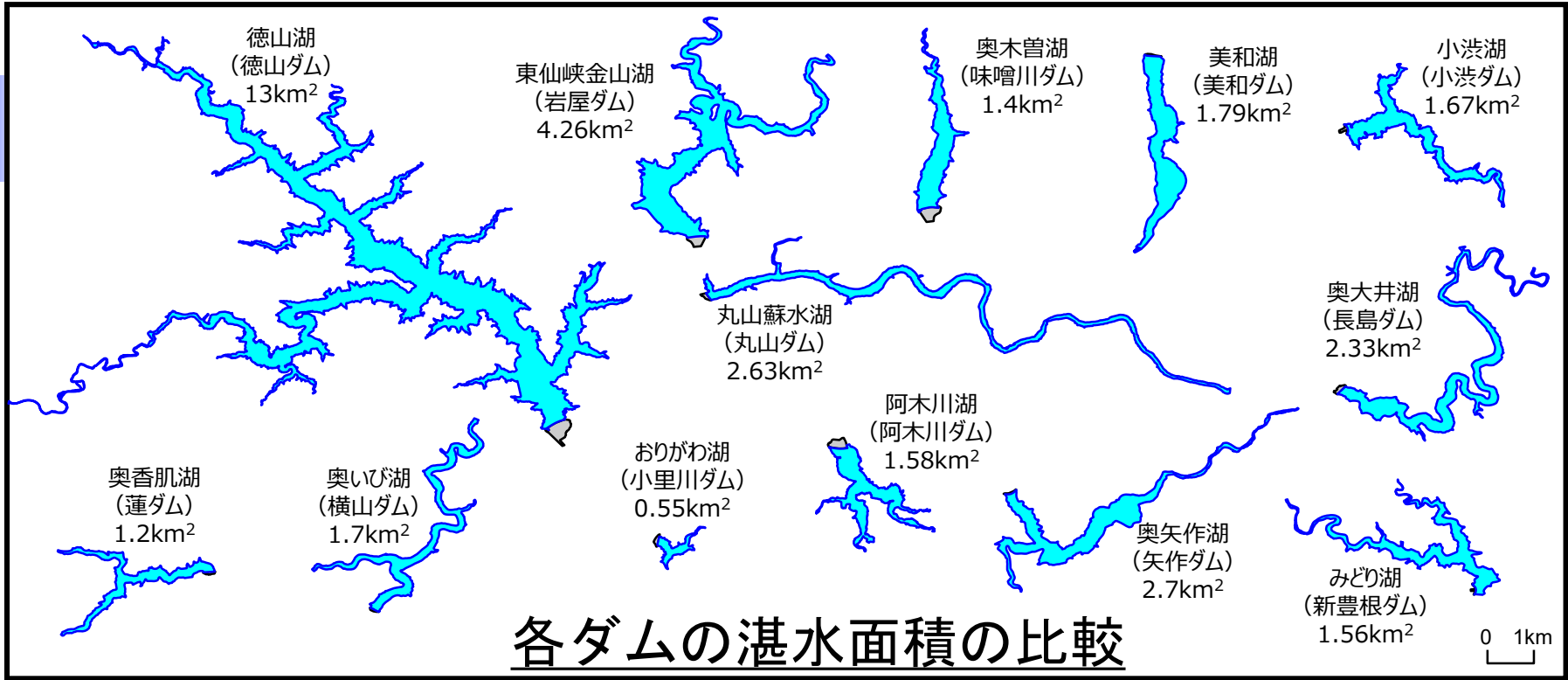
1. 概要

(1) ダム諸元(2)

<5>

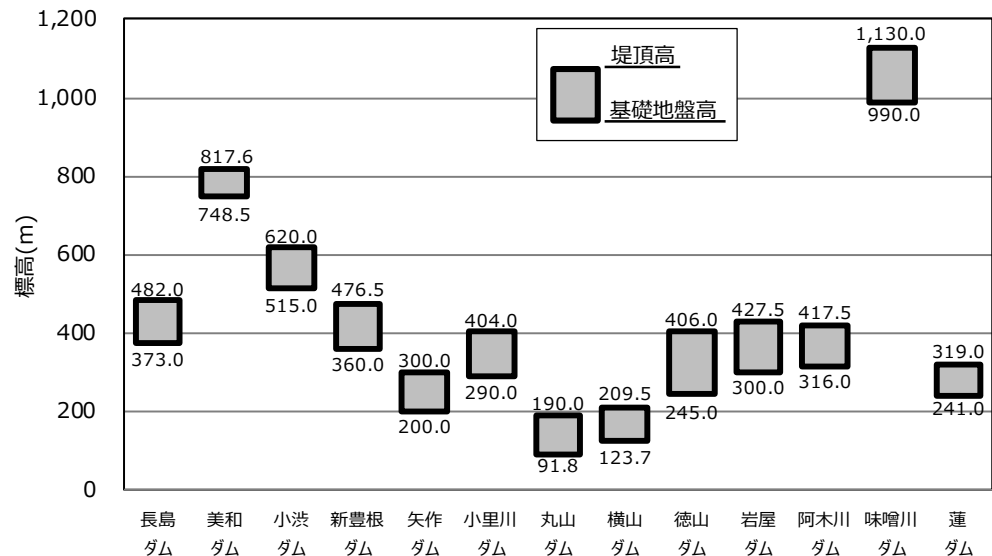
ダム名		丸山(まるやま)ダム	横山(よこやま)ダム	徳山(とくやま)ダム	岩屋(いわや)ダム	阿木川(あぎがわ)ダム	長良川河口堰 (ながらがわこうぜき)	味噌川(みそがわ)ダム	蓮(はちす)ダム
水系名及び河川名		木曽川水系 木曽川	木曽川水系 揖斐川	木曽川水系 揖斐川	木曽川水系 馬瀬川	木曽川水系 阿木川	木曽川水系 長良川	木曽川水系 木曽川	櫛田川水系 蓮川
完成年度		昭和29年	昭和39年	平成19年	昭和51年	平成2年	平成6年	平成8年	平成3年
管理事務所等名		丸山ダム管理所	木曽川上流河川事務所 横山ダム管理支所	(独)水資源機構 徳山ダム管理所	(独)水資源機構 岩屋ダム管理所	(独)水資源機構 阿木川ダム管理所	(独)水資源機構 長良川河口堰管理所	(独)水資源機構 味噌川ダム管理所	蓮ダム管理所
所在地		左岸： 岐阜県可児郡御嵩町小 和沢字北浦山 右岸： 岐阜県加茂郡八百津町 八百津字安渡	左岸： 岐阜県揖斐郡揖斐川町 東横山 右岸： 岐阜県揖斐郡揖斐川町 西横山	左岸： 岐阜県揖斐郡揖斐川町 徳山、東杉原 右岸： 岐阜県揖斐郡揖斐川町 開田、鶴見	左岸： 岐阜県下呂市金山町卯 野原6-44 右岸： 岐阜県下呂市金山町乙 原1549-3	左岸： 岐阜県恵那市東野字山 本 右岸： 岐阜県恵那市東野字花 無山	左岸： 三重県桑名市長島町十 日外面 右岸： 三重県桑名市大字福島	左岸： 長野県木曽郡木祖村大 字小木曽 右岸： 長野県木曽郡木祖村大 字小木曽	左岸： 三重県松阪市飯高町森 地先 右岸： 三重県松阪市飯高町森 地先
ダムの外観									
ダムの諸元	ダムの形式	G:重力式コンクリートダム	HG:中空重力式コンクリートダム	R:土質遮水型ロックフィルダム	R:土質遮水型ロックフィルダム	R:土質遮水型ロックフィルダム	可動堰	R:土質遮水型ロックフィルダム	G:重力式コンクリートダム
	ダムの目的	ⒻⒺⒶⓦⒾⓅ	ⒻⒺⒶⓦⒾⓅ	ⒻⒺⒶⓦⒾⓅ	ⒻⒺⒶⓦⒾⓅ	ⒻⒺⒶⓦⒾⓅ	ⒻⒺⒶⓦⒾⓅ	ⒻⒺⒶⓦⒾⓅ	ⒻⒺⒶⓦⒾⓅ
	堤高	98.2m	80.8m	161m	127.5m	101.5m		140m	78m
	堤頂長	260.0m	220.0m	427.1m	366m	362m	661m（堰総延長）	446.9m	280m
	流域面積	2,409km ²	471km ²	254.5km ²	1,034.9km ² ※直接：264.9km ² 間接：770km ²	81.8km ²	1,985km ²	55.1km ²	80.9km ²

※ダムの目的 F：洪水調節、N：流水の正常な機能の維持、A：特定かんがい、W：上水、I：工水、P：発電



各ダムの標高

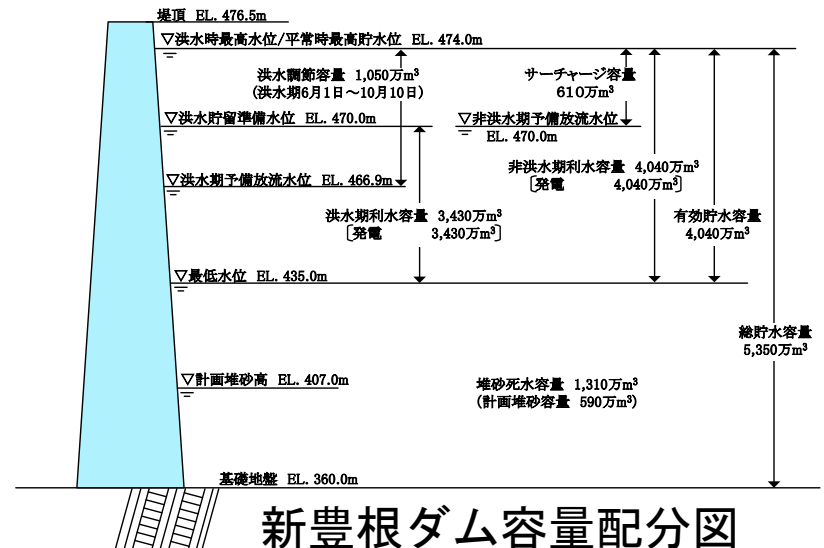
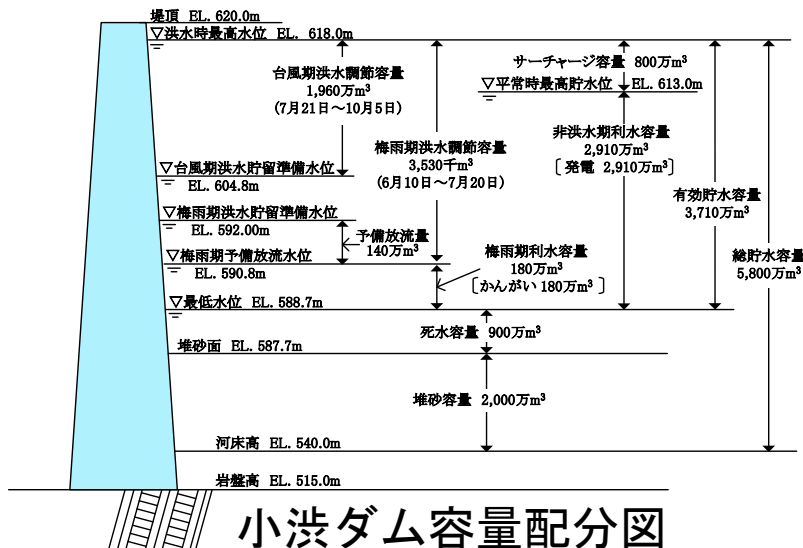
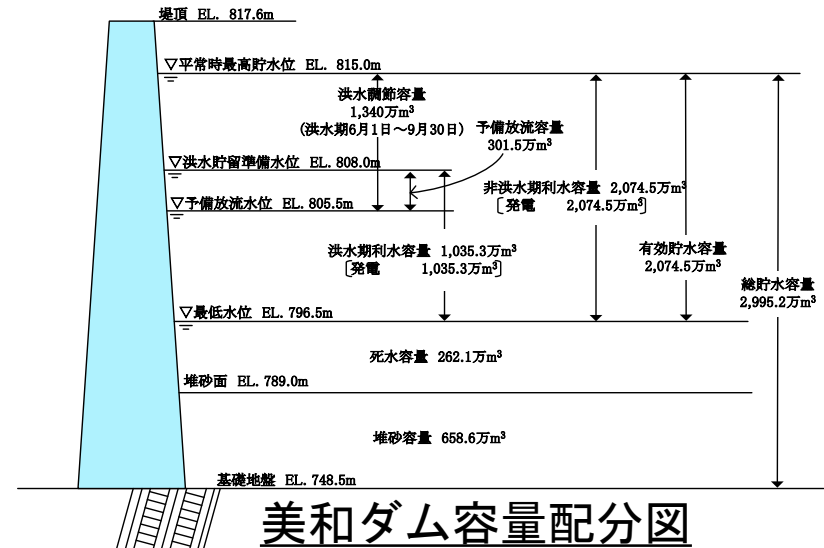
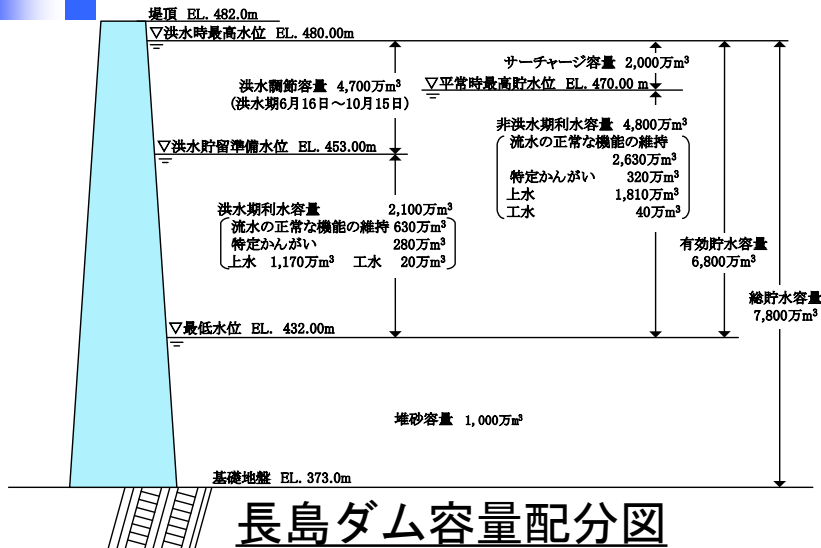
(堤頂高と基礎地盤高)



1. 概要

(2) 容量配分

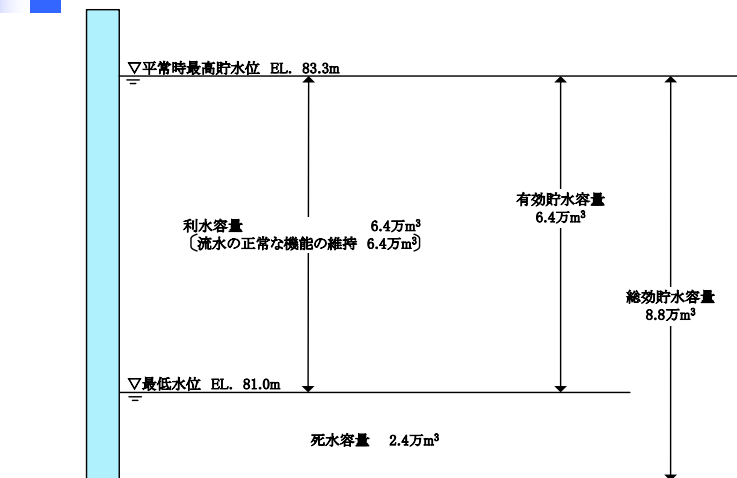
<7>



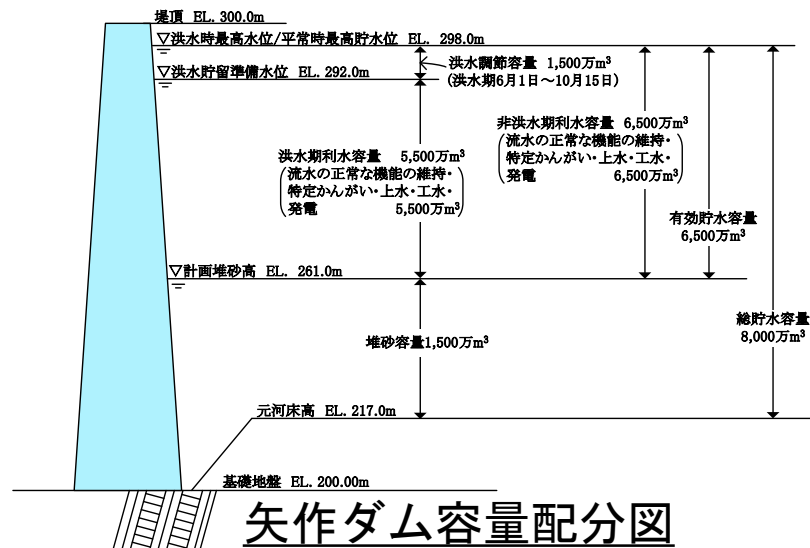
1. 概要

(2) 容量配分

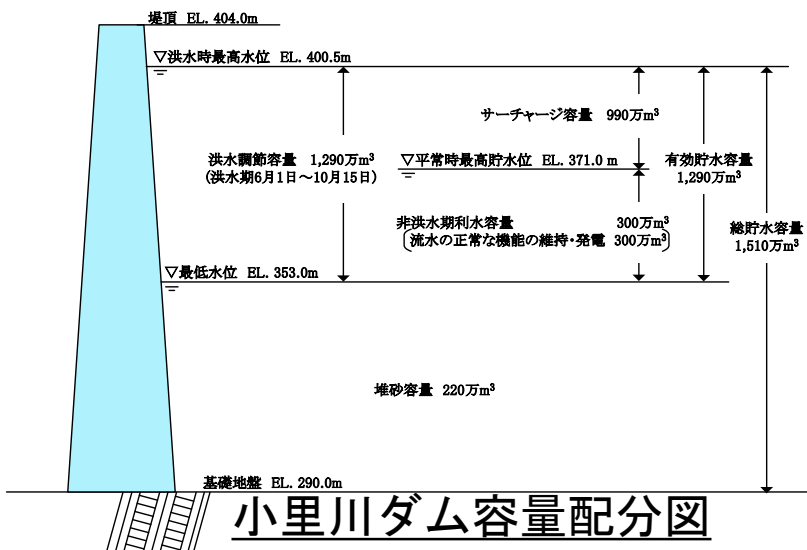
<8>



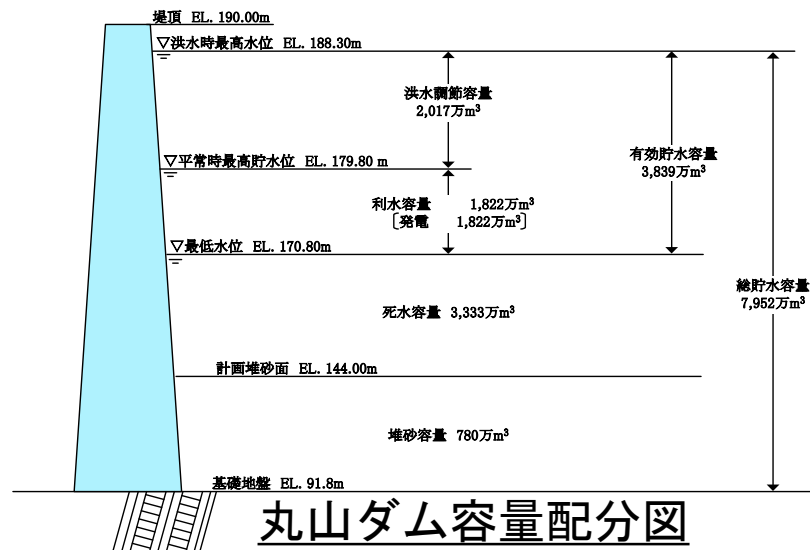
寒狭川堰容量配分図



矢作ダム容量配分図



小里川ダム容量配分図

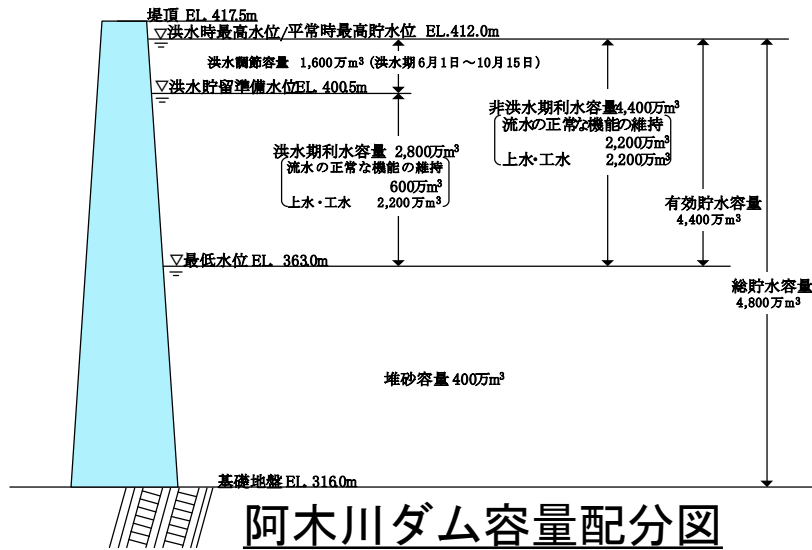
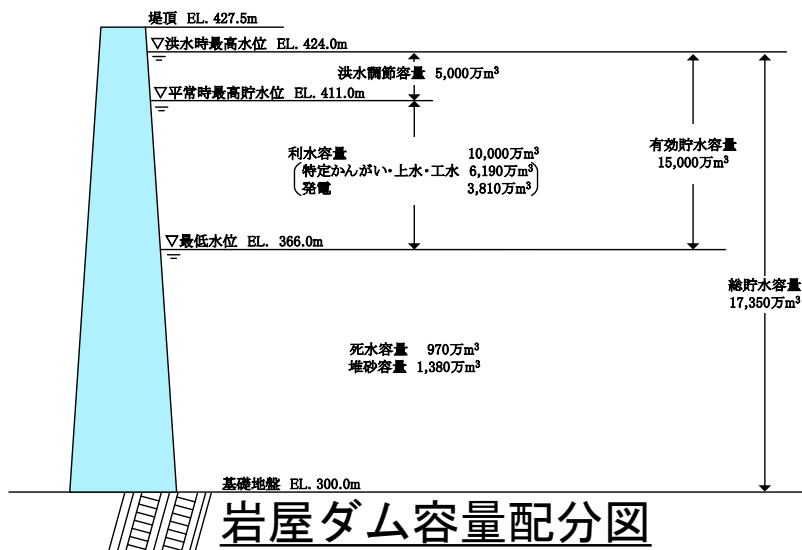
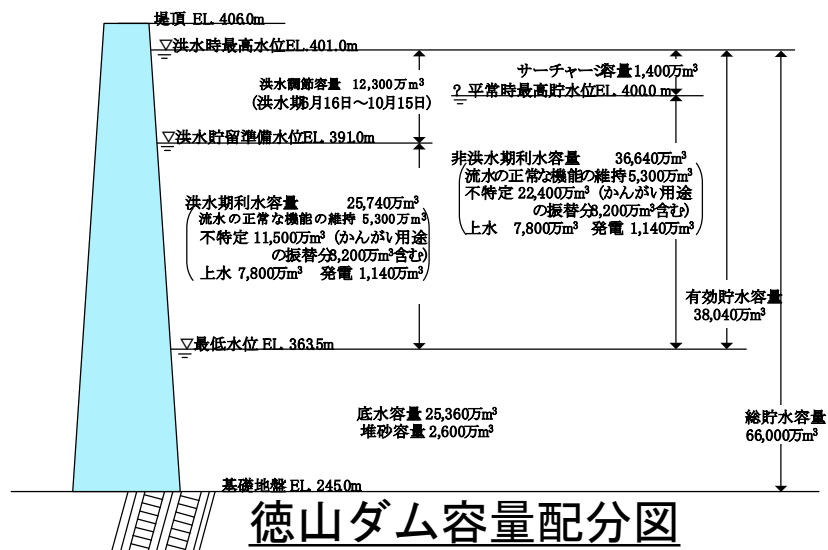
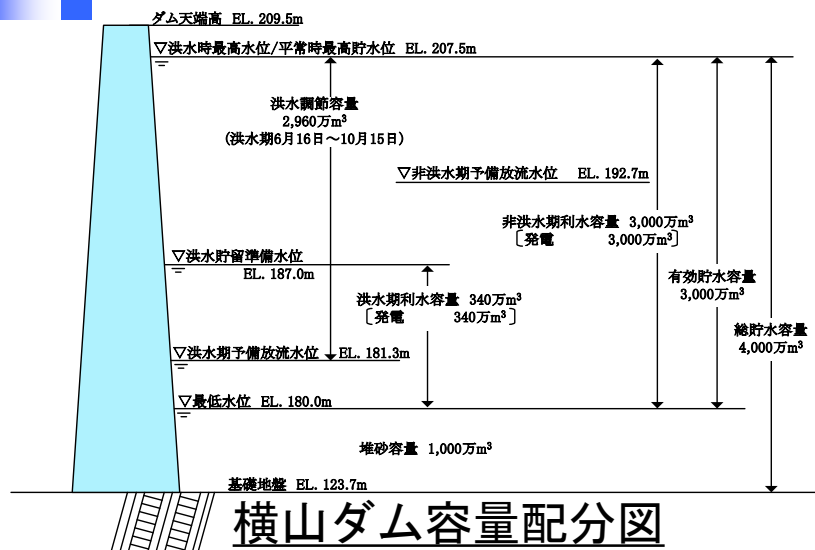


丸山ダム容量配分図

1. 概要

(2) 容量配分

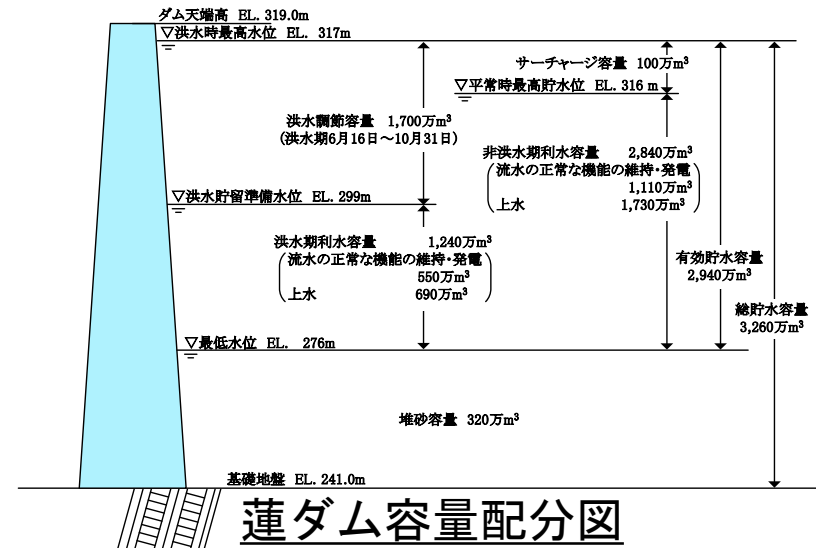
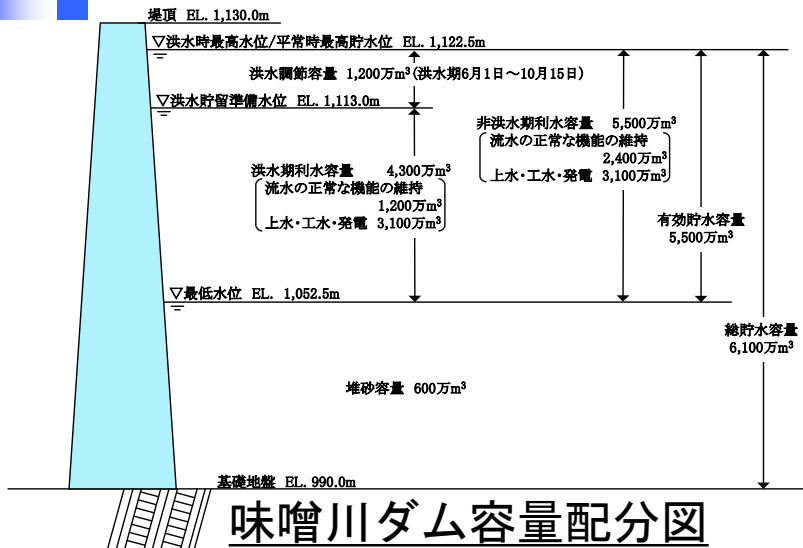
<9>



1. 概要

(2) 容量配分

<10>



※「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」（平成18年10月1日河川局長通知）によりダム水位関係の用語が以下のように変更となっています。

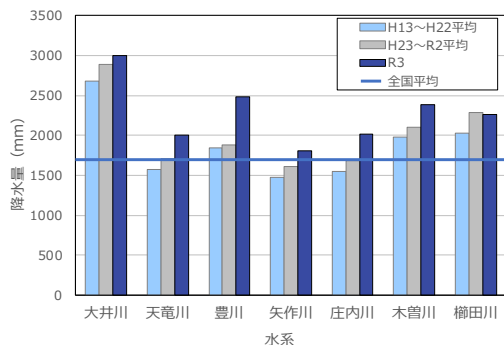
(旧) 設計洪水位	→	(新) 設計最高水位 (参考)
(旧) サーチージ水位	→	(新) 洪水時最高水位
(旧) 常時満水位	→	(新) 平常時最高貯水位
(旧) 洪水期制限水位	→	(新) 洪水貯留準備水位

1. 概要

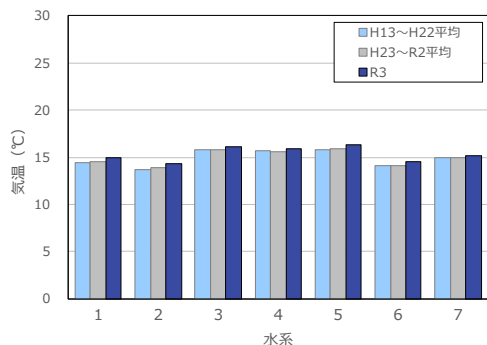
(3) 令和3年中部地方の気象概要

<11>

- ・降水量は平成23年～令和2年の10ヶ年平均（以下、過去10ヶ年平均という）に対して、櫛田川水系ではやや少なく、他は多かった。平均気温は各水系とも過去10ヶ年平均よりもやや高かった。
- ・台風発生は平年より少ない22個（平年値25.1個）であった。日本への接近数は平年より多い12個（平年値11.7個）であり、そのうち中部地方への接近数は3個であった。



年平均降水量



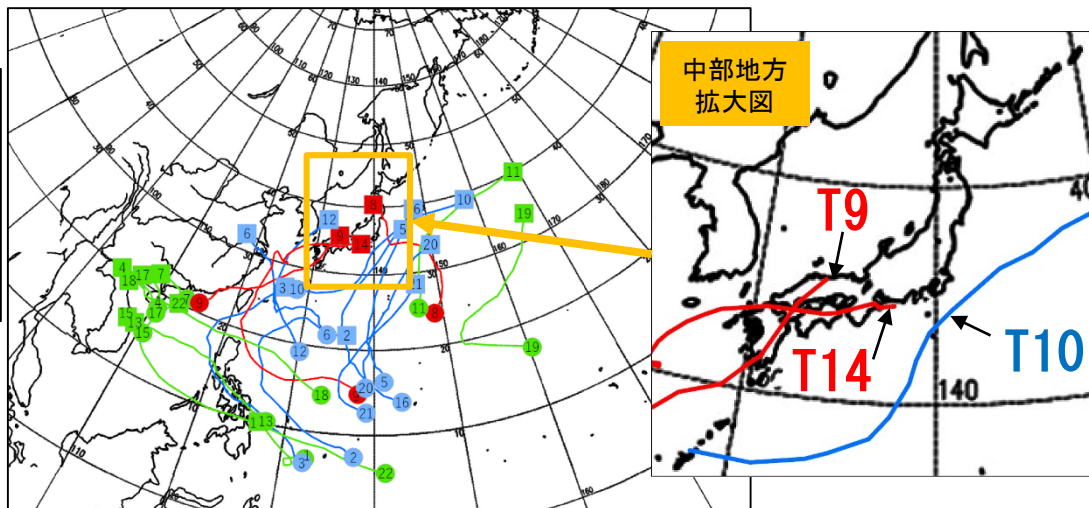
年平均気温

※ここで整理した降水量・気温は、各水系の河川整備基本方針・河川整備計画に記載のある観測所の平均をとったもの

中部地方に接近したR3台風

台風番号	接近日	防災操作実施ダム
台風9号	8月9日～8月10日	なし
台風10号	8月7日～8日	なし
台風14号	9月18日～19日	なし

出典：気象庁HPを基に作成



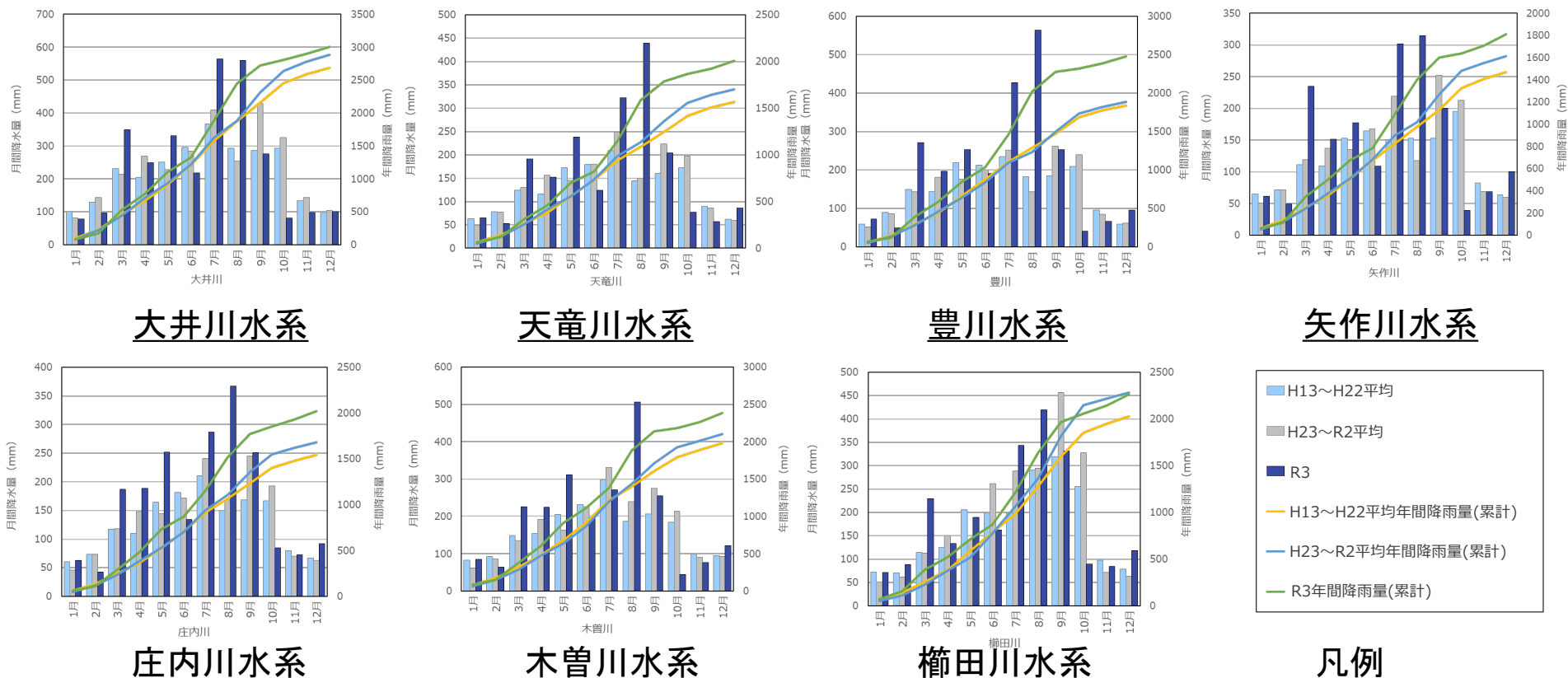
R3台風の発生と経路

1. 概要

(4) 令和3年中部地方の月別降水量

<12>

- ・洪水期の月別降水量は、7月、8月で前線の影響により多い傾向がみられ、特に8月は櫛田川水系を除く水系で過去10ヶ年と比べて約2倍程度大きい結果となった。
- ・6月、10月の降水量は過去10ヶ年と比べて少なく、特に10月は著しく少ない結果となった。



月別降水量の10ヶ年平均値との比較

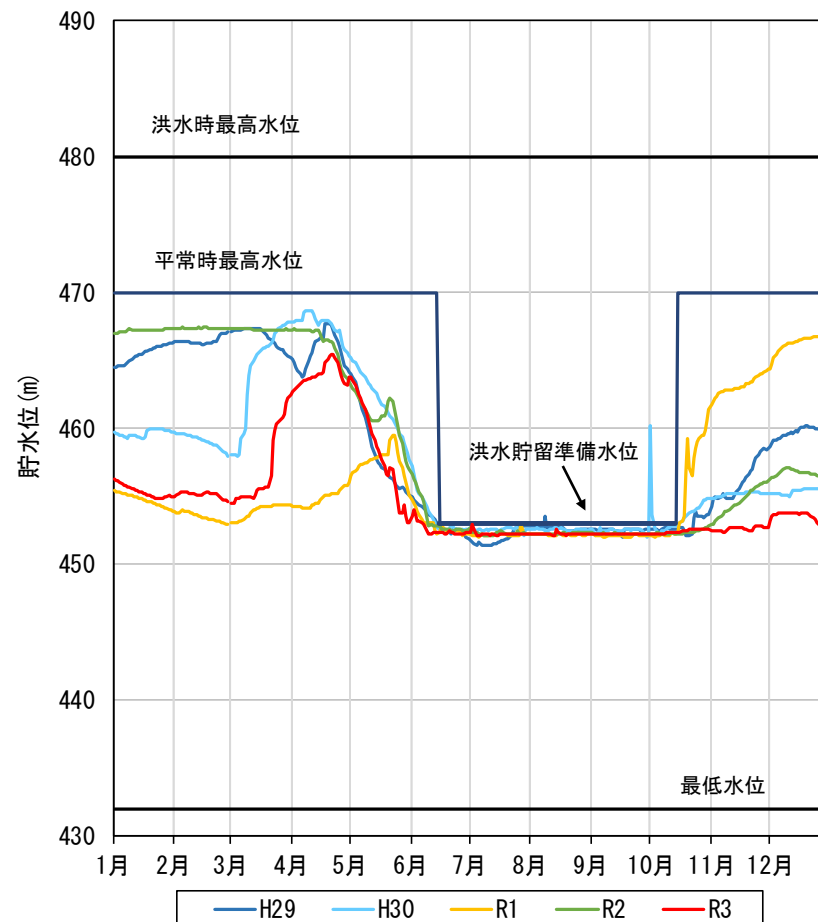
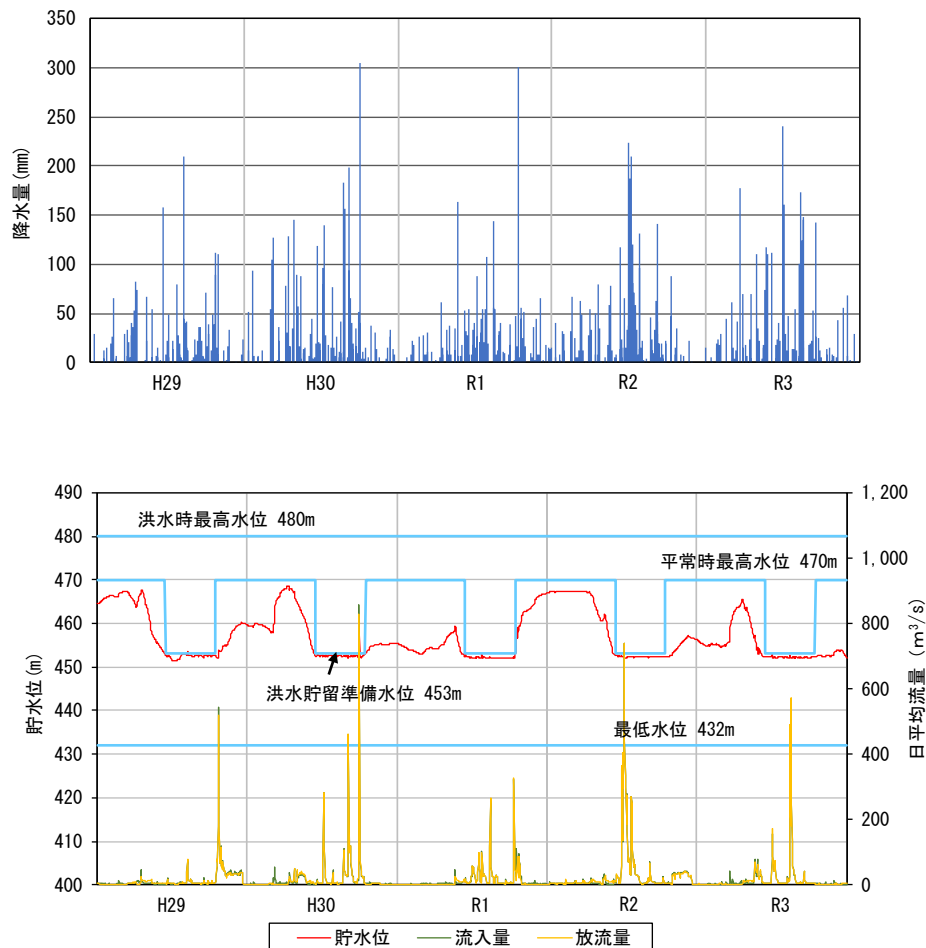
※ここで整理した月別降水量は、各水系の河川整備基本方針・河川整備計画に記載のある観測所の平均をとったもの

出典：気象庁HP

2. 貯水池運用 長島ダム

<13>

- 洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



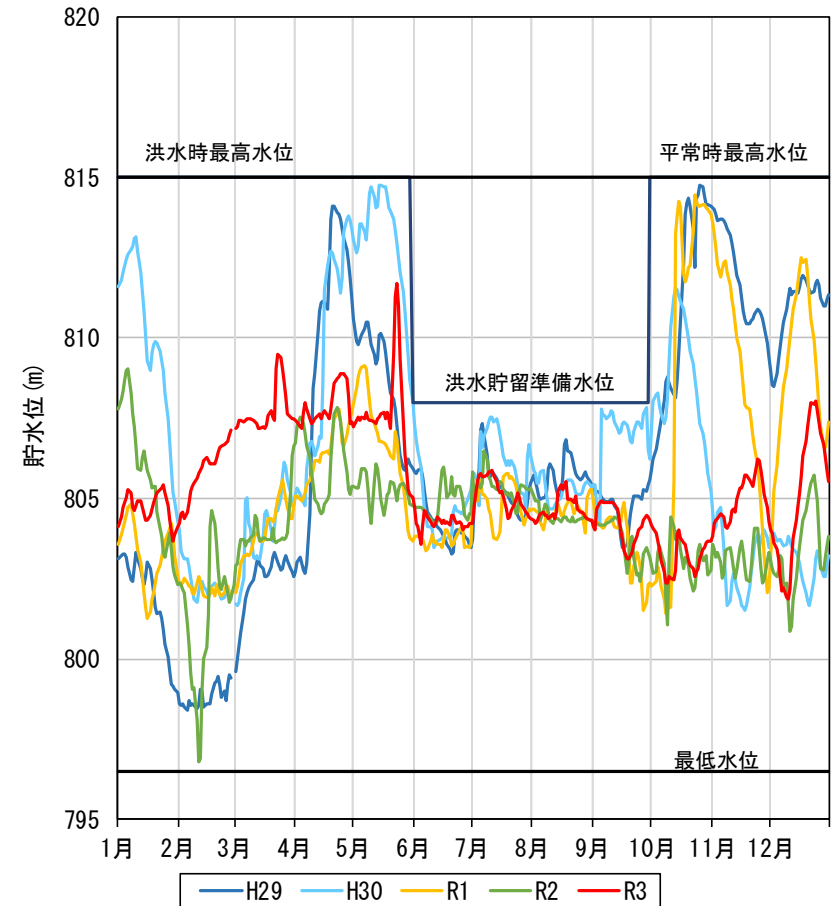
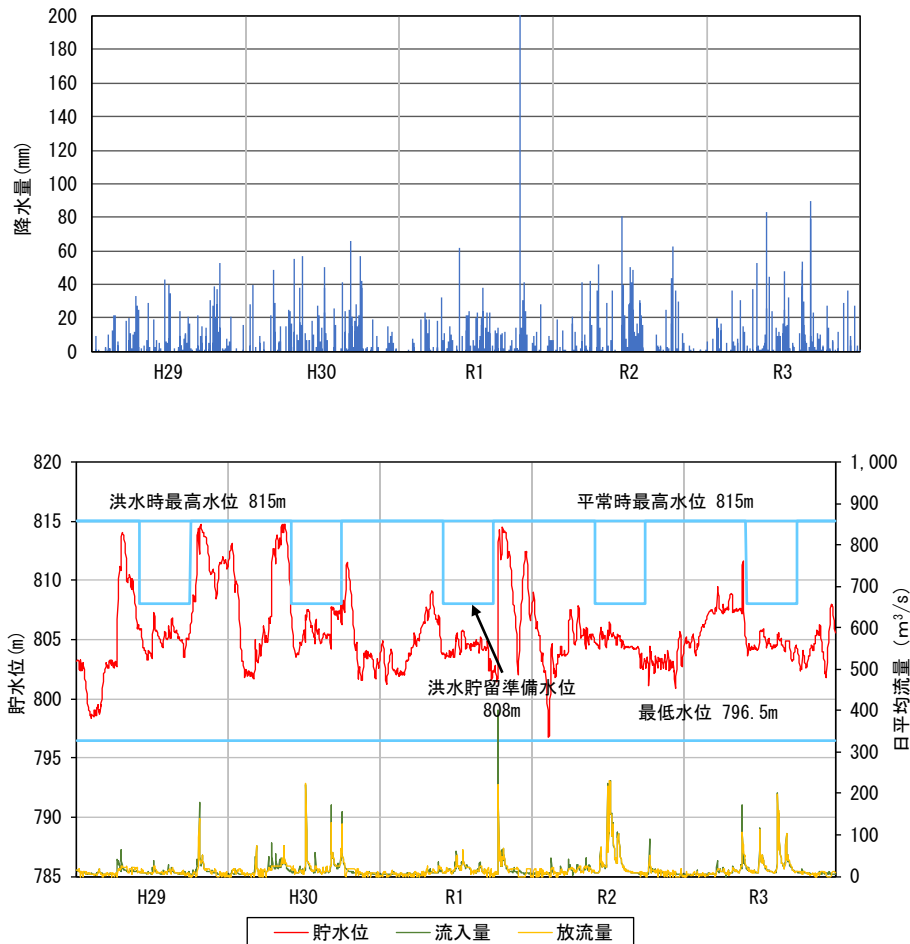
貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

貯水位(平成29年～令和3年)

2. 貯水池運用 美和ダム

<14>

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



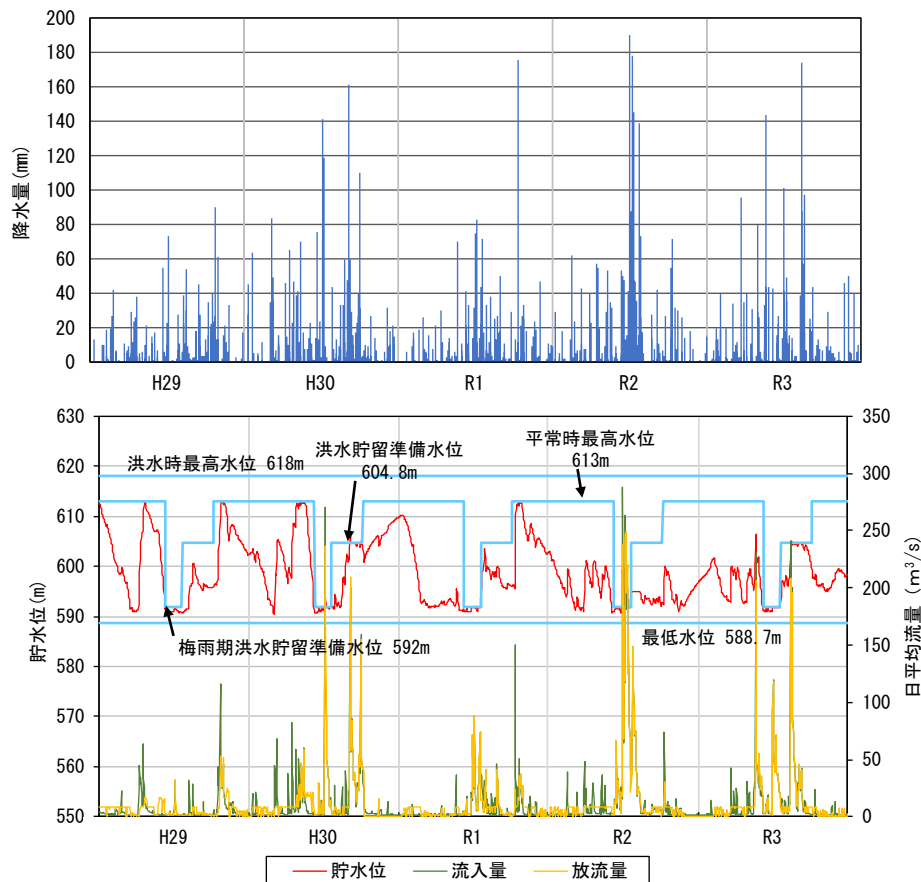
貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

貯水位(平成29年～令和3年)

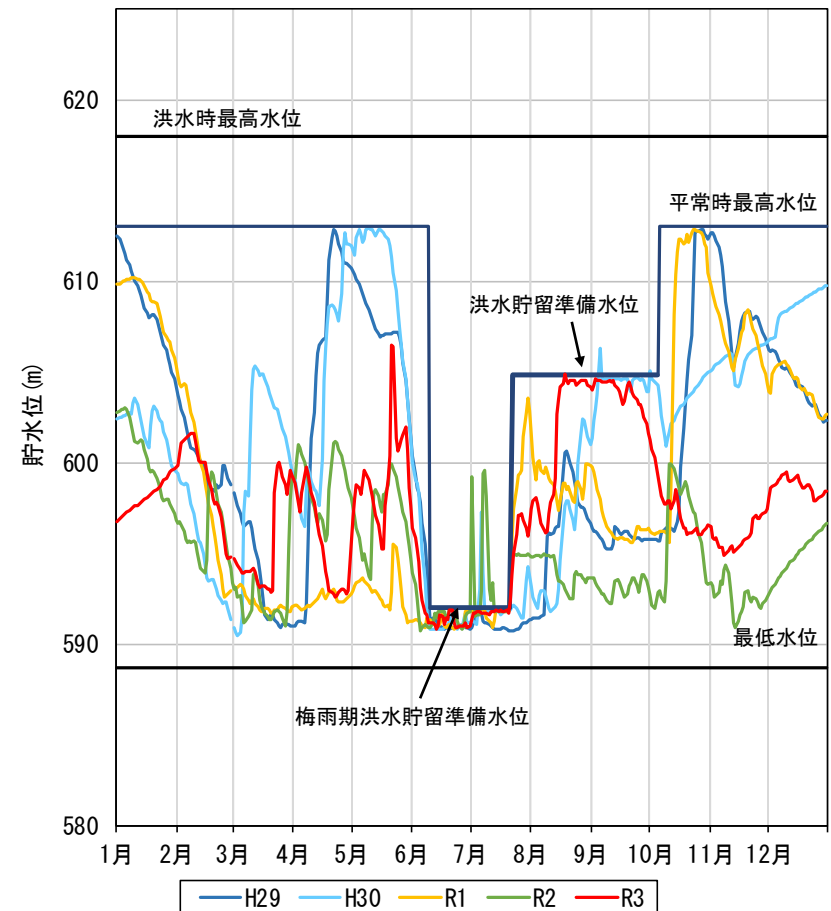
2. 貯水池運用 小洪ダム

<15>

- 発電運用、梅雨期洪水貯留準備水位、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

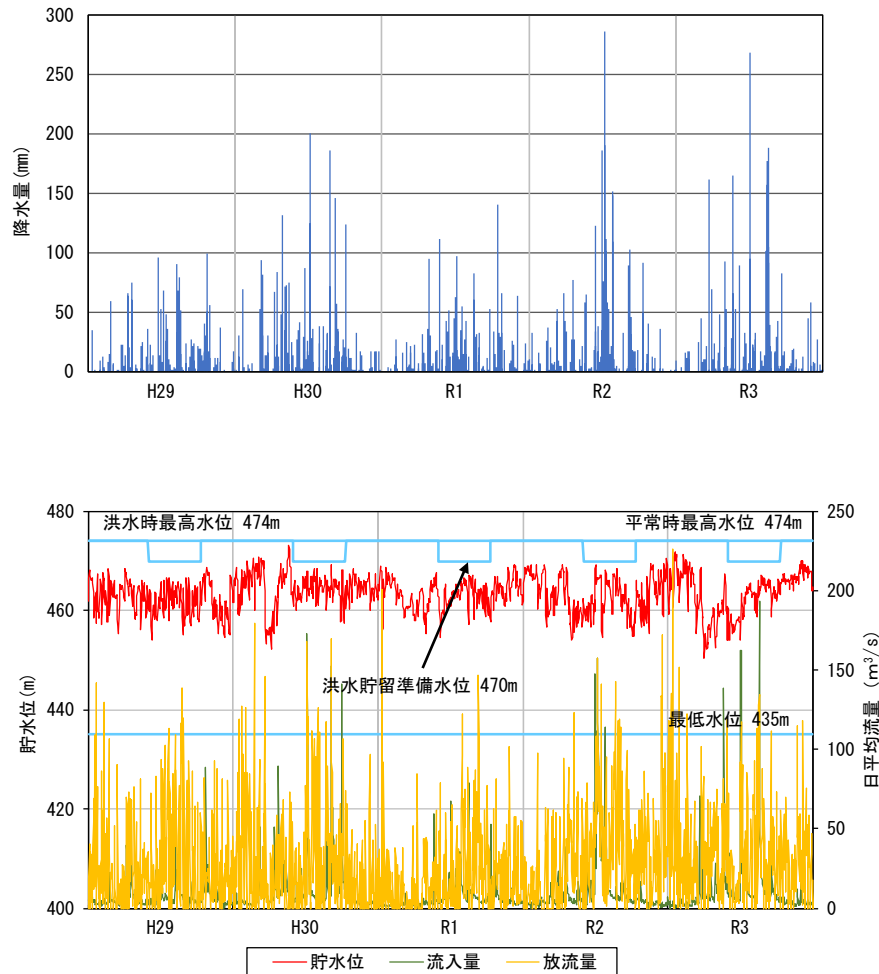


貯水位(平成29年～令和3年)

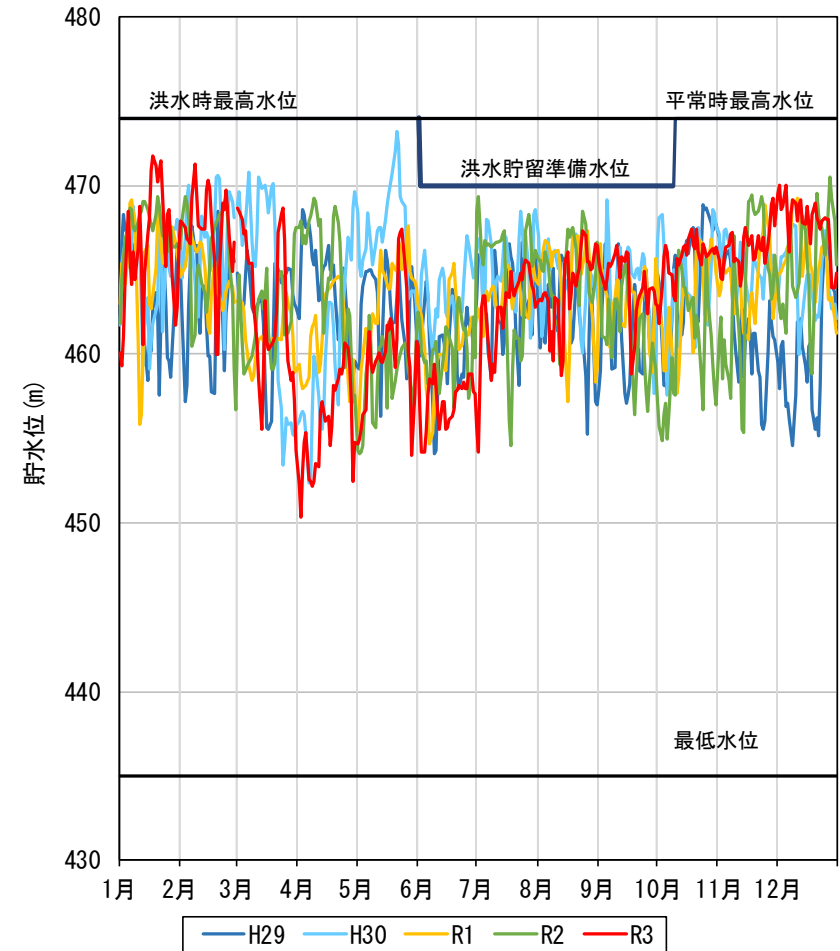
2. 貯水池運用 新豊根ダム

<16>

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

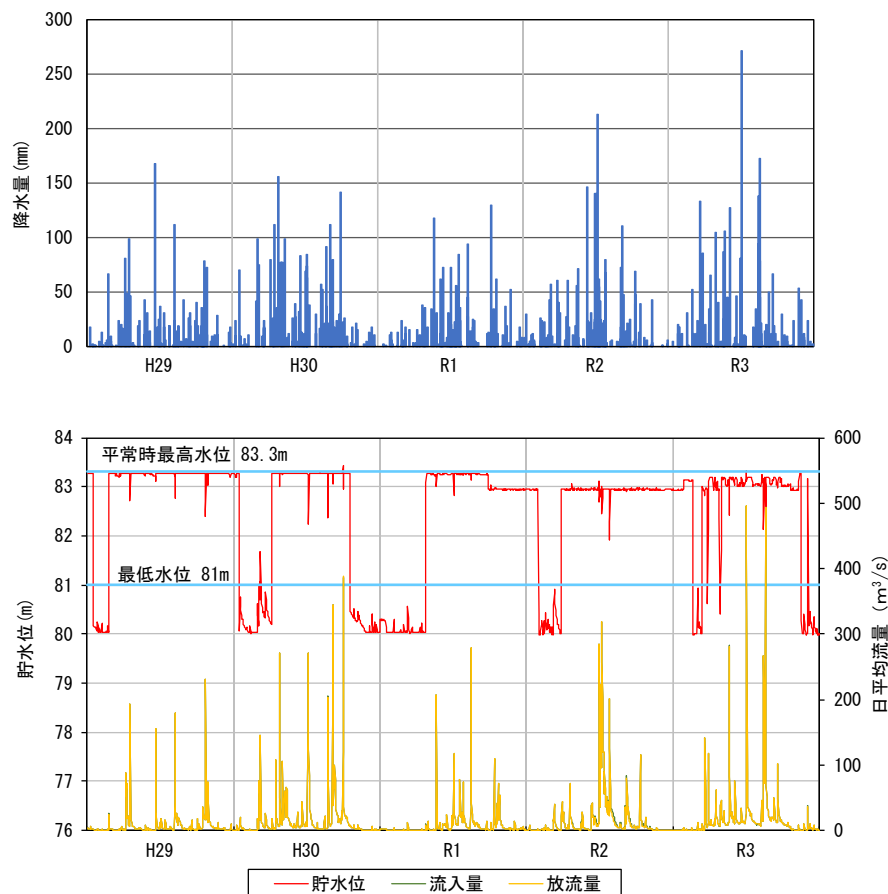


貯水位(平成29年～令和3年)

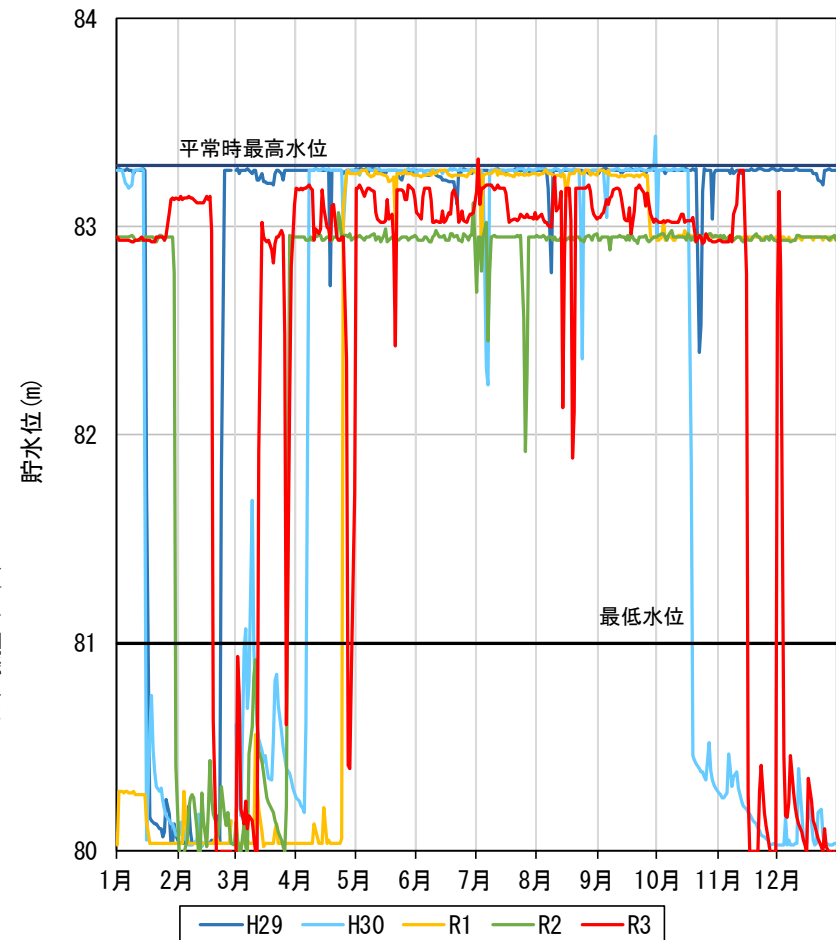
2. 貯水池運用 寒狭川堰

<17>

- 平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

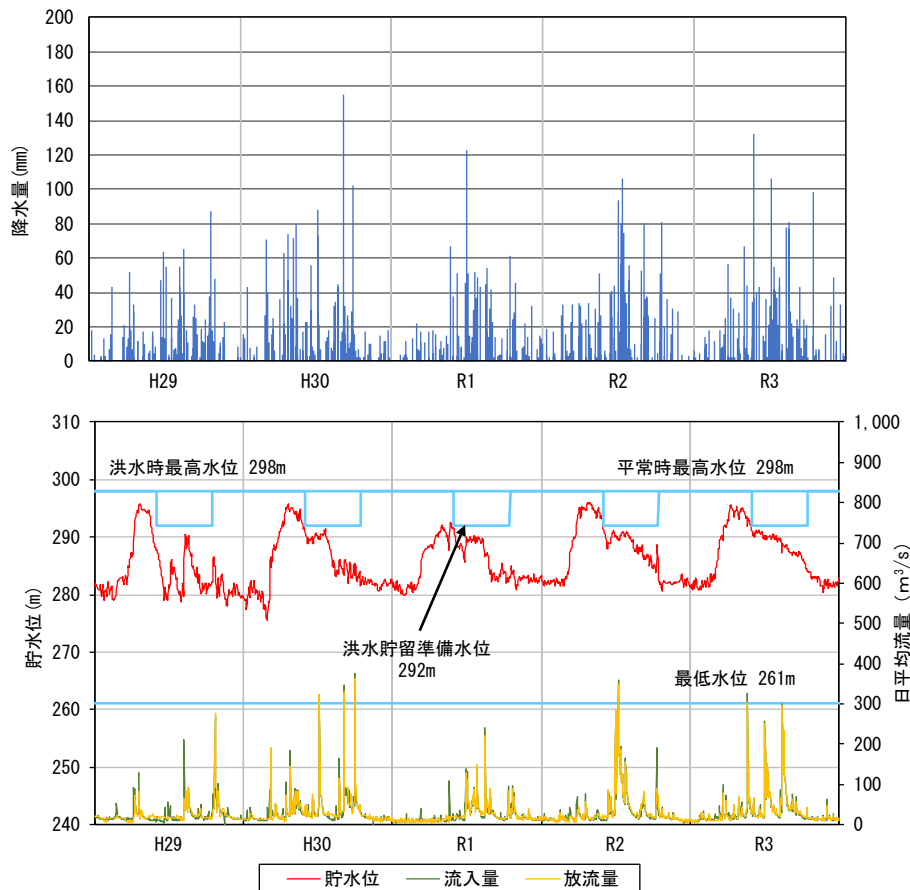


貯水位(平成29年～令和3年)

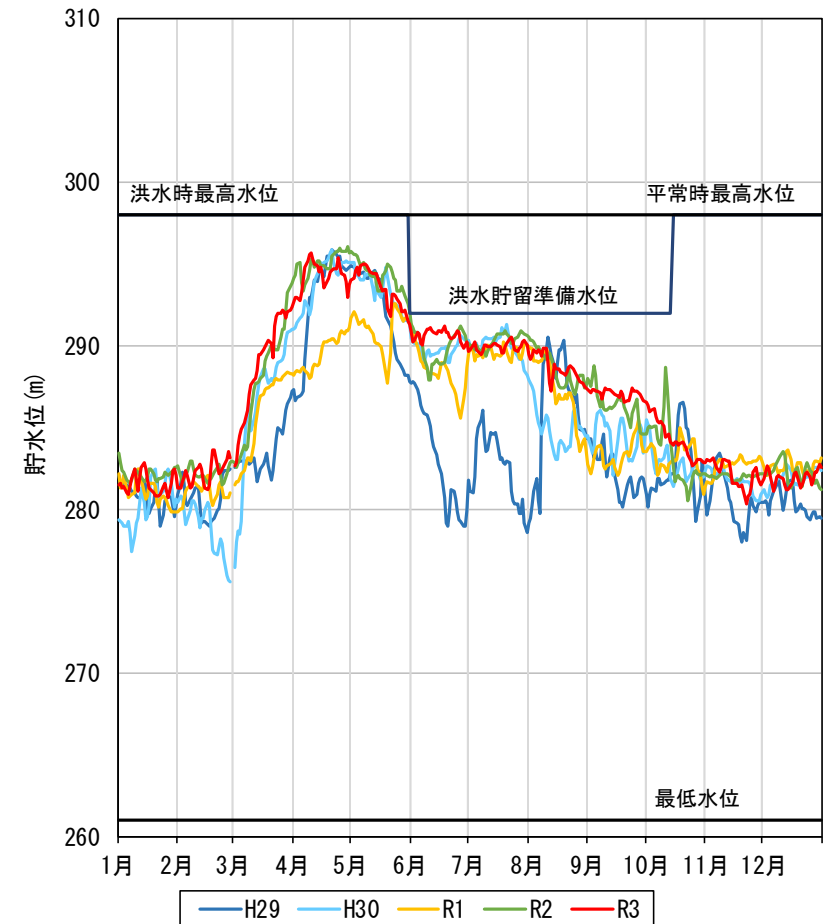
2. 貯水池運用 矢作ダム

<18>

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

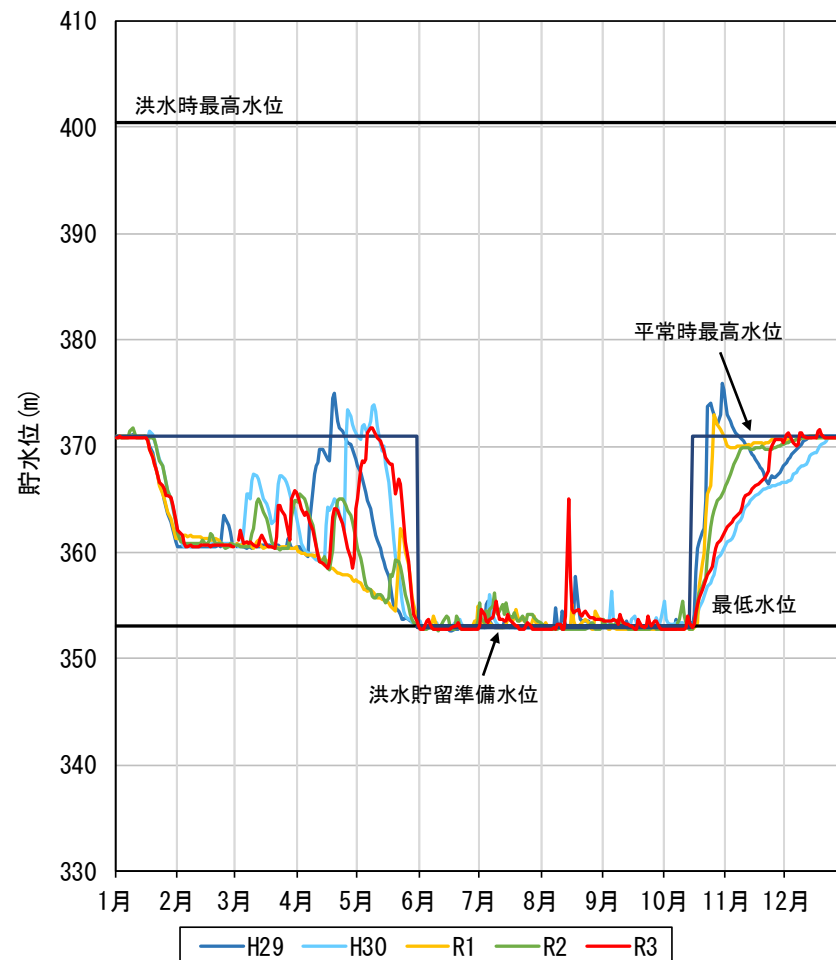
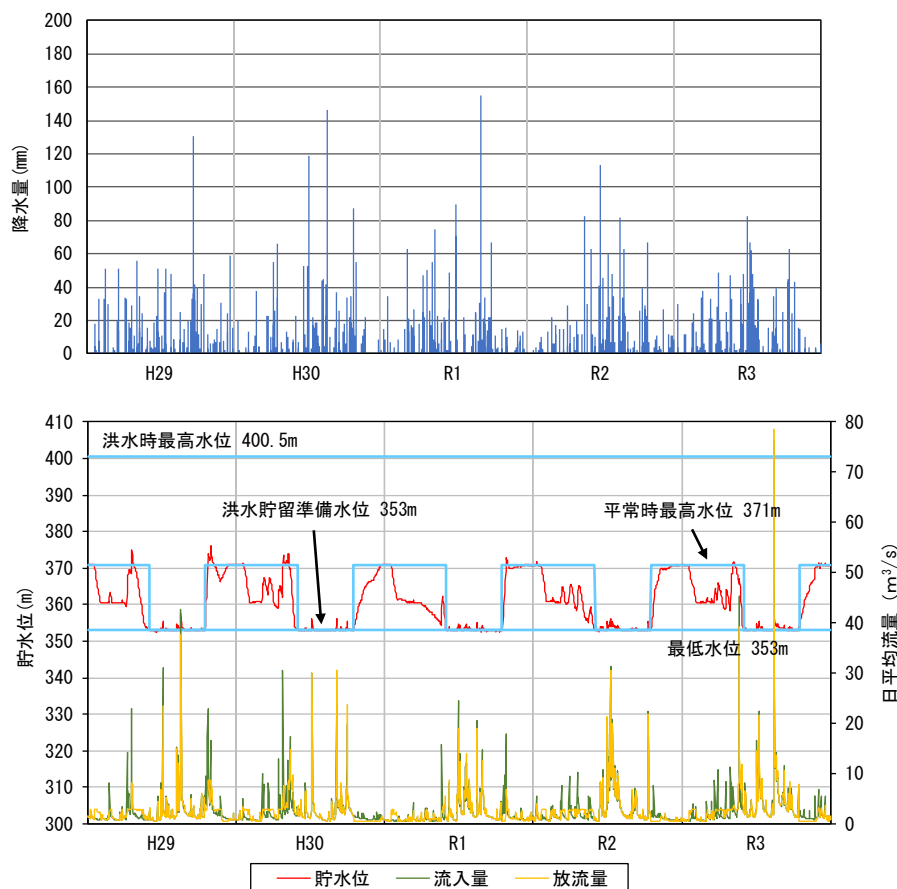


貯水位(平成29年～令和3年)

2. 貯水池運用 小里川ダム

<19>

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、7月の前線や台風の影響により洪水貯留準備水位より高い値で推移している。



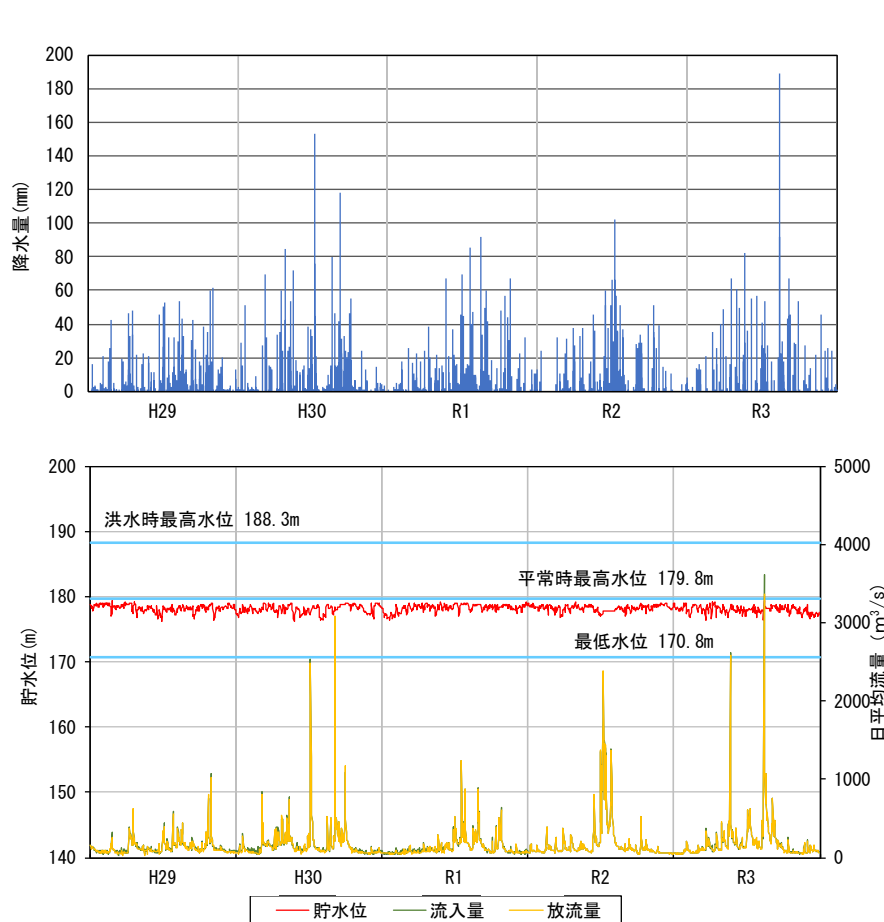
貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

貯水位(平成29年～令和3年)

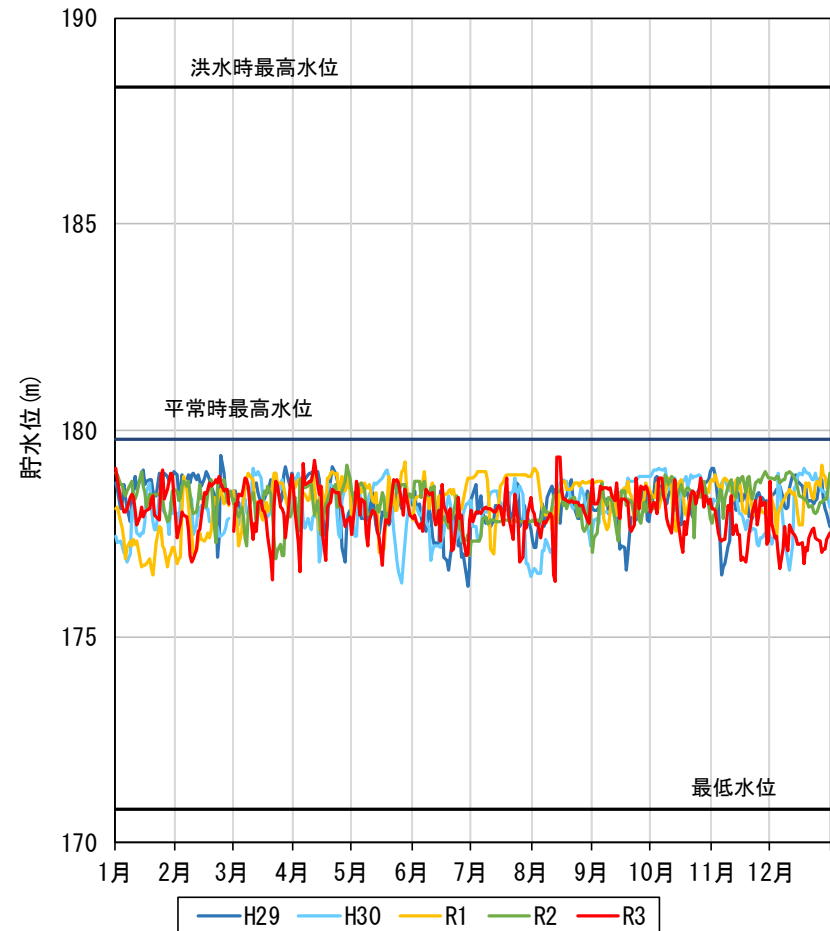
2. 貯水池運用 丸山ダム

<20>

- 発電運用及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、至近5ヵ年平均と概ね同様の傾向で変動している。



貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

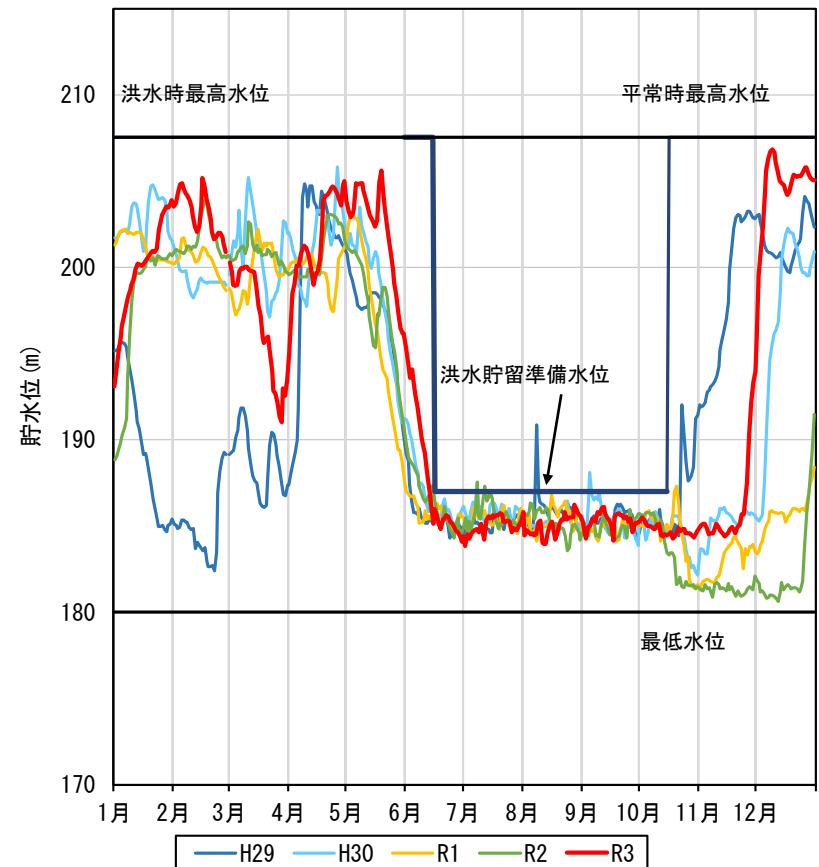
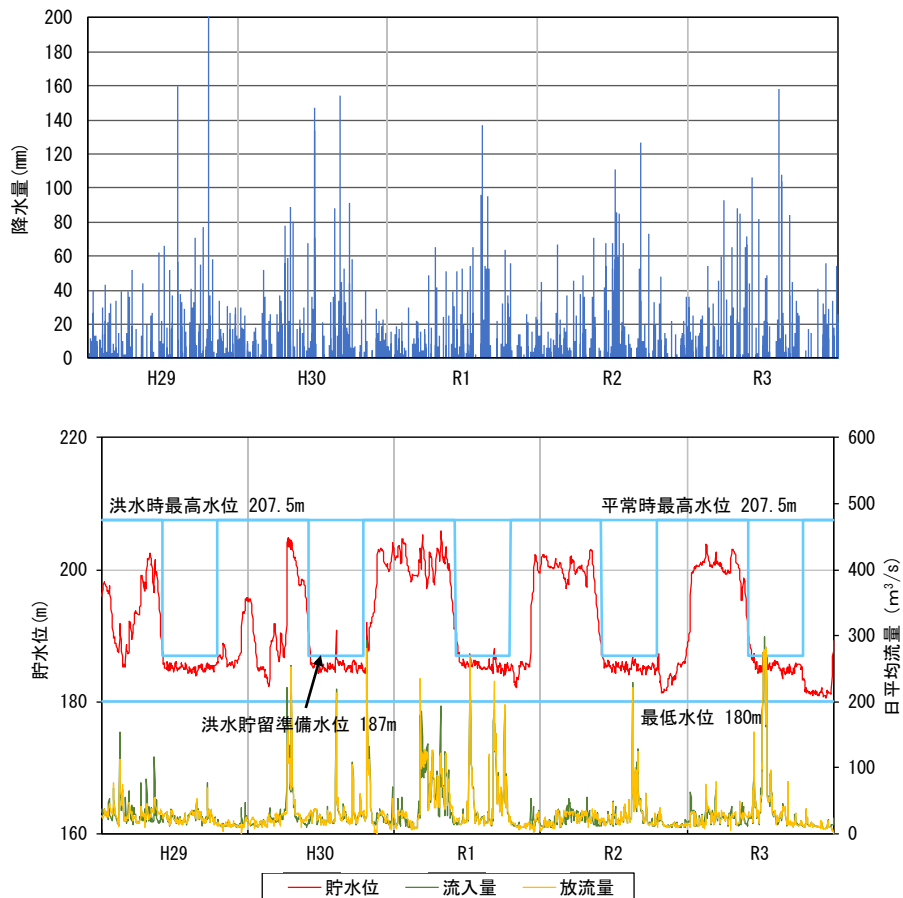


貯水位(平成29年～令和3年)

2. 貯水池運用 横山ダム

<21>

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



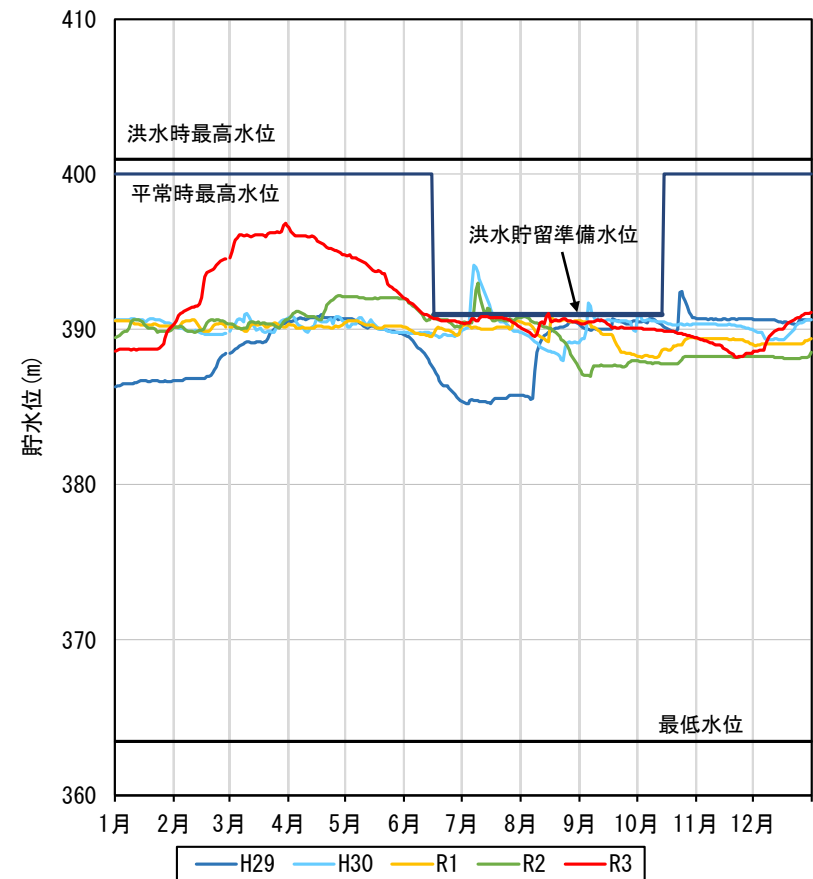
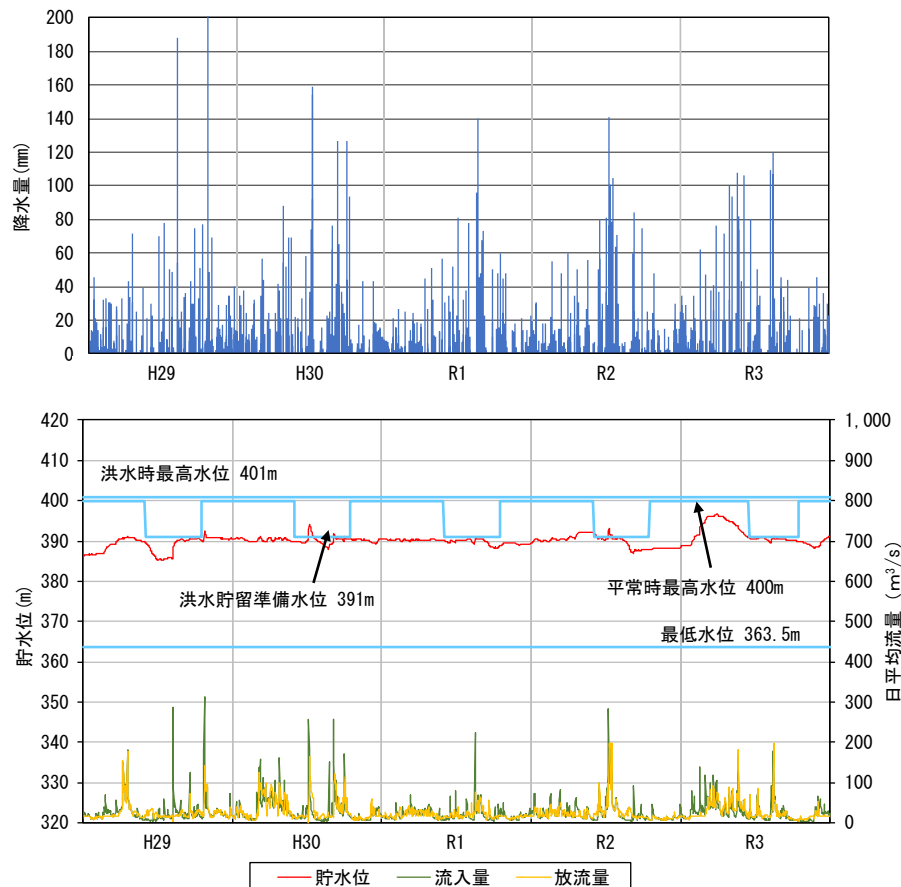
貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

貯水位(平成29年～令和3年)

2. 貯水池運用 徳山ダム

<22>

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、3～5月の前線による降雨の影響により、例年より高い値で推移している。



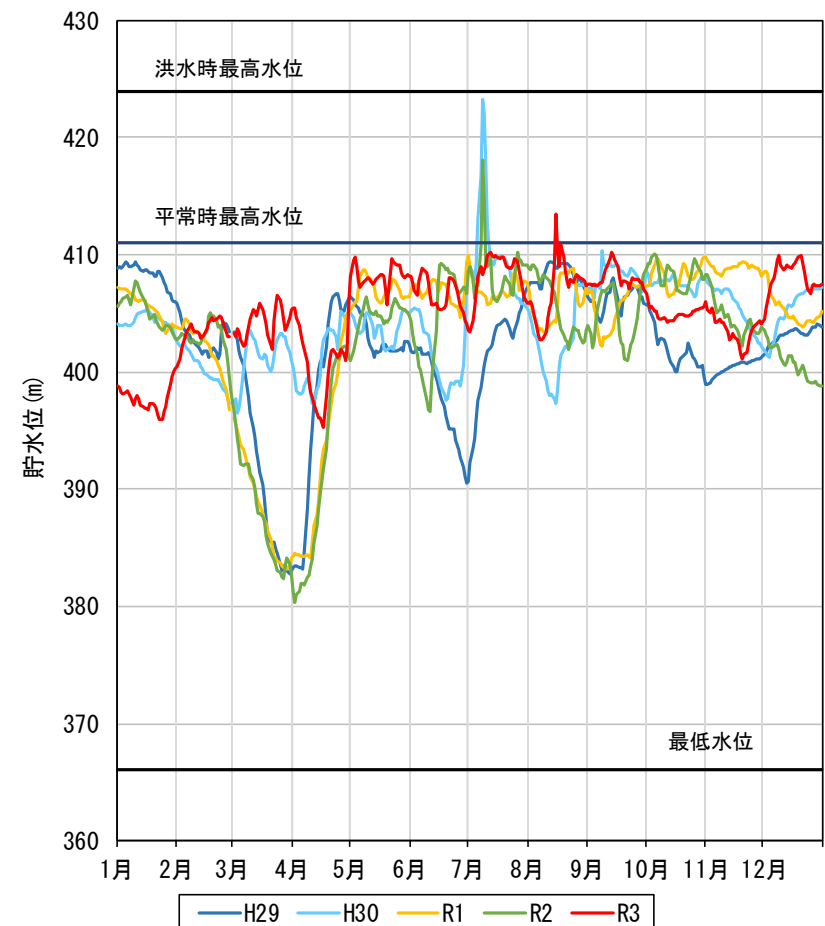
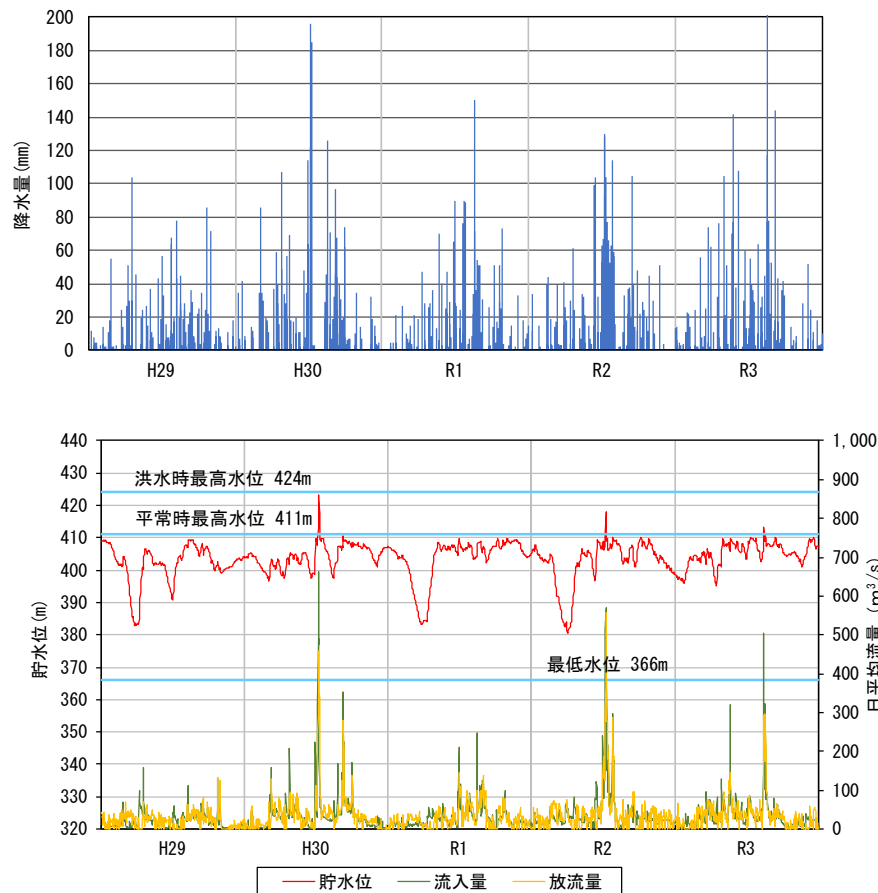
貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

貯水位(平成29年～令和3年)

2. 貯水池運用 岩屋ダム

<23>

- 発電運用及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、8月の前線の影響により平常時最高水位より高い値がみられた。



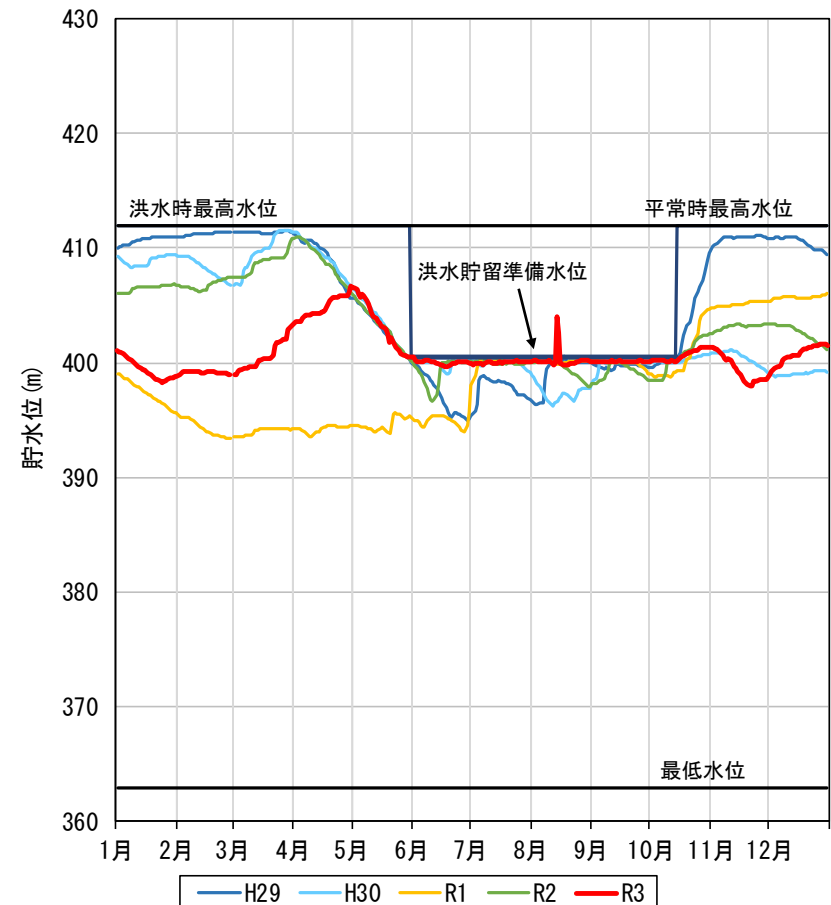
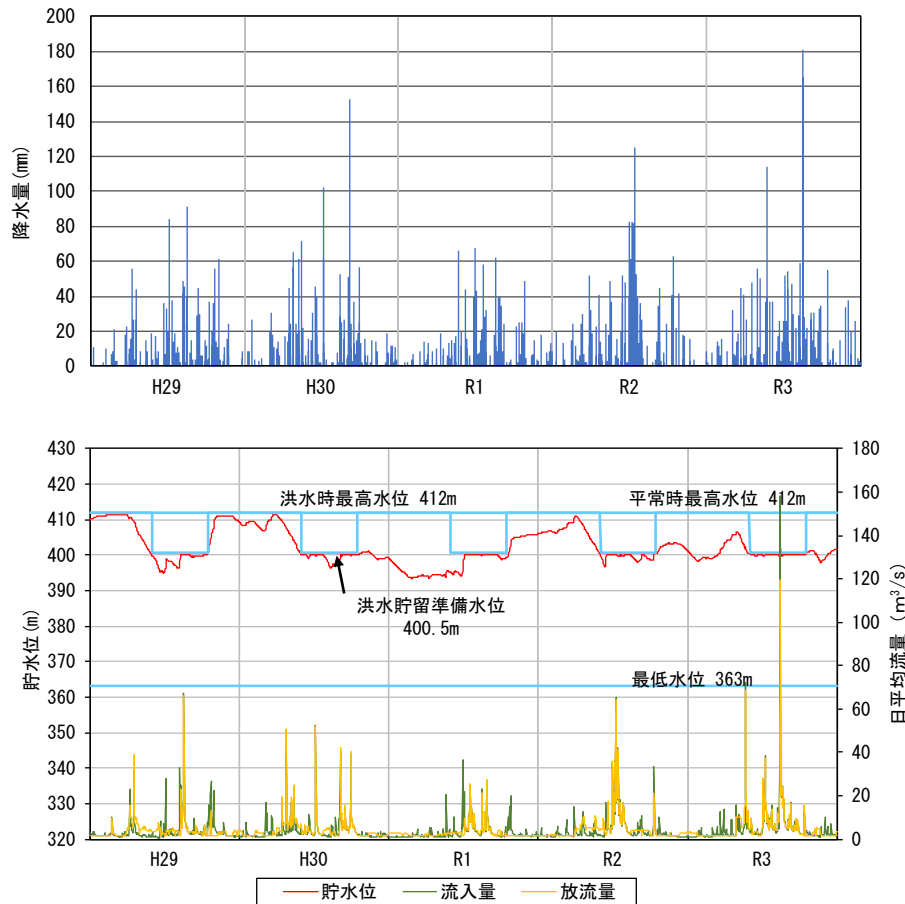
貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

貯水位(平成29年～令和3年)

2. 貯水池運用 阿木川ダム

<24>

- 洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、8月の前線の影響により洪水貯留準備水位より高い値がみられた。



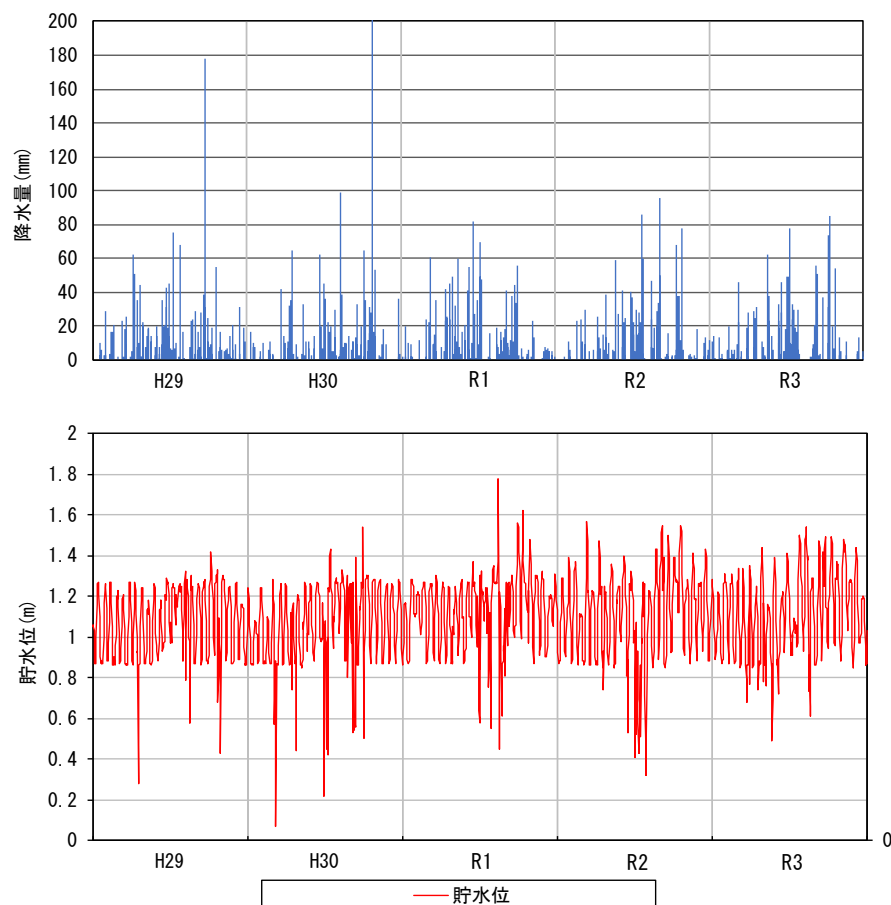
貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

貯水位(平成29年～令和3年)

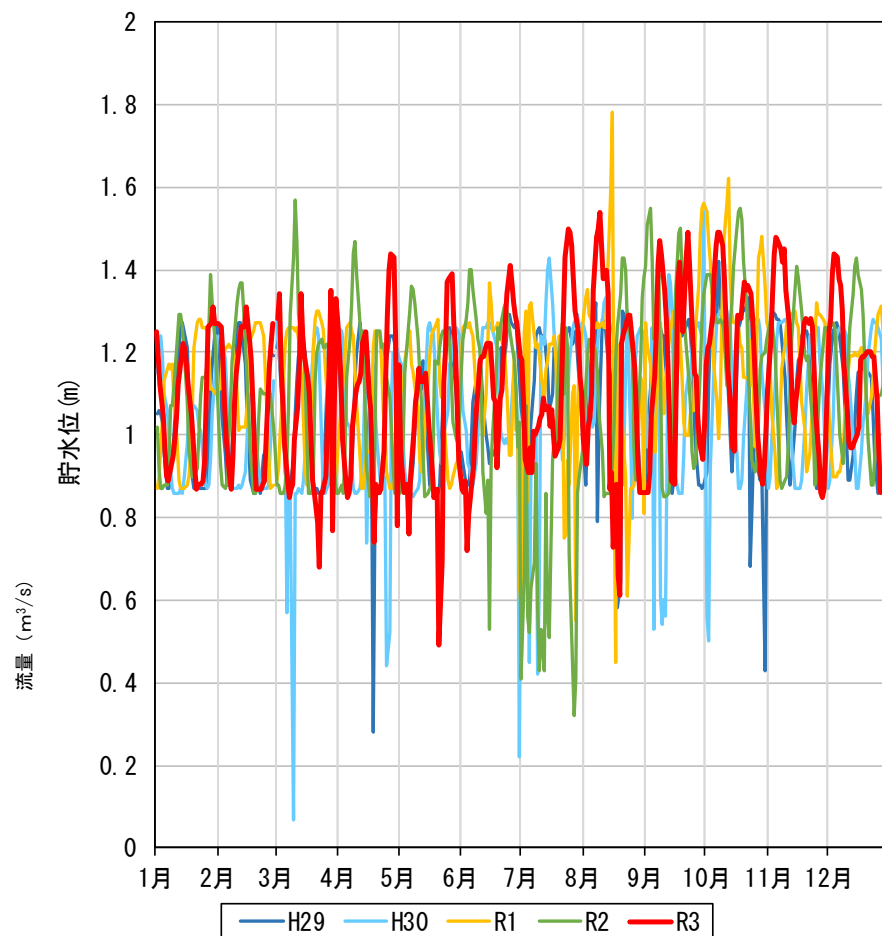
2. 貯水池運用 長良川河口堰

<25>

■ H29～R3年の降水量・貯水位の状況は以下の通りである。



貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

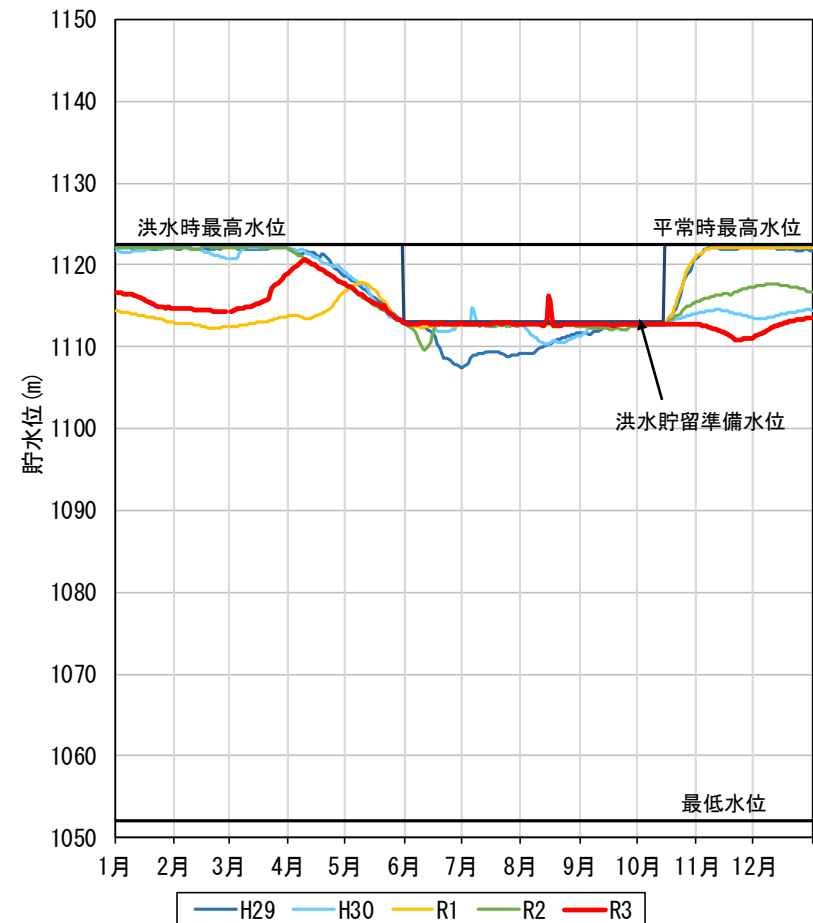
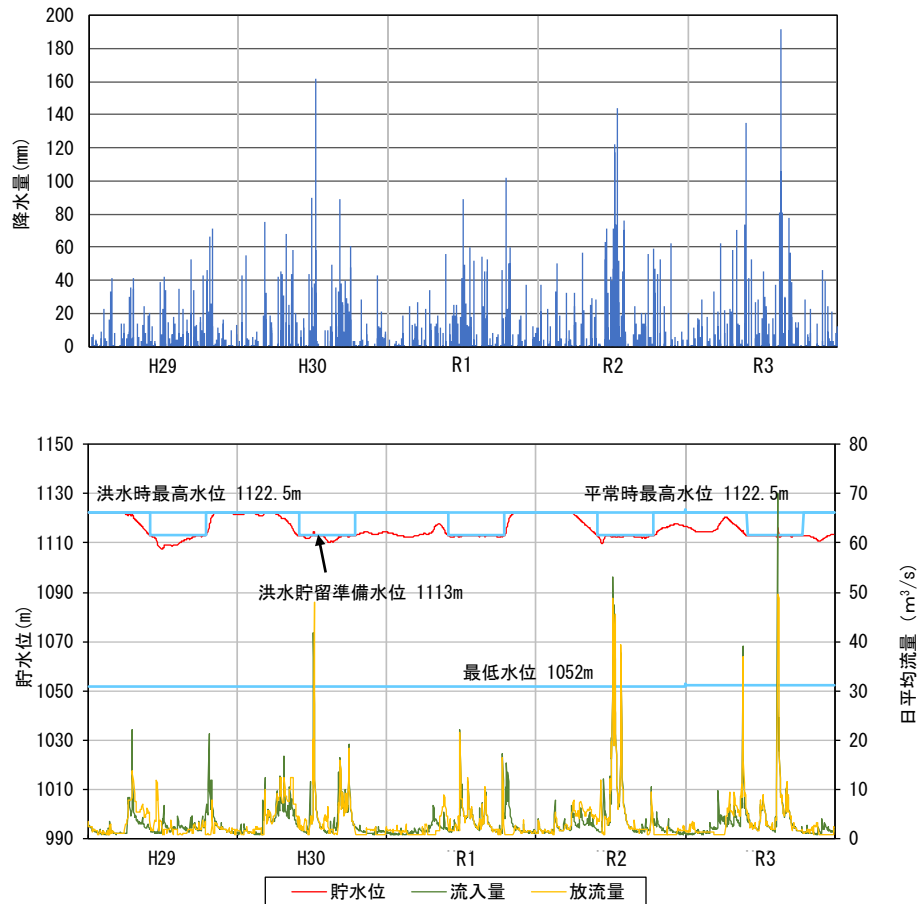


貯水位(平成29年～令和3年)

2. 貯水池運用 味噌川ダム

<26>

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。
- 貯水位は、8月の前線の影響により洪水貯留準備水位より高い値がみられた。



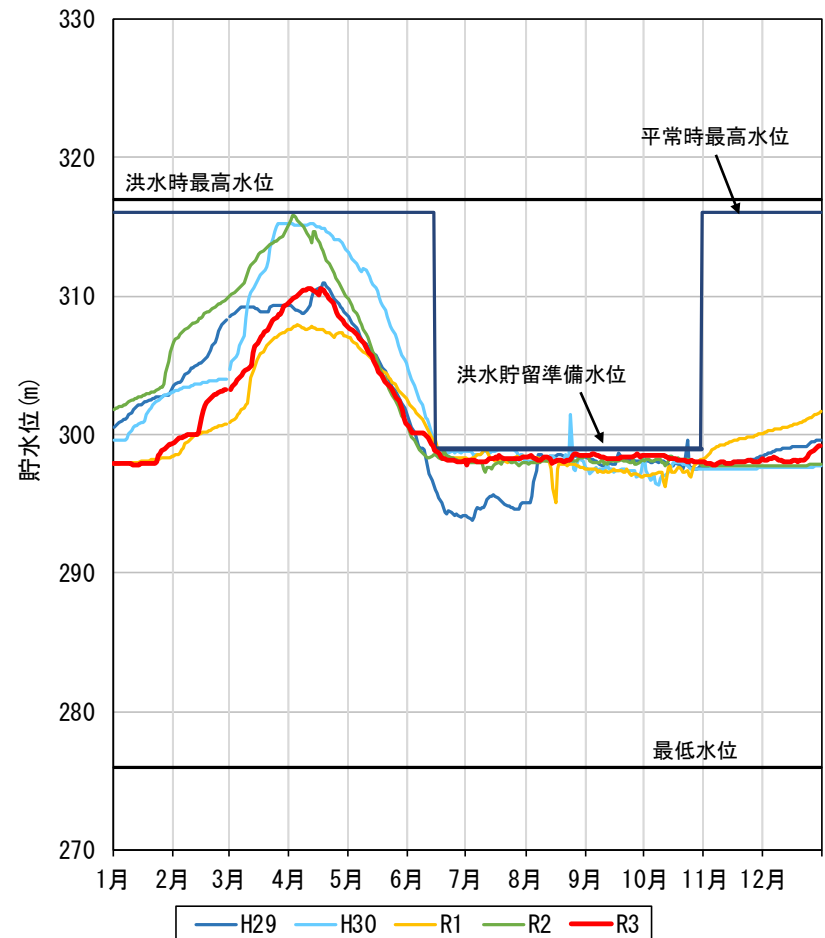
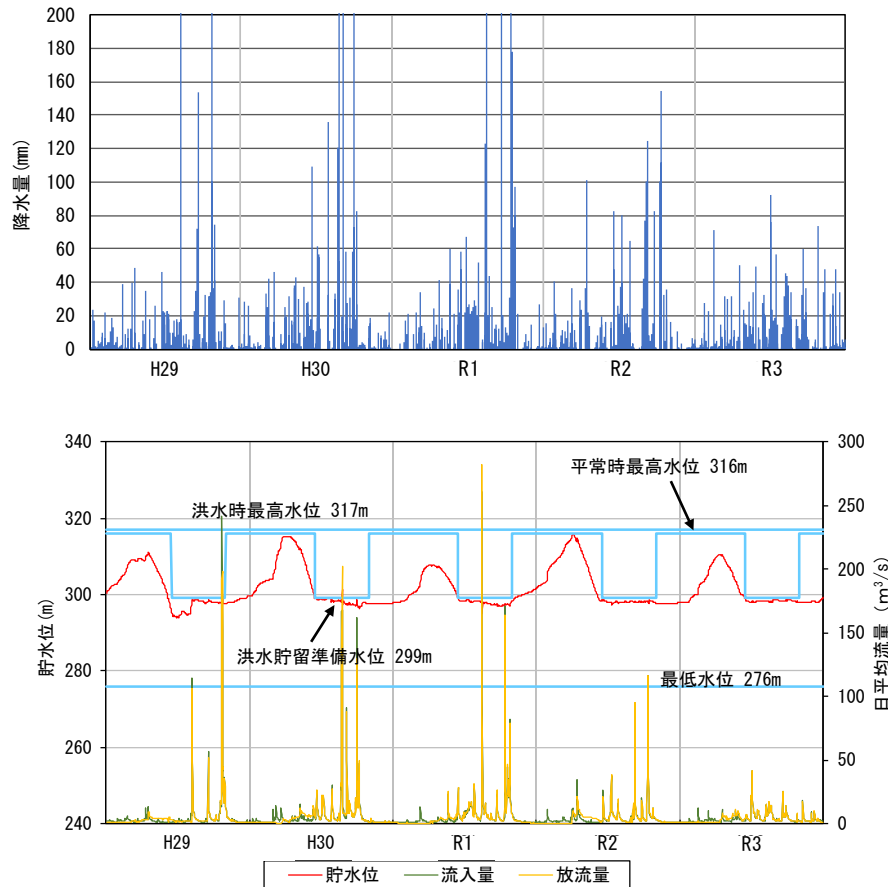
貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

貯水位(平成29年～令和3年)

2. 貯水池運用 蓮ダム

<27>

- 発電運用、洪水貯留準備水位及び平常時最高水位を考慮した運用が図られている。



貯水池運用実績(平成29年～令和3年)

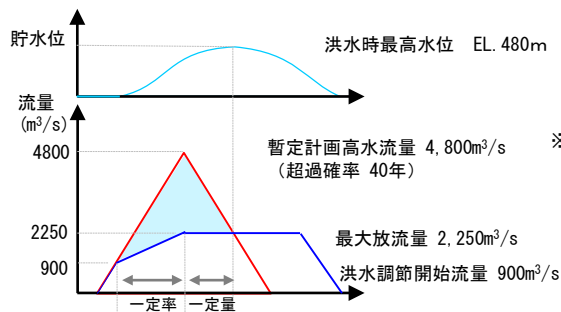
貯水位(平成29年～令和3年)

3. 防災操作

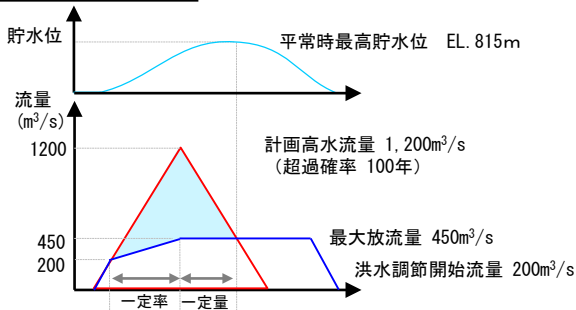
(1) 洪水調節図 (概念図)

<28>

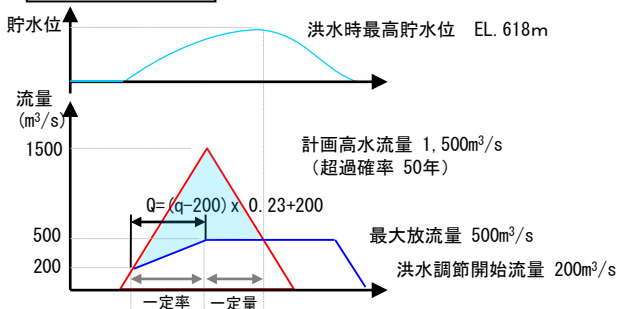
長島ダム



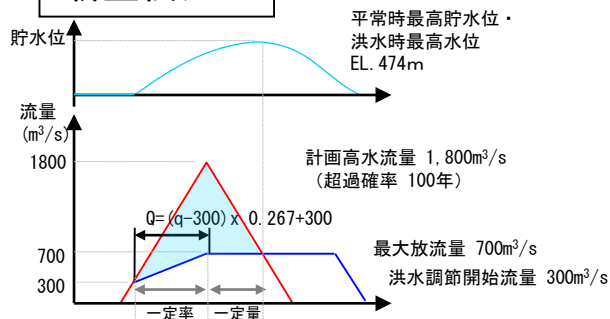
美和ダム



小渋ダム



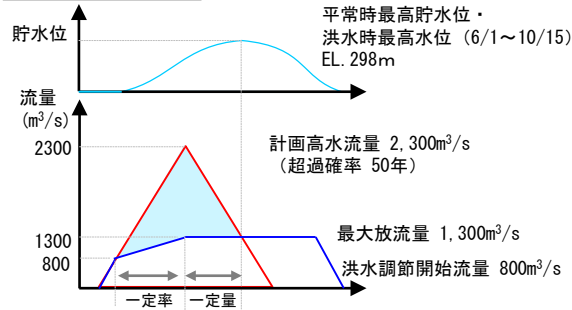
新豊根ダム



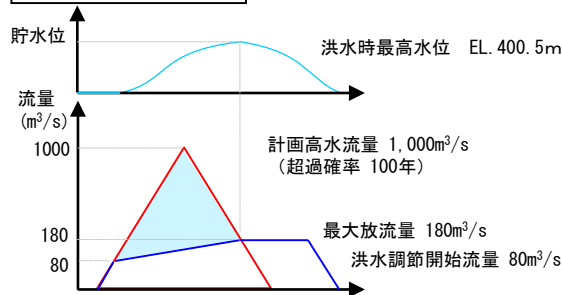
寒狭川堰

(洪水調節なし)

矢作ダム



小里川ダム



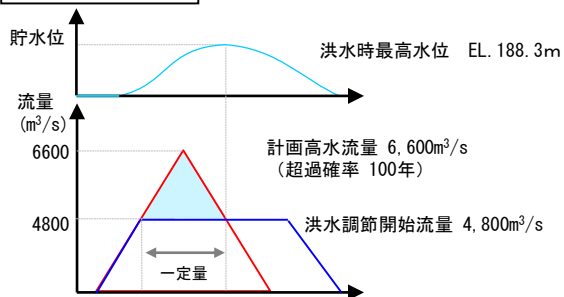
— : 流入量
— : 放流量
— : 貯水位

3. 防災操作

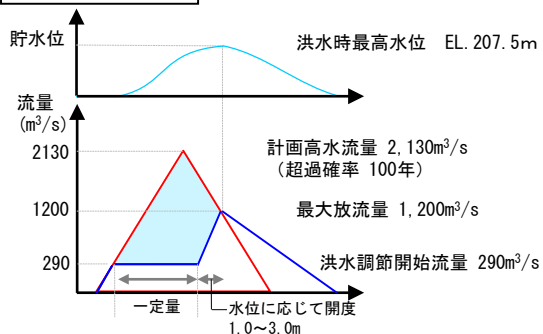
(1) 洪水調節図 (概念図)

<29>

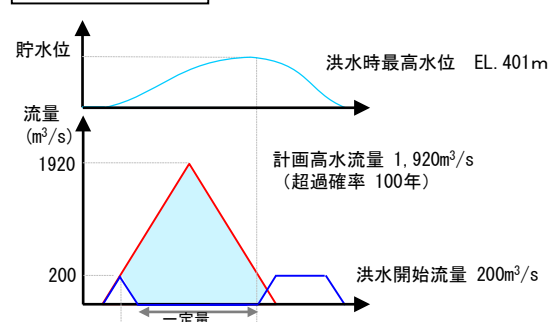
丸山ダム



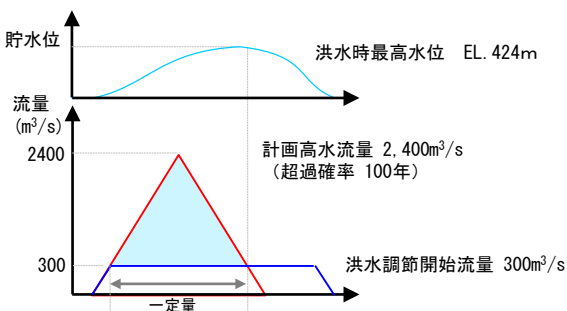
横山ダム



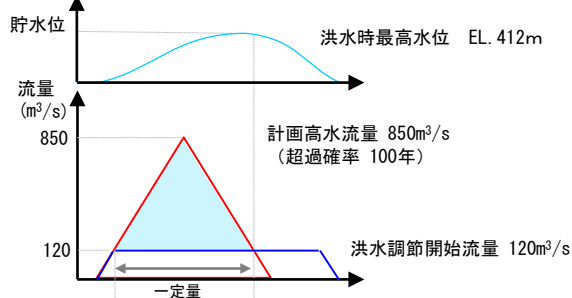
徳山ダム



岩屋ダム



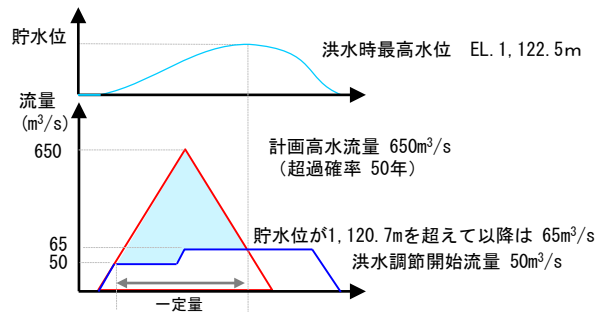
阿木川ダム



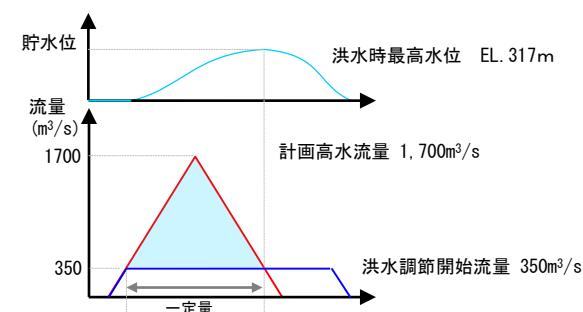
長良川河口堰

(洪水調節なし)

味噌川ダム



蓮ダム

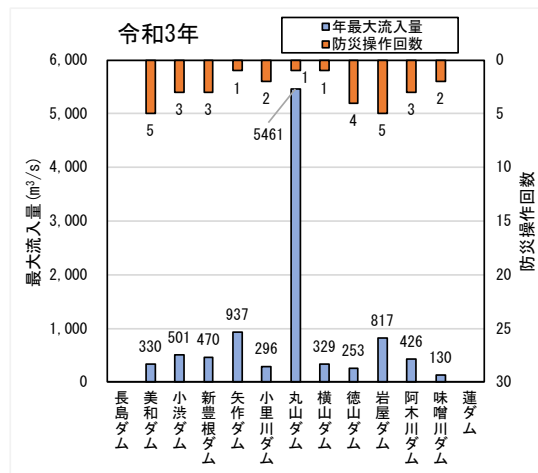
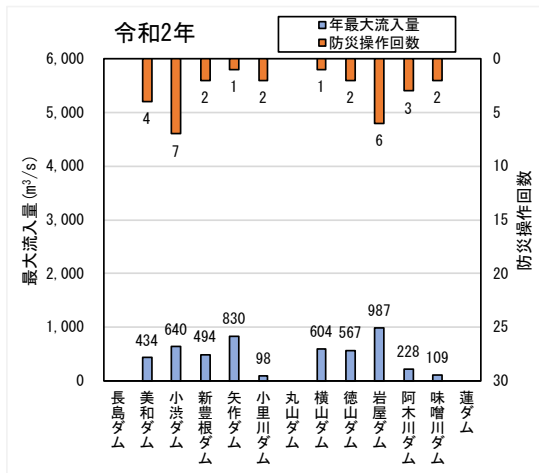
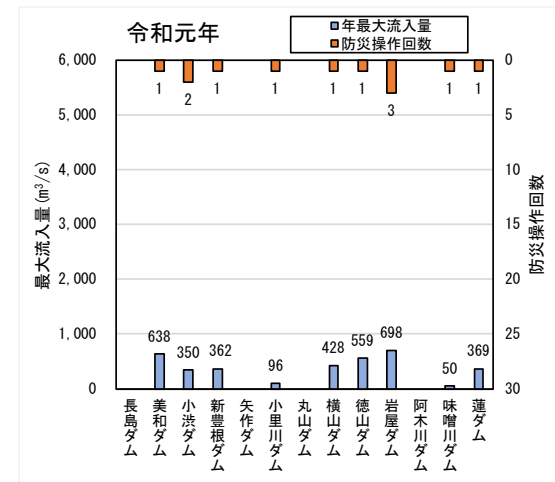
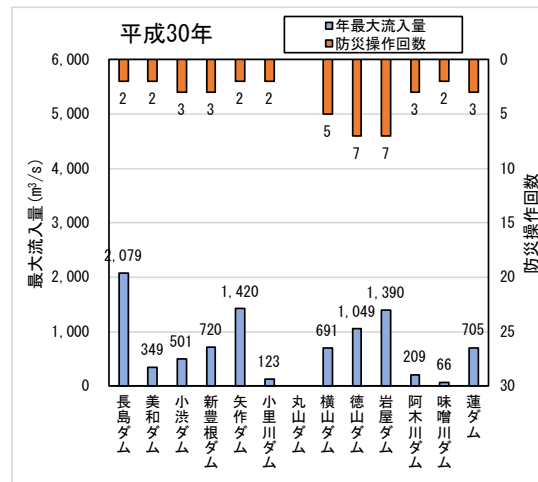
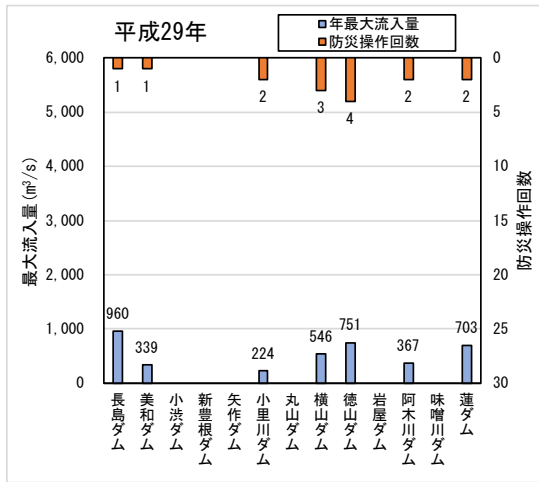


— : 流入量
— : 放流量
— : 貯水位

3. 防災操作 (2) 各ダムの防災操作

<30>

- 令和3年の防災操作は、計30回（美和ダム5回、小渋ダム3回、新豊根ダム3回、矢作ダム1回、小里川ダム2回、丸山ダム1回、横山ダム1回、徳山ダム4回、岩屋ダム5回、阿木川ダム3回、味噌川ダム2回）であり、令和2年に続いて近年の平均的な回数を上回っていた。
- 例年と同様に岩屋ダムで防災操作回数が多かった。丸山ダムでは平成11年以来の防災操作であった。



各ダムの防災操作回数

	長島ダム	美和ダム	小渋ダム	新豊根ダム	矢作ダム	小里川ダム	丸山ダム
平成29年	1	1	0	0	0	2	0
平成30年	2	2	3	3	2	2	0
令和元年	0	1	2	1	0	1	0
令和2年	0	4	7	2	1	2	0
令和3年	0	5	3	3	1	2	1
平均	1	3	3	2	1	2	0
	横山ダム	徳山ダム	岩屋ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	蓮ダム	合計
平成29年	3	4	0	2	0	2	15
平成30年	5	7	7	3	2	3	41
令和元年	1	1	3	0	1	1	12
令和2年	1	2	6	3	2	0	30
令和3年	1	4	5	3	2	0	30
平均	2	4	4	2	1	1	26

3. 防災操作 (2) 各ダムの防災操作

<31>

- 令和3年は、4水系、11ダムにおいて洪水調節を実施した。
- 洪水調節を実施した主な洪水の発生要因は、梅雨前線（令和3年7月）、秋雨前線（令和3年8月）等である。

水系名	ダム名	洪水調節 開始流量 (m ³ /s)	洪水調節 実施日	要因	総雨量 (mm)	最大流入量 (A) (m ³ /s)	最大放流量 (B) (m ³ /s)	最大流入時 放流量 (C) (m ³ /s)	調節量 (A-C) (m ³ /s)
矢作川	矢作	800	2021/5/21	低気圧	127.0	937.16	838.46	838.37	98.79
天竜川	美和	200	2021/5/21	前線及び低気圧	227.0	330.08	200.40	137.68	192.40
			2021/7/3	梅雨前線	229.0	224.50	207.90	205.77	18.73
			2021/8/14	秋雨前線	423.0	280.97	233.24	229.91	51.06
			2021/8/18	秋雨前線	136.0	210.45	195.21	194.89	15.56
			2021/9/4	秋雨前線	209.0	200.12	199.01	181.72	18.40
	小洪	200	2021/5/21	前線及び低気圧	188.0	501.05	240.76	8.35	492.70
			2021/8/14	秋雨前線	316.0	413.74	248.23	246.26	167.48
			2021/8/18	秋雨前線	141.0	311.66	223.59	221.53	90.13
	新豊根ダム	300	2021/5/21	前線・低気圧	232.0	301.50	-	0.00	301.50
			2021/7/2	梅雨前線	439.0	469.53	-	0.00	469.53
			2021/8/13	秋雨前線	786.0	413.18	259.88	132.82	280.36
庄内川	小里川	80	2021/7/9	梅雨前線	138.0	92.87	48.14	31.92	60.95
			2021/8/13	秋雨前線	361.0	295.66	99.64	79.25	216.41
木曽川	横山	290	2021/8/15	秋雨前線	227.3	328.90	288.75	286.10	42.80
	丸山	4800	2021/8/14	秋雨前線	380.0	5460.72	4822.60	4765.60	695.12
	味噌川	50	2021/5/21	梅雨前線	175.0	67.58	49.39	6.44	61.14
			2021/8/14	秋雨前線	505.0	130.13	49.96	29.67	100.46
	岩屋	300	2021/5/21	前線・低気圧	214.0	514.39	200.38	102.54	411.85
			2021/8/13	秋雨前線	578.0	302.64	207.64	207.64	95.00
			2021/8/14	秋雨前線		816.99	297.23	295.62	521.37
			2021/8/17	秋雨前線		518.60	296.84	295.80	222.80
			2021/8/18	秋雨前線		429.50	295.71	295.16	134.34
	阿木川	120	2021/5/21	前線・低気圧	153.0	235.19	120.00	72.93	162.26
			2021/7/8	梅雨前線	98.0	124.27	41.90	41.87	82.40
			2021/7/9	梅雨前線		128.79	60.64	60.60	68.19
			2021/8/13	秋雨前線	385.0	700.60	119.91	117.82	582.78
			2021/8/14	秋雨前線		425.99	119.94	119.94	306.05
	徳山	200	2021/2/15	閉塞前線・融雪	62.0	204.95	265.40	16.54	188.41
			2021/3/28	閉塞前線・融雪	74.0	252.68	96.58	96.41	156.27
			2021/5/21	前線・低気圧	156.0	253.07	199.40	199.36	53.71
			2021/8/14	秋雨前線	242.0	246.24	98.74	0.00	246.24

※洪水調節の回数は各ダムの年次報告書を基に整理

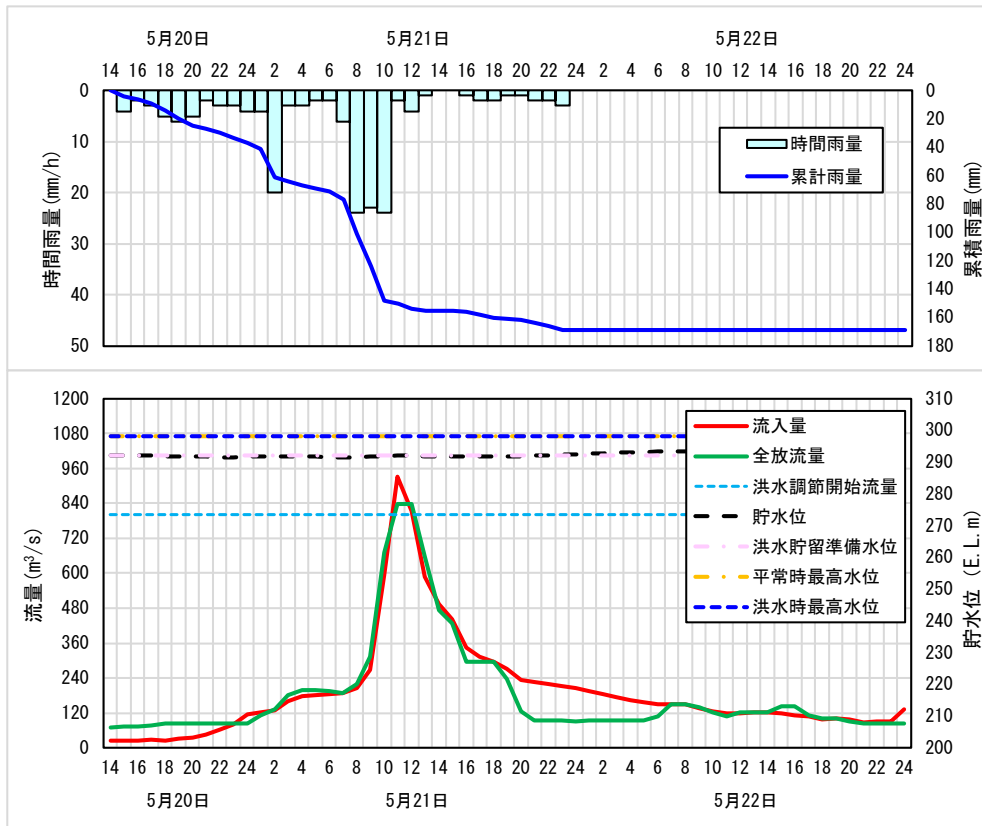
※阿木川ダムでは7月、8月の洪水調節は各1回でカウント

3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作 (矢作ダム)

<32>

- ・ 令和3年は1回の防災操作を行い、最大流入量は $937.16\text{m}^3/\text{s}$ であった。
- ・ 5月21日の出水では、岩津水位観測所で約18cmの水位低減効果があった。



【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では5月20日15時から5月21日23時までの32時間で169.0mmの降雨を観測した。

3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作（美和ダム）

<33>

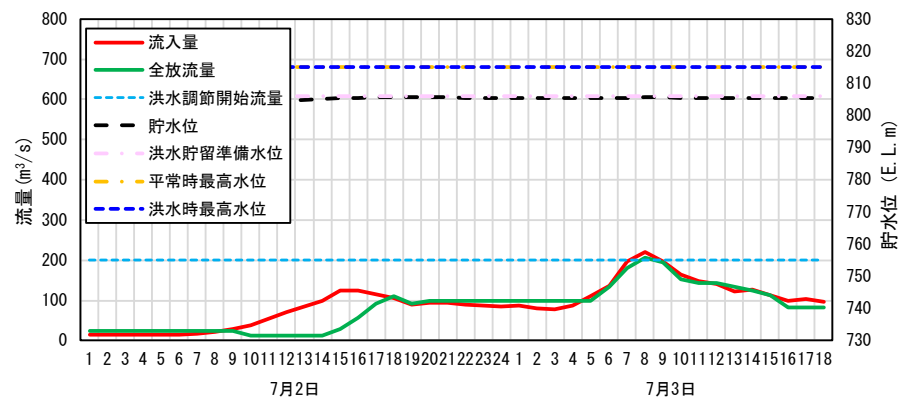
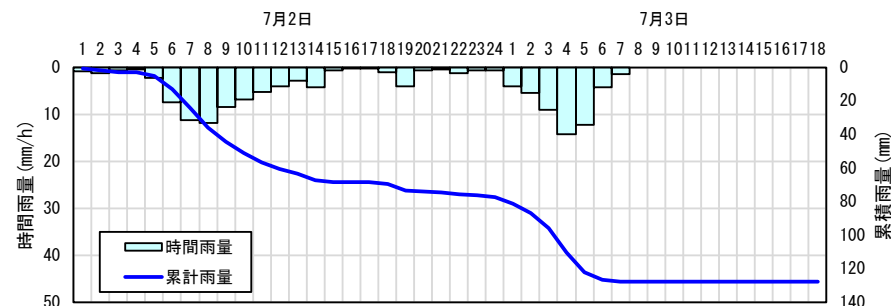
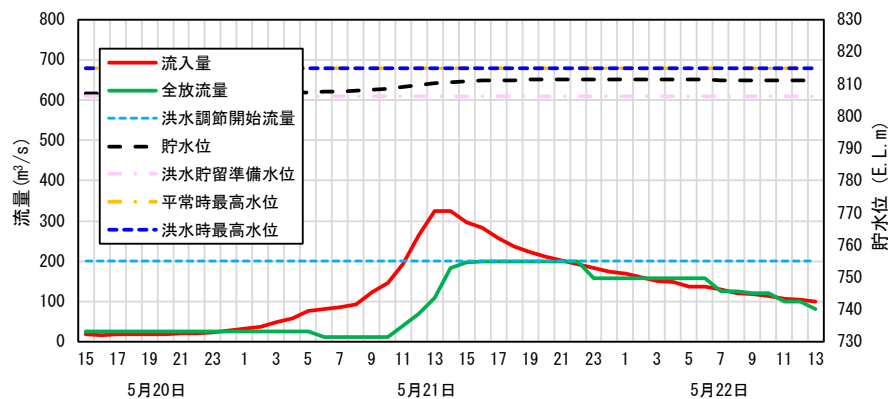
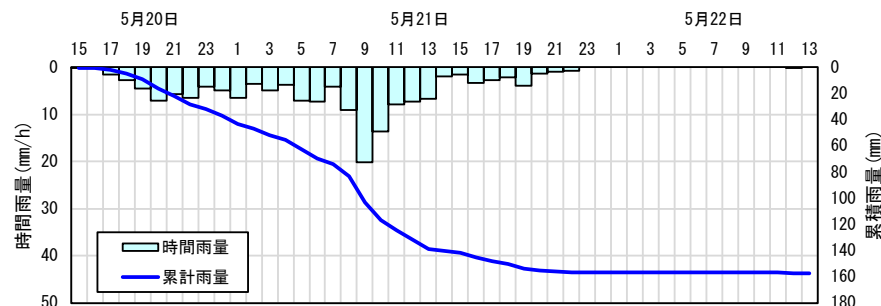
- ・ 令和3年は5回の防災操作を行い、最大流入量は330.08m³/sであった。
- ・ 5月21日の出水では、高遠水位観測所で約90cmの水位低減効果があった。

【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では5月20日15時から5月21日22時までの31時間で227mmの降雨を観測した。

【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では6月30日16時から7月3日7時までの63時間で229mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作（美和ダム）

<34>

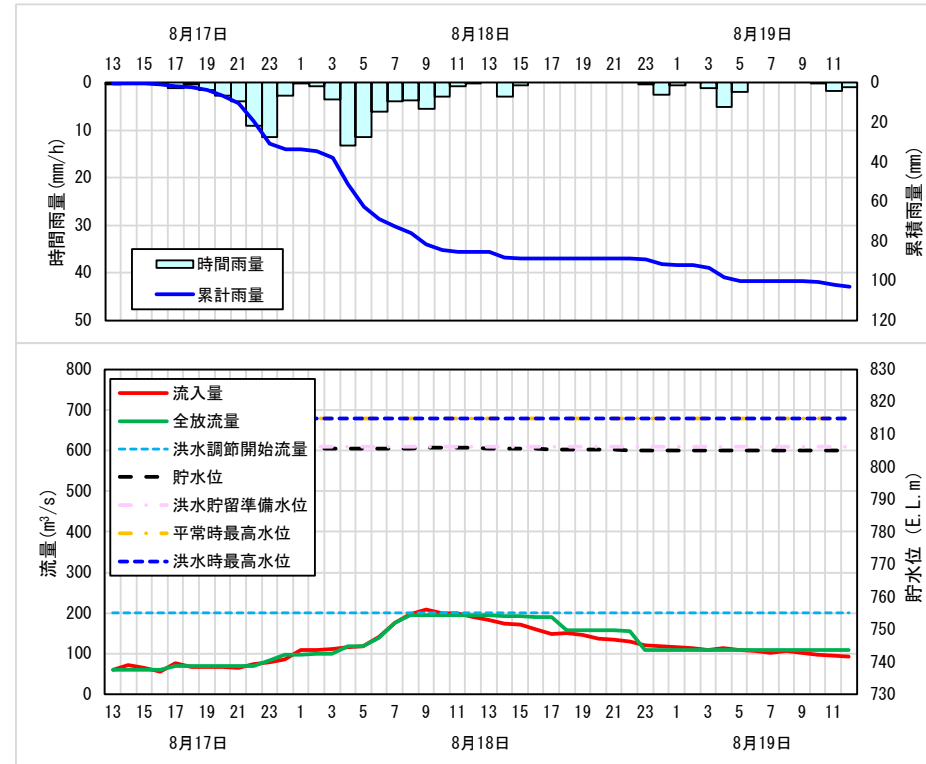
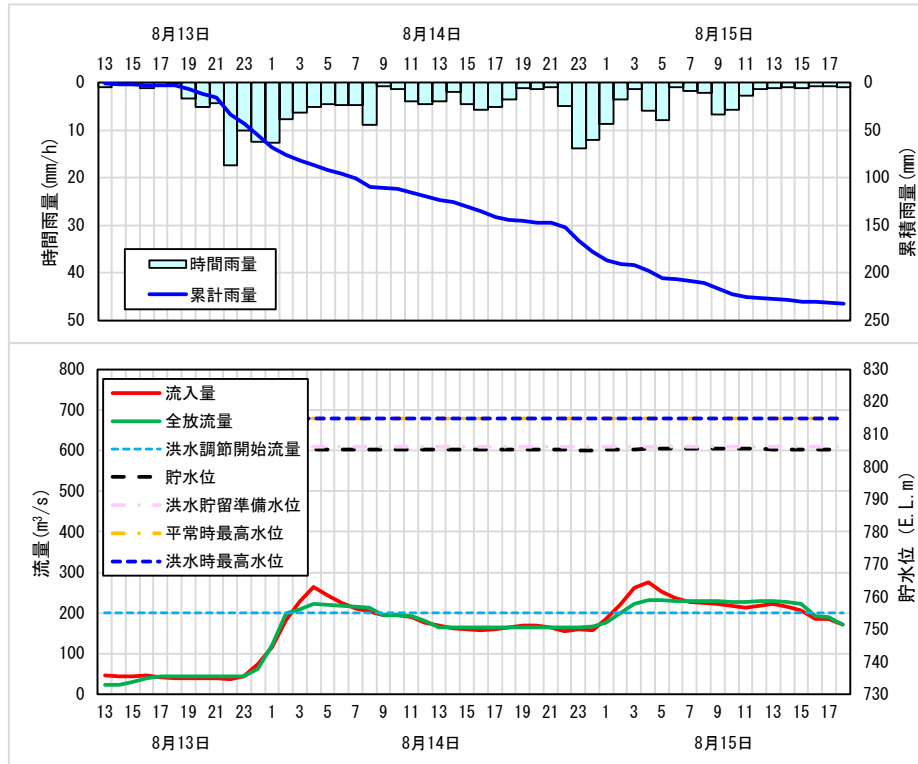
- 8月14日から8月15日までの一連の出水では、高遠水位観測所で約60cmの水位低減効果があった。

【洪水の原因となった気象概要】

秋雨前線の影響により、ダム上流域では8月12日17時から8月16日0時までの79時間で423mmの降雨を観測した。

【洪水の原因となった気象概要】

秋雨前線の影響により、ダム上流域では8月16日23時から8月19日5時までの54時間で209mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

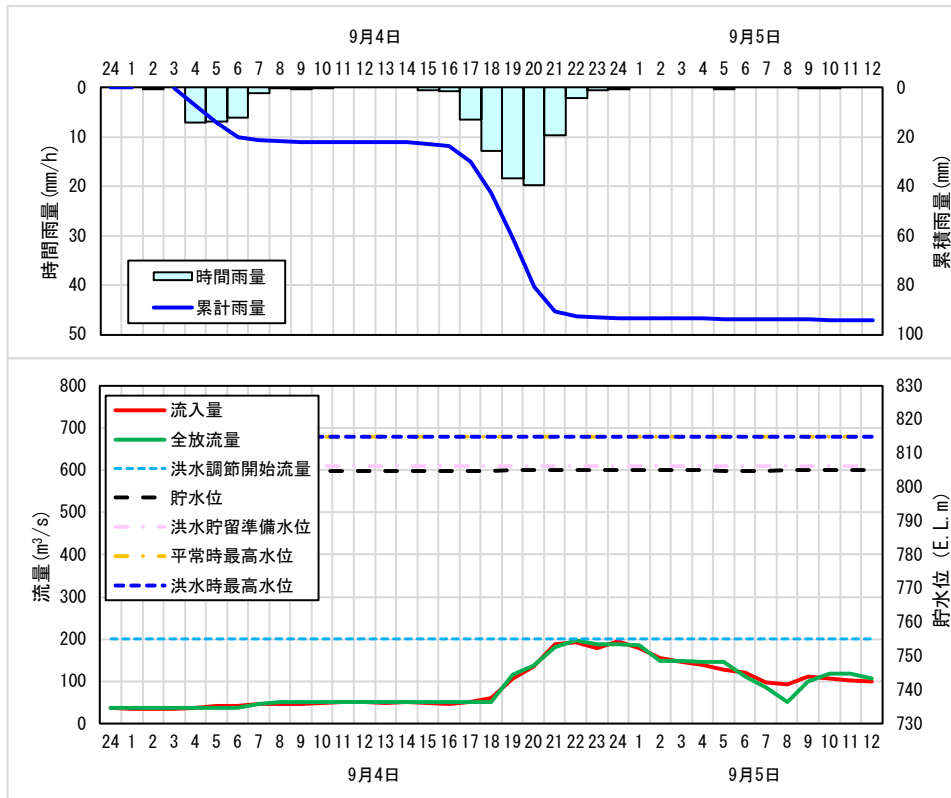
(2) 各ダムの防災操作（美和ダム）

<35>

- ・ 9月4日の出水では、最大流入量は200.12m³/sであった。

【洪水の原因となった気象概要】

秋雨前線の影響により、ダム上流域では9月1日22時から9月5日10時までで209mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

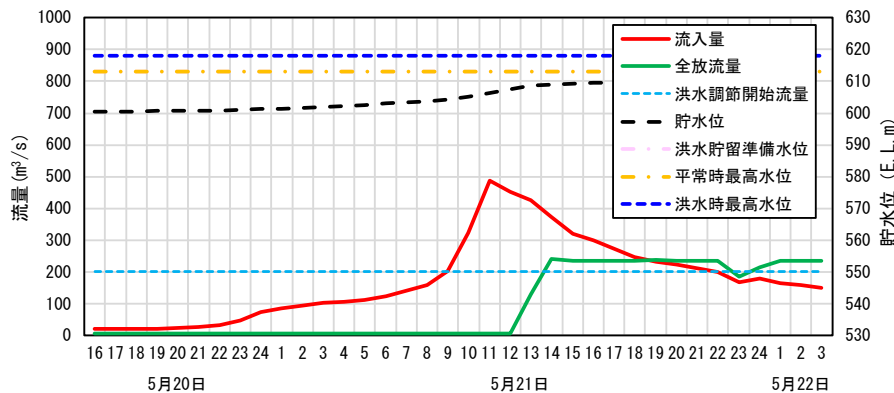
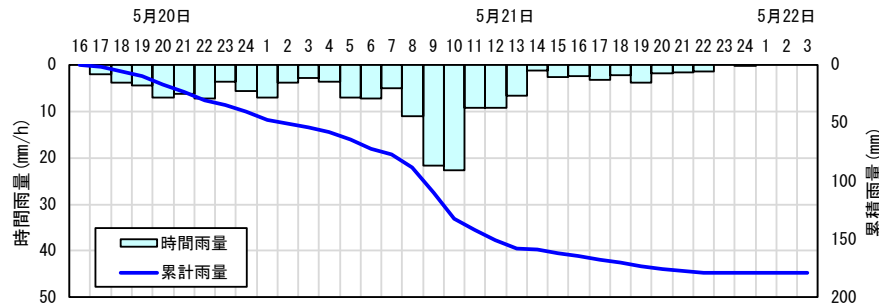
(2) 各ダムの防災操作（小渋ダム）

<36>

- ・ 令和3年は3回の防災操作を行い、最大流入量は約316 m^3/s であった。
- ・ 5月21日の出水では、最大約7004.26 km^3 の水をダムへ貯留し、天竜川本川の宮ヶ瀬で約76cmの水位低減効果があった。

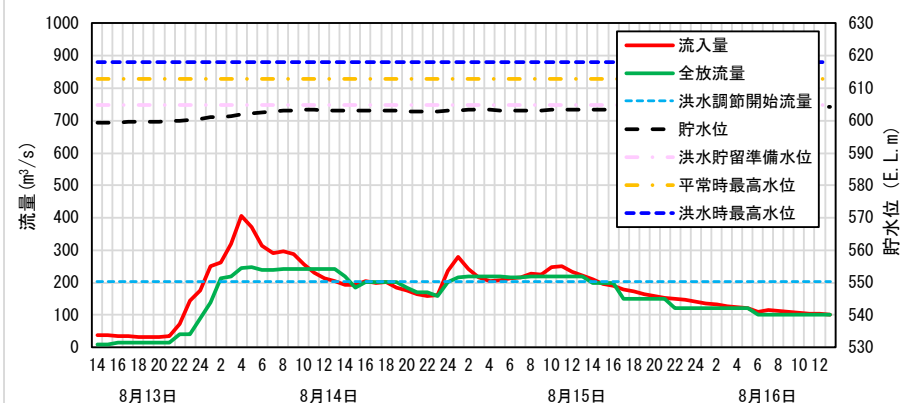
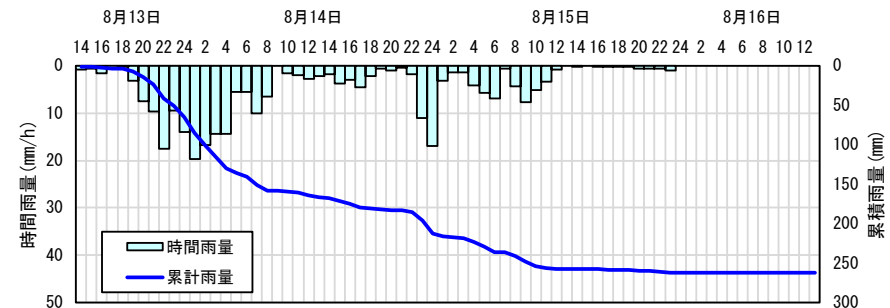
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線及び低気圧の影響により、ダム上流域では5月20日16時より5月21日22時までに上野々観測所で210mm、松の田観測所で188mm 降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

前線の影響により、ダム上流域では8月12日15時より8月16日23時までに上野々観測所で336mm、松の田観測所で321mm 降雨を観測した。



3. 防災操作

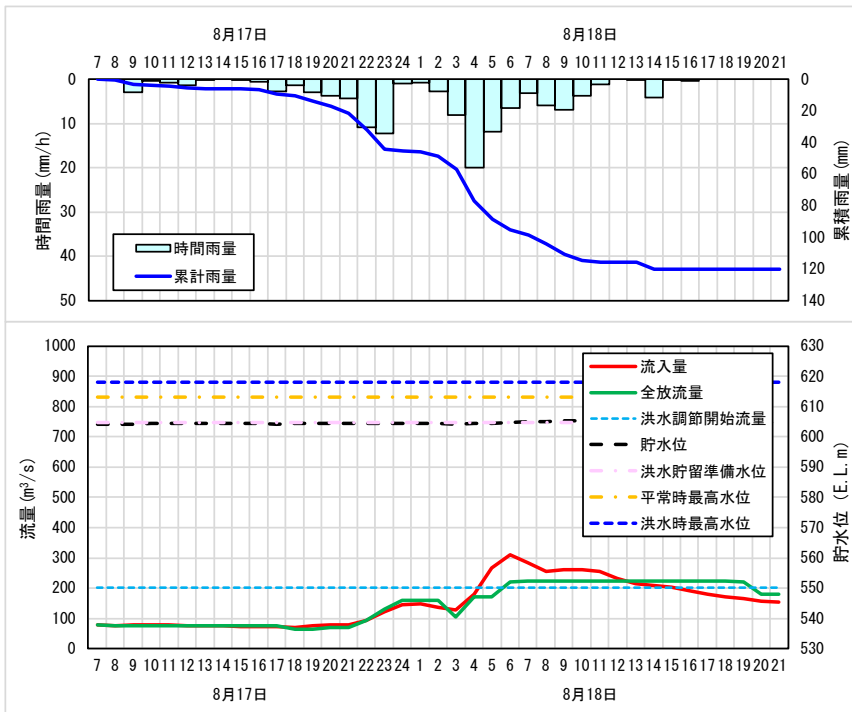
(2) 各ダムの防災操作 (小渋ダム)

<37>

- 8月12日～18日の出水では、最大約1357.69千 m^3 の水をダムへ貯留し、天竜川本川の宮ヶ瀬で約40cmの水位低減効果があった。

【洪水の原因となった気象概要】

前線の影響により、ダム上流域では8月17日8時より8月18日14時までに上野々観測所で123mm、松の田観測所で141mm 降雨を観測した。



3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作（新豊根ダム）

<38>

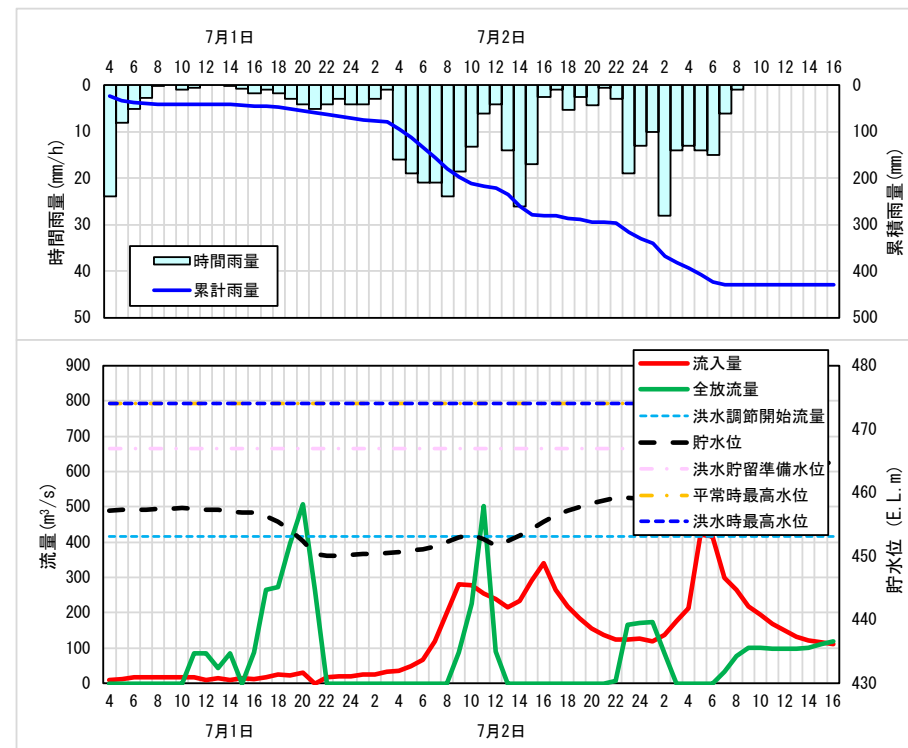
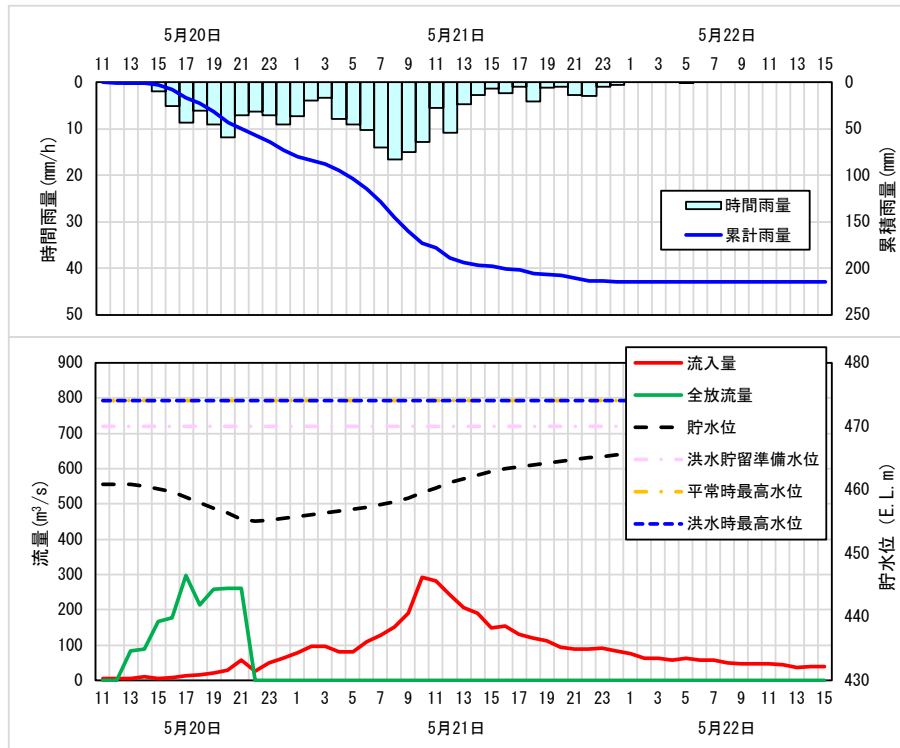
- 令和3年は3回の防災操作を行い、最大流入量は469.5m³/sであった。

【洪水の原因となった気象概要】

低気圧・前線の影響により、ダム上流域では5月20日11時から5月22日5時までの18時間で214.9mmの降雨を観測した。

【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では6月30日16時から7月3日8時までの40時間で439.0mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

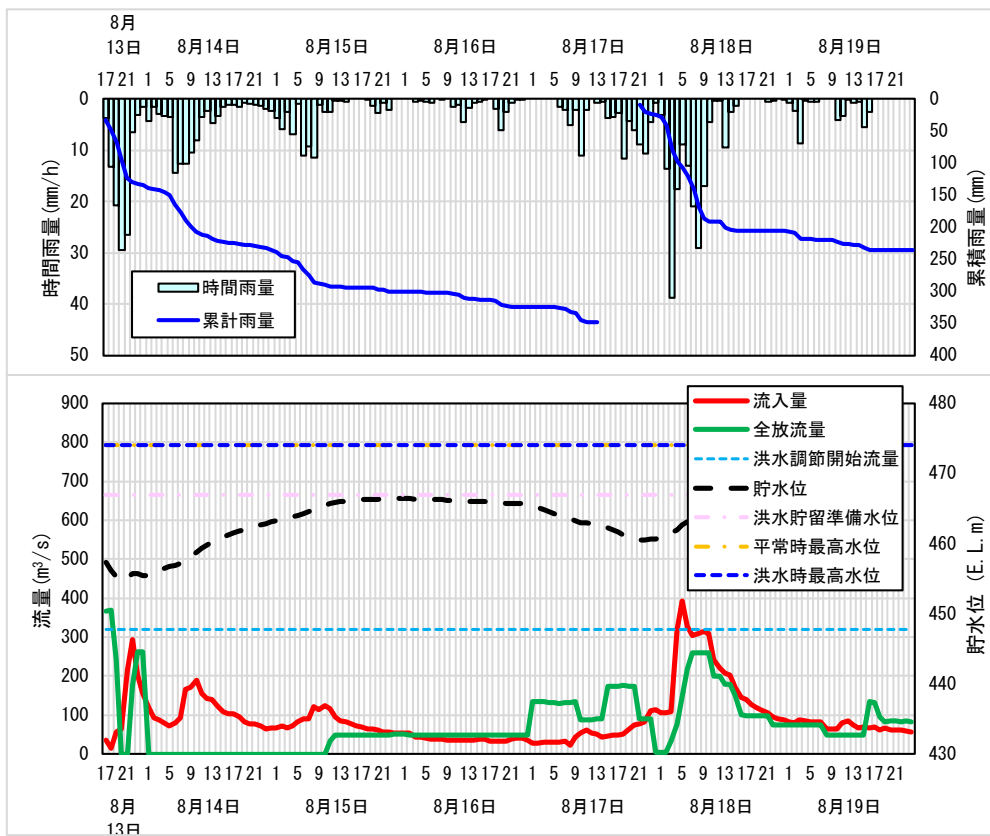
(2) 各ダムの防災操作（新豊根ダム）

<39>

- 8月13日の出水では、最大流入量は413.18m³/sであった。

【洪水の原因となった気象概要】

停滞前線の影響により、ダム上流域では
8月12日12時から8月19日21時までの177
時間で786mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

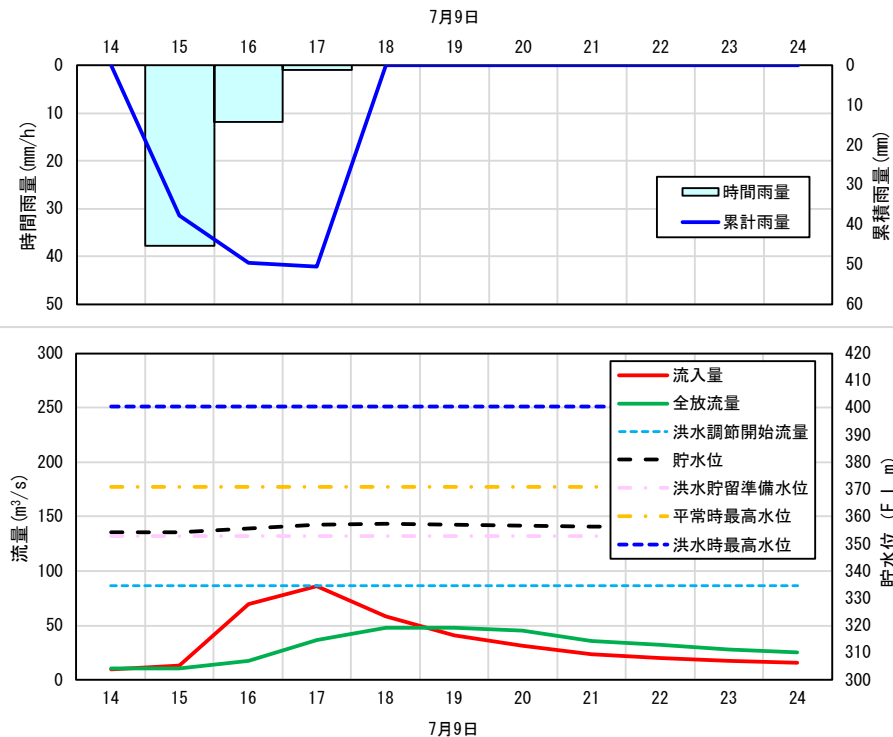
(2) 各ダムの防災操作 (小里川ダム)

<40>

- 令和3年は2回の防災操作を行い、最大流入量は295.66m³/sであった。

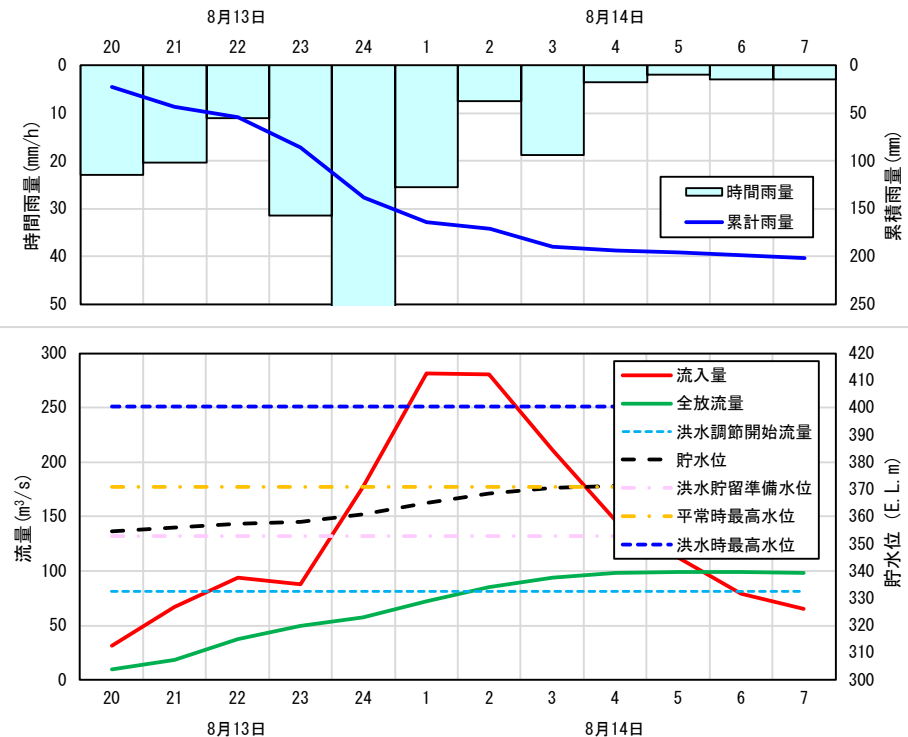
【洪水の原因となった気象概要】

前線の影響により、ダム上流域では7月8日7時から7月9日17時までの34時間で88.0mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

前線の影響により、ダム上流域では8月12日13時から8月15日12時までの47時間で361.0mmの降雨を観測した。

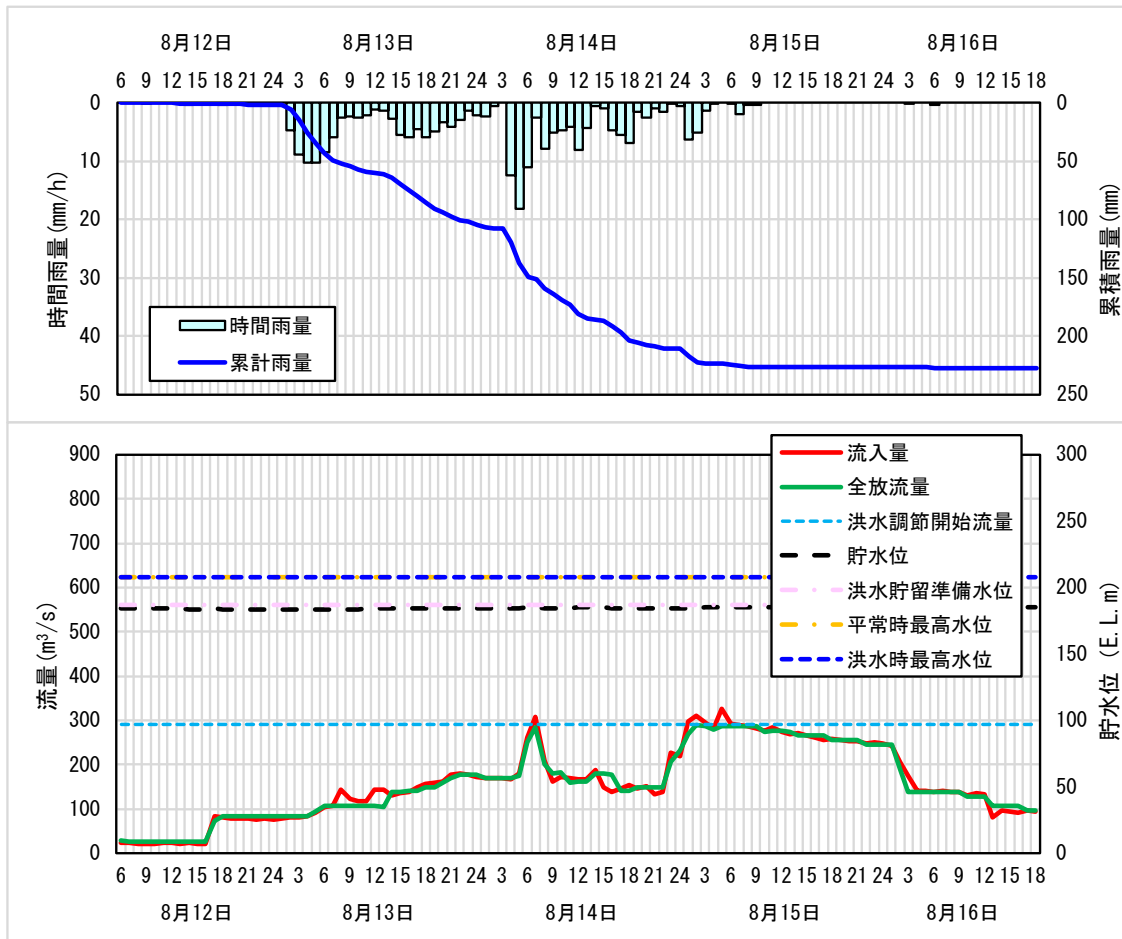


3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作（横山ダム）

<41>

- ・ 令和3年は1回の防災操作を行い、最大流入量は $328.9\text{m}^3/\text{s}$ であった。
- ・ 8月15日の出水では、横山ダム・徳山ダムの連携した防災操作を実施した。



【洪水の原因となった気象概要】

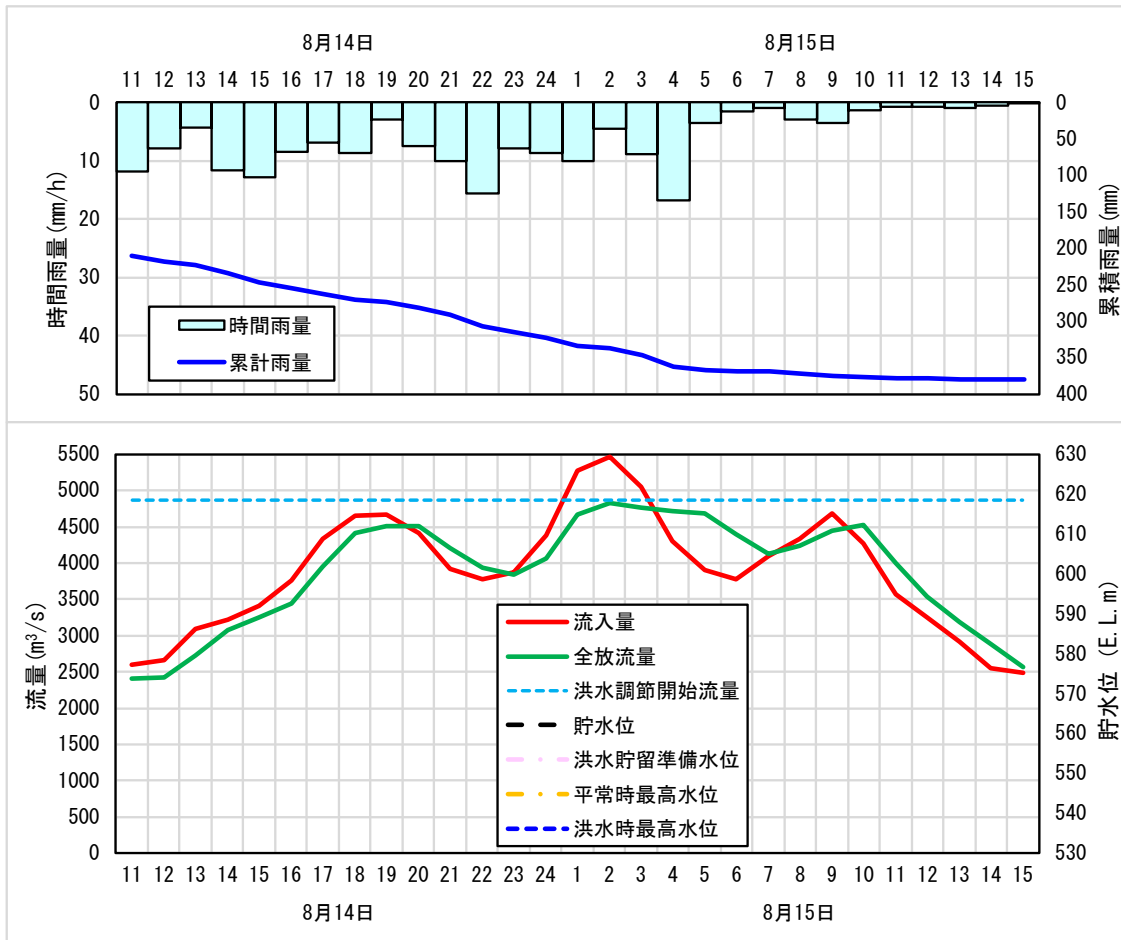
梅雨前線の影響により、ダム上流域では8月12日8時から8月16日12時までの100時間で227.3mmの降雨を観測した。

3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作（丸山ダム）

<42>

- ・ 令和3年は1回の防災操作を行い、最大流入量は5,460.7m³/sであった。
- ・ 8月14日の出水では、丸山ダム下流の八百津地点で0.63m、犬山地点で0.21m と推定された。



【洪水の原因となった気象概要】

停滞前線の影響により、ダム上流域では8月12日12時から8月15日14時までの50時間で380mmの降雨を観測した。

3. 防災操作

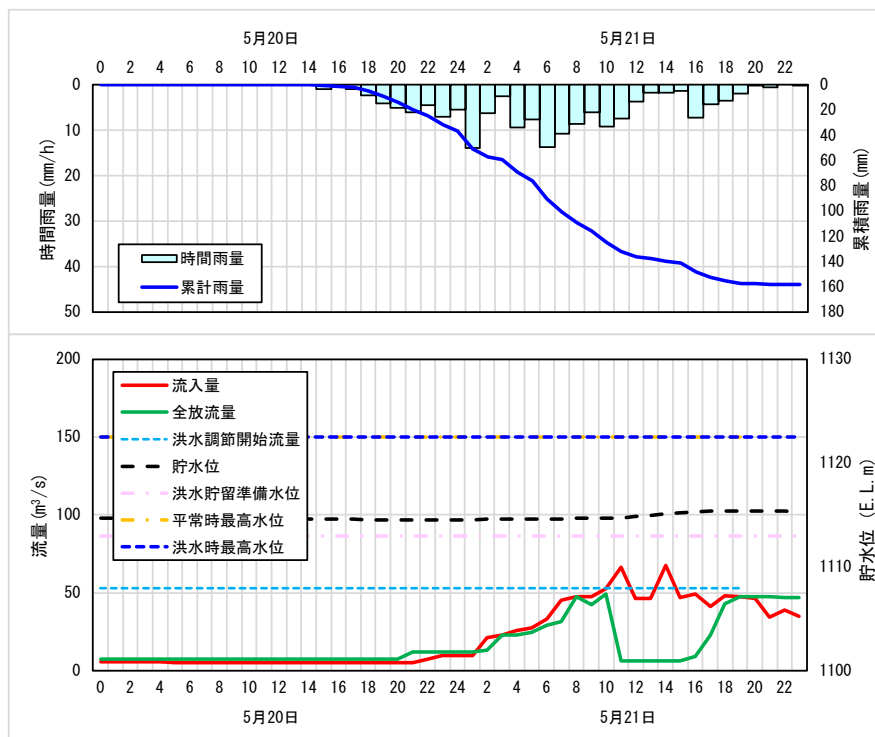
(2) 各ダムの防災操作（味噌川ダム）

<43>

- 令和3年は2回の防災操作を行い、最大流入量は130.13m³/sであった。

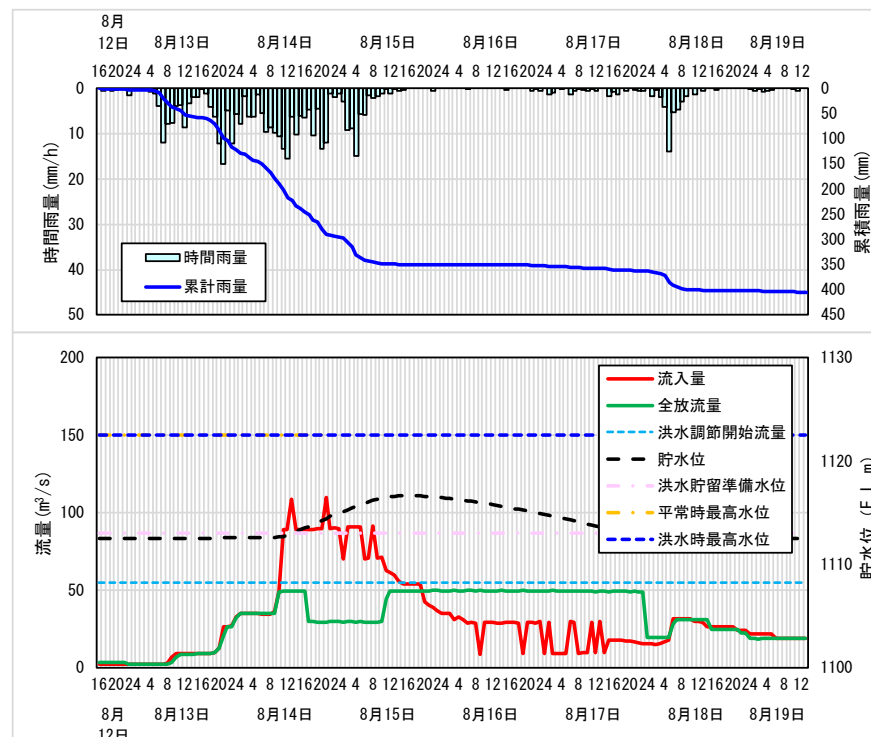
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では5月20日14時から5月22日1時までの35時間で158.9mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

前線の影響により、ダム上流域では8月12日16時から8月19日13時までの165時間で404.5mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

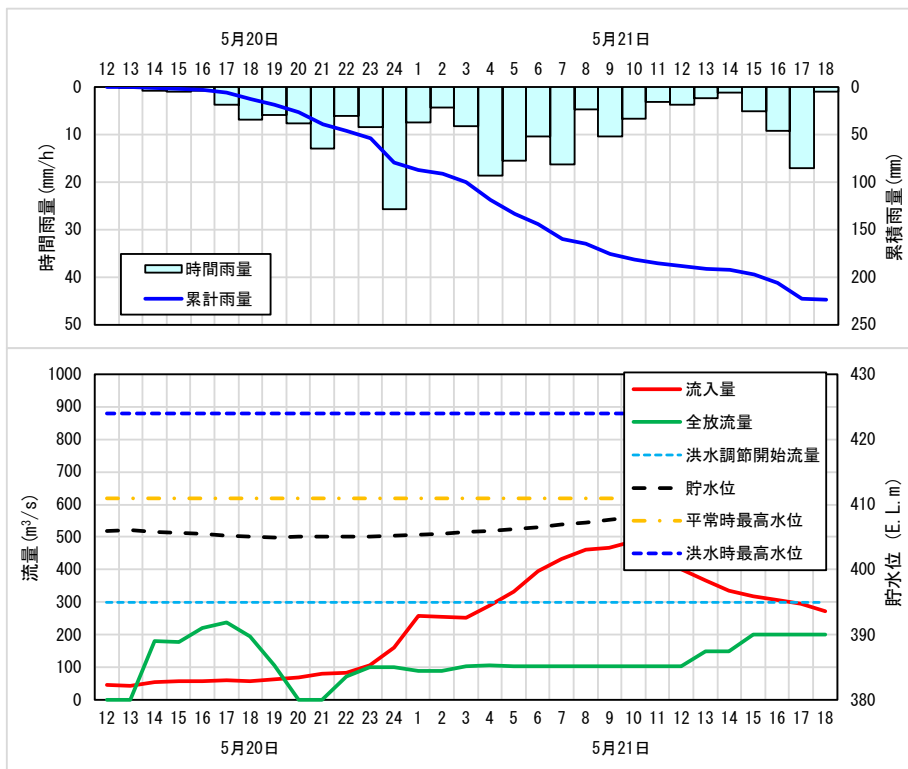
(2) 各ダムの防災操作（岩屋ダム）

<44>

- ・ 令和3年は5回の防災操作を行い、最大流入量は816.99m³/sであった。
- ・ 8月12日～21日の出水では、ダム下流部の馬瀬川東沓部地点において、約1.0mの水位低減効果がみられた。

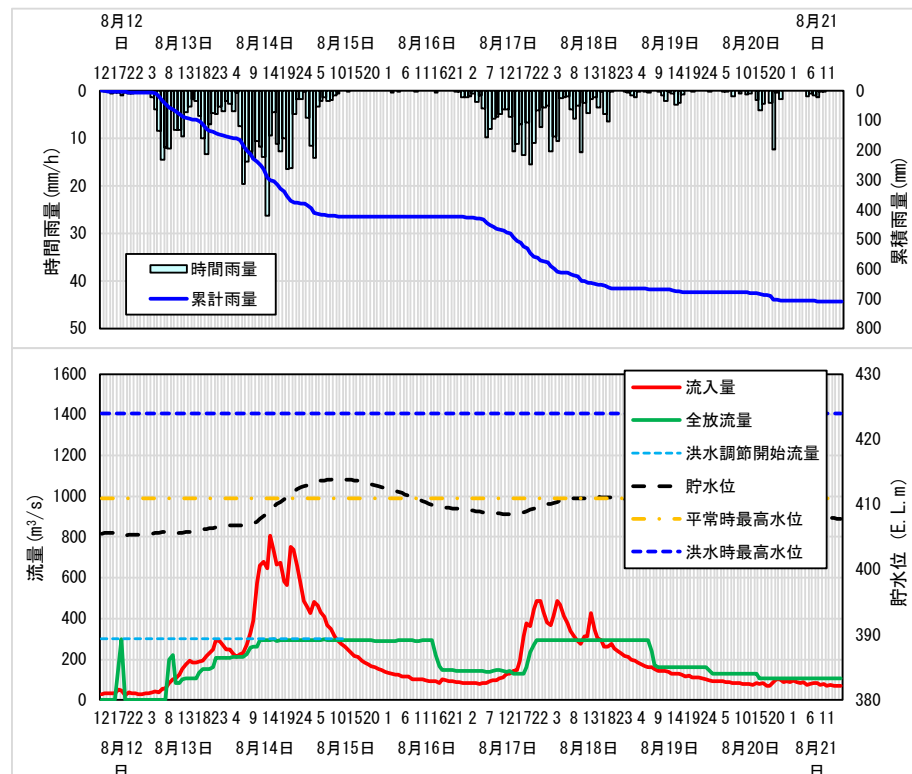
【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では5月20日14時から5月21日時までの30時間で223.0mmの降雨を観測した。



【洪水の原因となった気象概要】

前線の影響により、ダム上流域では8月12日13時から8月21日10時までの219時間で708.2mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作 (阿木川ダム)

<45>

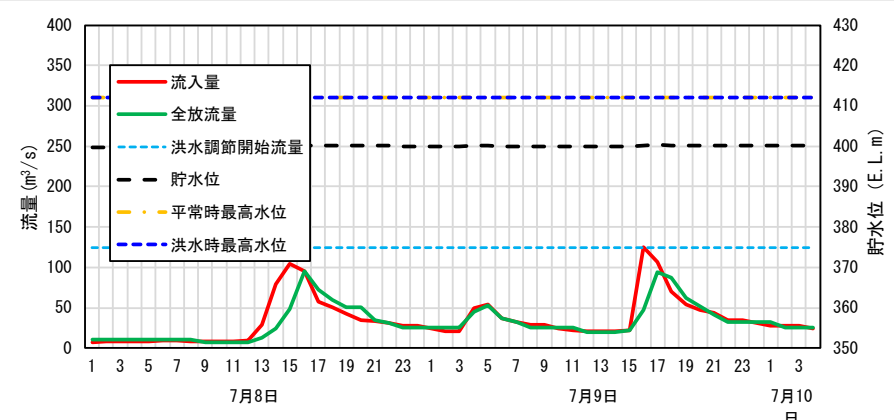
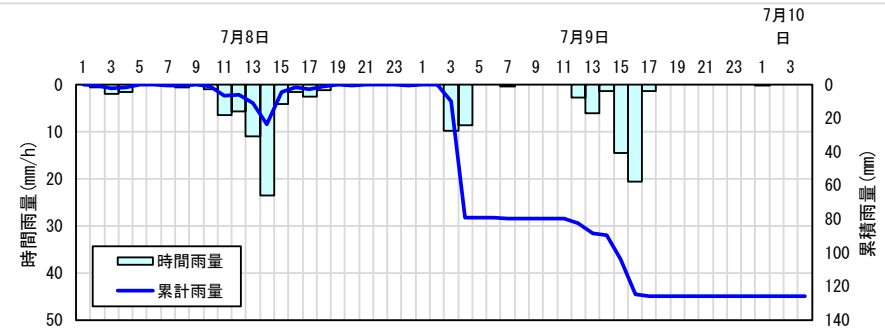
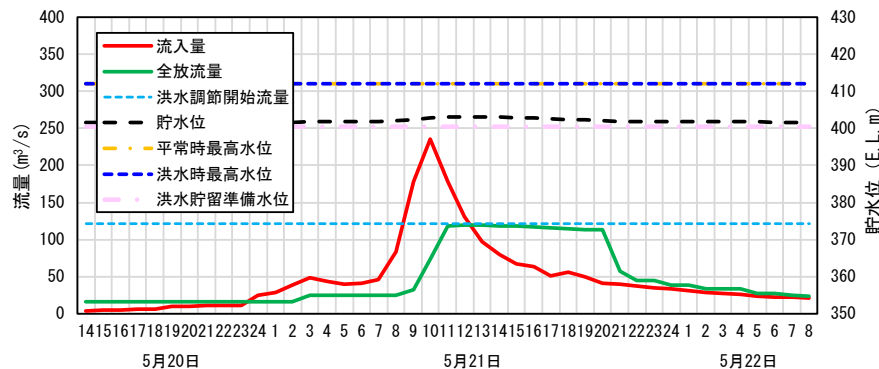
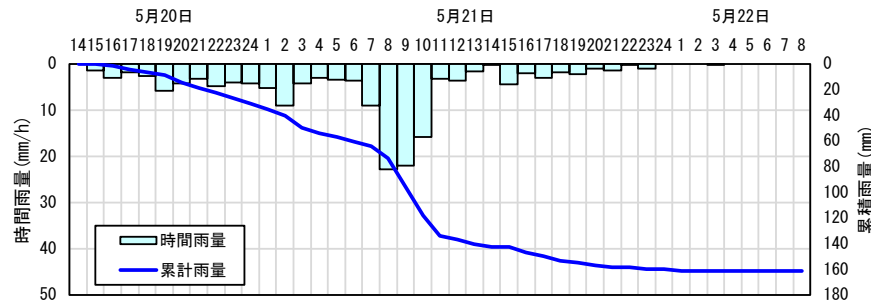
- 令和3年は3回の防災操作を行い、最大流入量は5月21日が235.19m³/s、7月9日が128.79m³/sであった。

【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では5月20日14時から5月21日21時までの31時間で153.0mmの降雨を観測した。

【洪水の原因となった気象概要】

梅雨前線の影響により、ダム上流域では7月8日2時から7月9日17時までの29時間で98.0mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

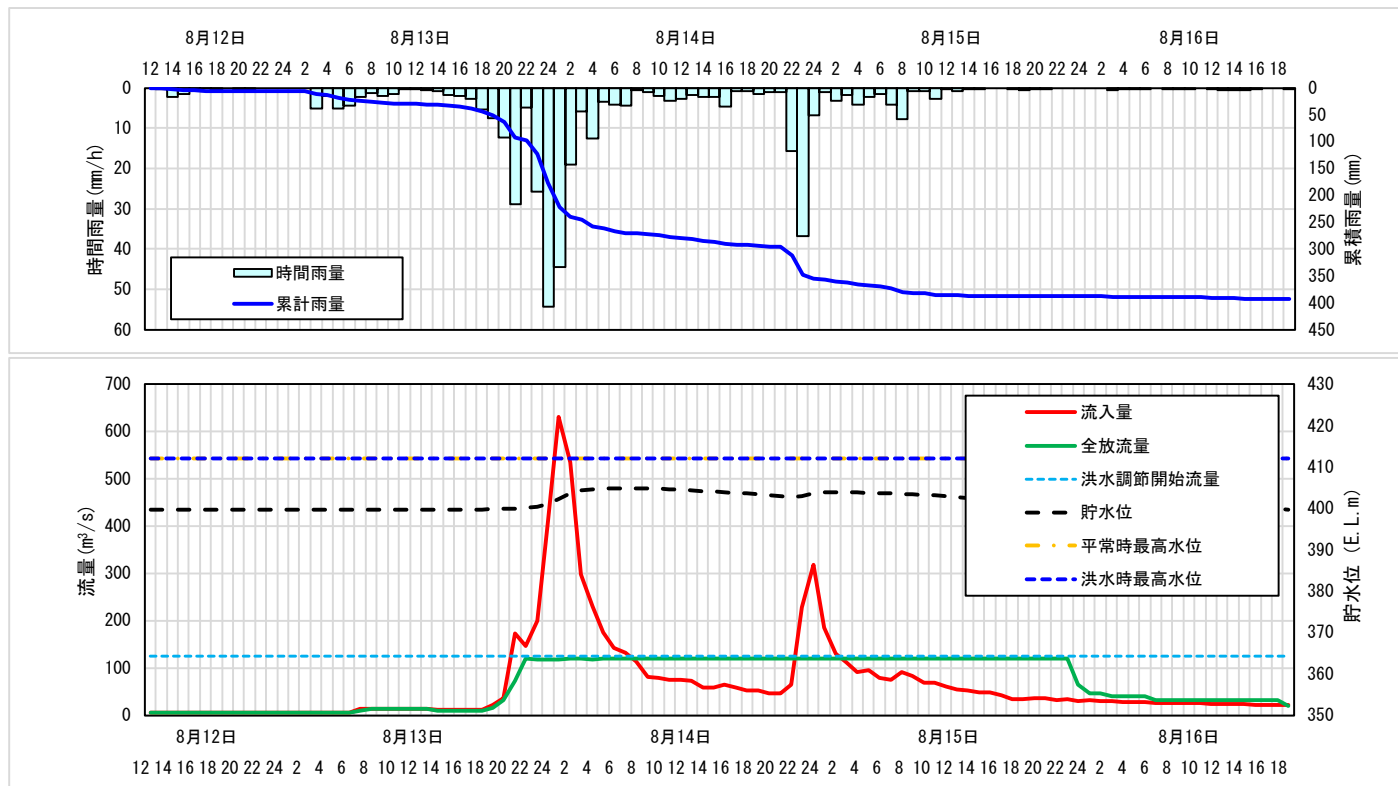
(2) 各ダムの防災操作 (阿木川ダム)

<46>

- 8月14日の最大流入量は700.60m³/sであり、この流量は管理開始以降第2位であった。

【洪水の原因となった気象概要】

秋雨前線の影響により、ダム上流域では8月12日13時から8月16日14時までの97時間で385.0mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作（徳山ダム）

<47>

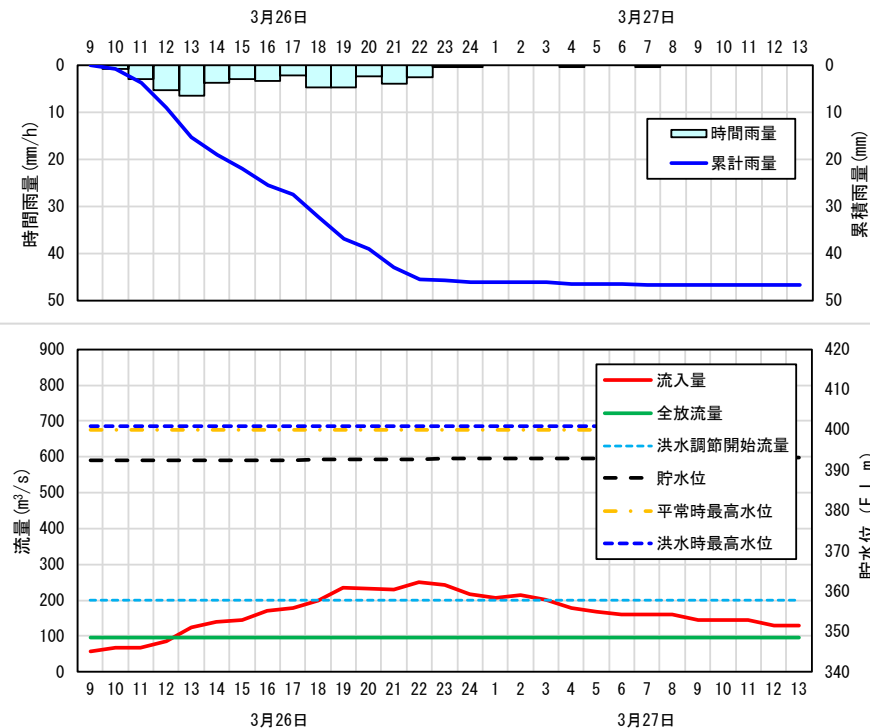
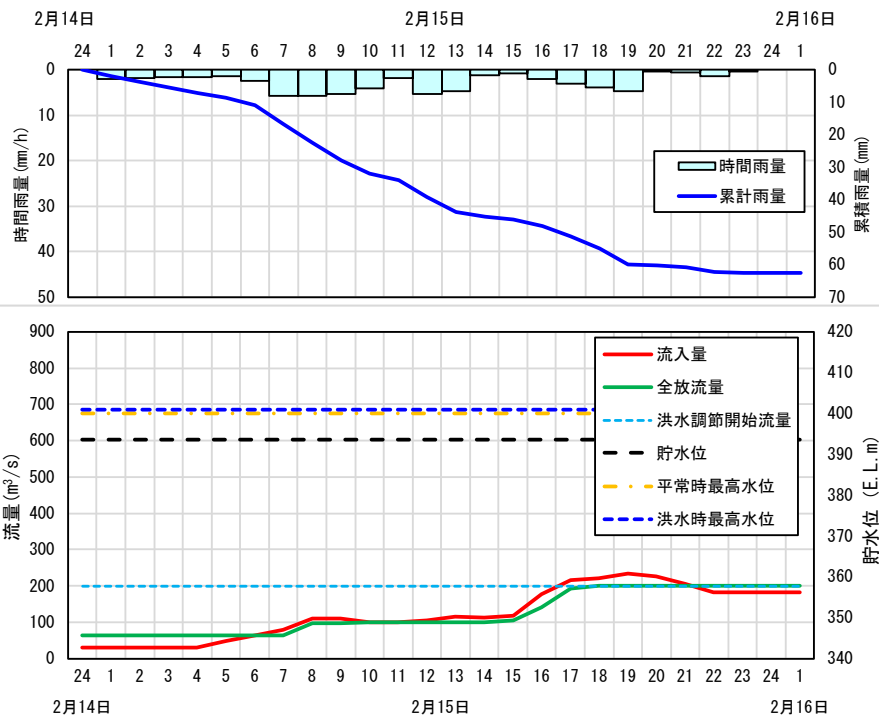
- ・ 令和3年は4回の防災操作を行い、最大流入量は253.07m³/sであった。
- ・ 2月及び3月の前線・融雪による出水では洪水量（200m³/s）を超える流入量が観測され、下流河川水位の低減を図る洪水調節を実施した。

【洪水の原因となった気象概要】

前線・融雪の影響により、ダム上流域では2月15日0時から2月15日23時までの23時間で62.6mmの降雨を観測した。

【洪水の原因となった気象概要】

前線・融雪の影響により、ダム上流域では3月28日8時から3月28日24時までの16時間で76.5mmの降雨を観測した。



3. 防災操作

(2) 各ダムの防災操作（徳山ダム）

<48>

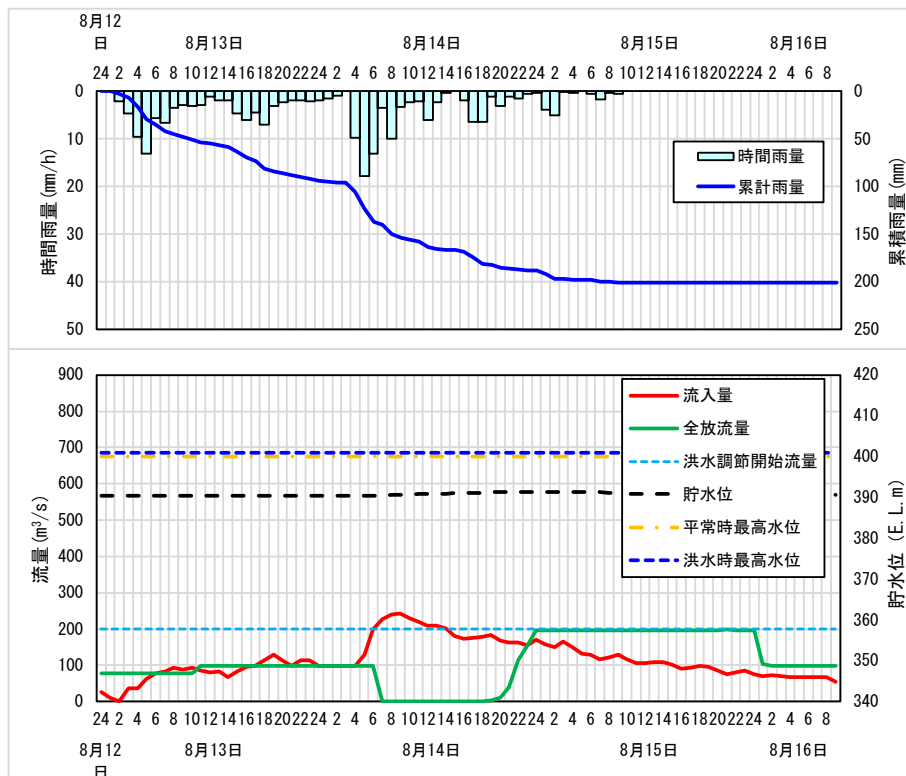
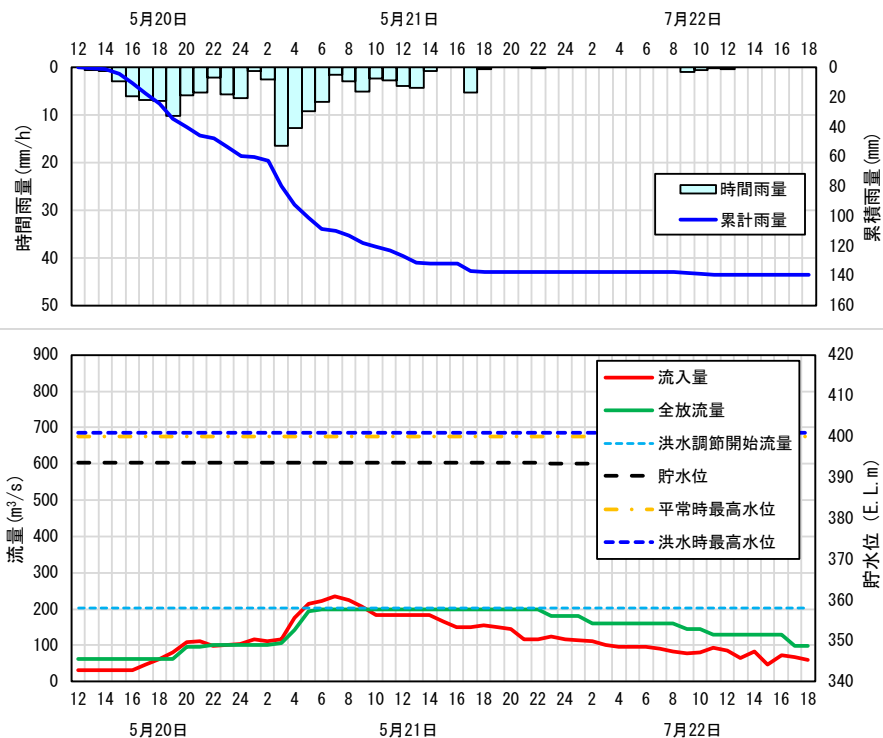
- 5月及び8月の出水では、洪水量（200m³/s）を超える流入量が観測され、下流河川水位の低減を図る洪水調節を実施した。

【洪水の原因となった気象概要】

寒冷前線の影響により、ダム上流域では5月20日12時から5月21日22時までの22時間で137.4mmの降雨を観測した。

【洪水の原因となった気象概要】

秋雨前線の影響により、ダム上流域では8月13日8時から8月15日にかけて断続的に降雨があり、200.8mmの降雨を観測した。



4. 利水

(1) 各ダムの貯水容量

<49>

利水関係 諸元一覧表 (1)

ダム名	長島ダム	美和ダム	小渋ダム	新豊根ダム	寒狭川堰	矢作ダム	小里川ダム
水系名及び河川名	大井川水系 大井川	天竜川水系 三峰川	天竜川水系 小渋川	天竜川水系 大入川	豊川水系 豊川	矢作川水系 矢作川	庄内川水系 小里川
集水面積 (km ²)	534.3	311.1	288	136.3	300	504.5	55
総貯水容量 (万m ³)	7,800	2,995.2	5,800	5,350	8.8	8,000	1,510
有効貯水容量 (万m ³)	6,800	2,074.5	3,710	4,040	6.4	6,500	1,290
非洪水期 利水容量 (万m ³)	4,800	2,074.5	2,910	4,040	6.4	6,500	300
洪水期 利水容量 (万m ³)	2,100	1,035.3	梅雨期：1,750 台風期：320	3,430	6.4	5,000	0
利水の目的	・流水の正常な 機能の維持 ・特定かんがい ・上水 ・工水	・発電 ・特定かんがい	・特定かんがい ・発電	・発電	・流水の正常な 機能の維持 ・特定かんがい ・上水	・流水の正常な 機能の維持 ・特定かんがい ・上水 ・工水 ・発電	・流水の正常な 機能の維持 ・発電

4. 利水

(1) 各ダムの貯水容量

<50>

利水関係 諸元一覧表 (2)

ダム名	丸山ダム	横山ダム	徳山ダム	岩屋ダム	阿木川ダム	長良川河口堰	味噌川ダム	蓮ダム
水系名及び河川名	木曽川水系 木曽川	木曽川水系 揖斐川	木曽川水系 揖斐川	木曽川水系 馬瀬川	木曽川水系 阿木川	木曽川水系 長良川	木曽川水系 木曽川	櫛田川水系 蓮川
集水面積 (km ²)	2,409	471	254.5	1,034.90	81.8	1,985	55.1	80.9
総貯水容量 (万m ³)	7,952	4,000	66,000	17,350	4,800	—	6,100	3,260
有効貯水容量 (万m ³)	3,839	3,000	38,040	15,000	4,400	—	5,500	2,940
非洪水期 利水容量 (万m ³)	1,822	3,000	36,640	10,000	4,400	—	5,500	2,840
洪水期 利水容量 (万m ³)	1,822	340	25,740	10,000	2,800	—	4,300	1,240
利水の目的	・発電	・発電	・流水の正常な 機能の維持 ・上水 ・工水 ・発電	・特定かんがい ・上水 ・工水 ・発電	・流水の正常な 機能の維持 ・上水 ・工水	・上水 ・工水	・流水の正常な 機能の維持 ・上水 ・工水 ・発電	・流水の正常な 機能の維持 ・上水 ・工水 ・発電

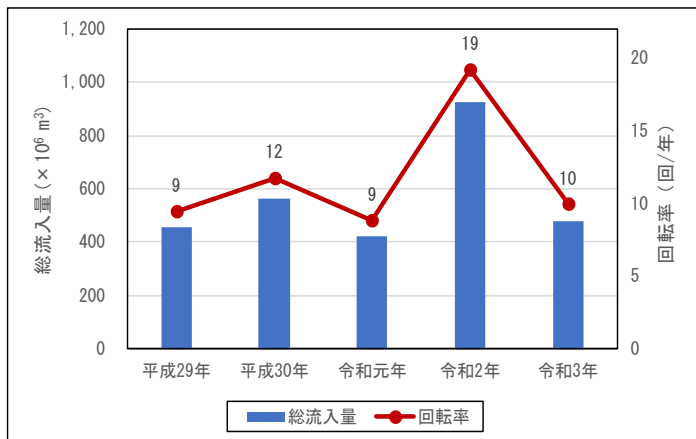
4. 利水

(2) 各ダムの回転率

<51>

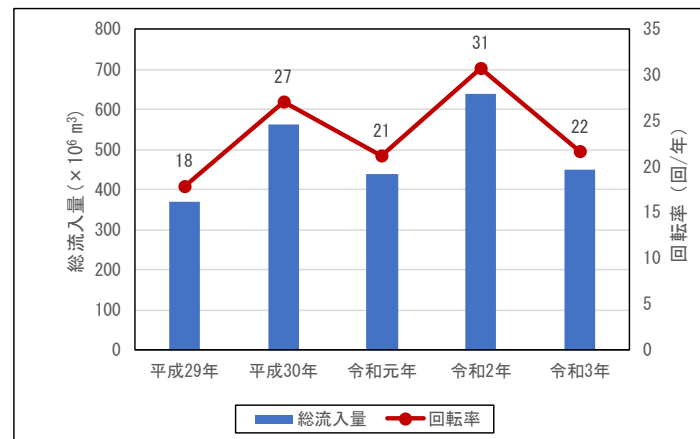
※ 回転率 (回/年) = 総流入量 (m³) ÷ 非洪水期利水容量 (m³)

長島ダムの令和3年の回転率は10回／年である。



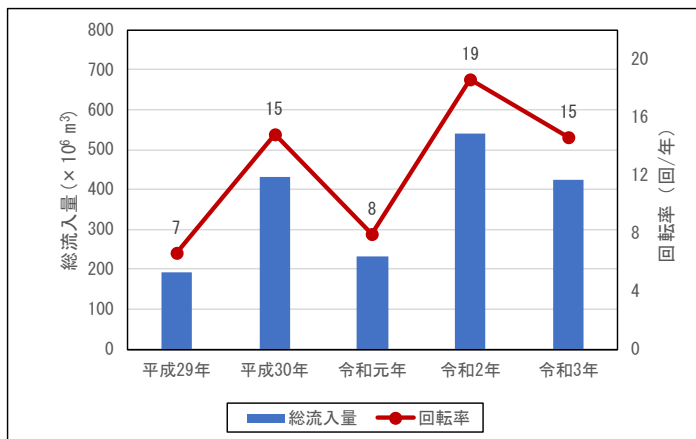
長島ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

美和ダムの令和3年の回転率は22回／年である。



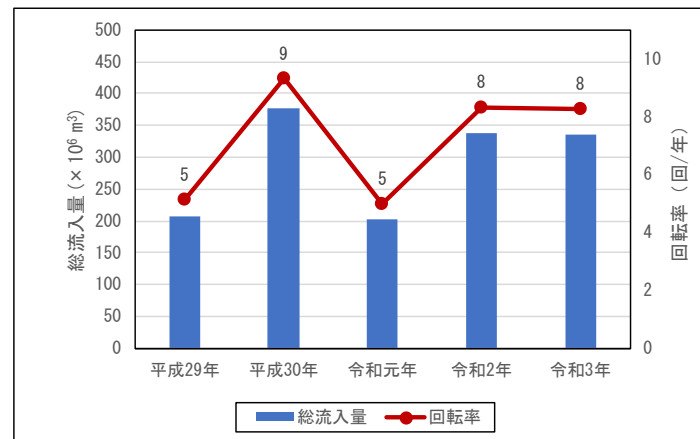
美和ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

小渋ダムの令和3年の回転率は15回／年である。



小渋ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

新豊根ダムの令和3年の回転率は8回／年である。



新豊根ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

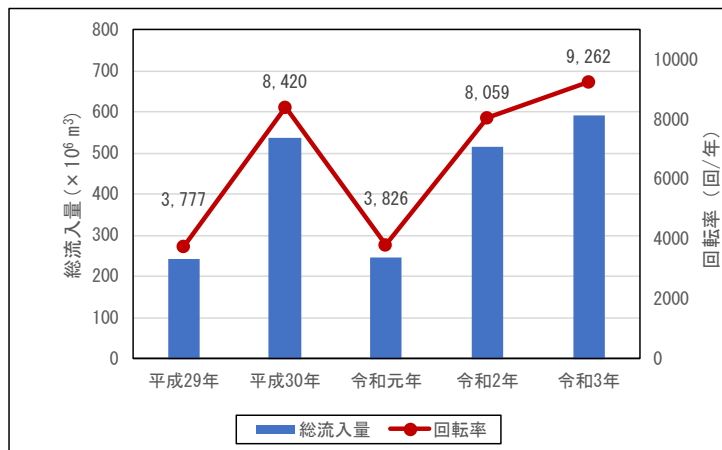
4. 利水

(2) 各ダムの回転率

<52>

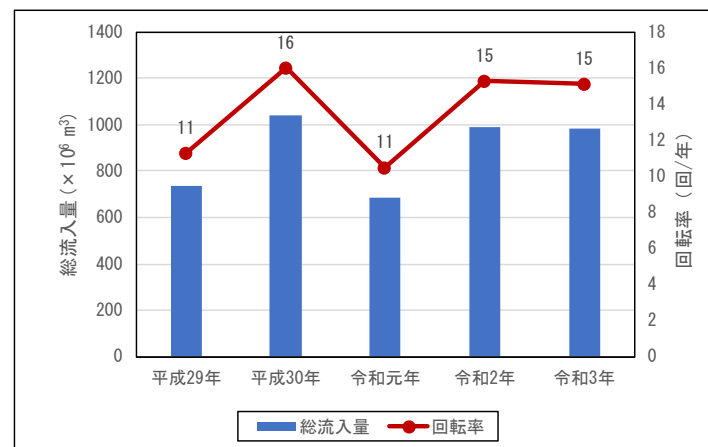
※ 回転率 (回/年) = 総流入量 (m³) ÷ 非洪水期利水容量 (m³)

寒狭川堰の令和3年の回転率は9262回/年である。



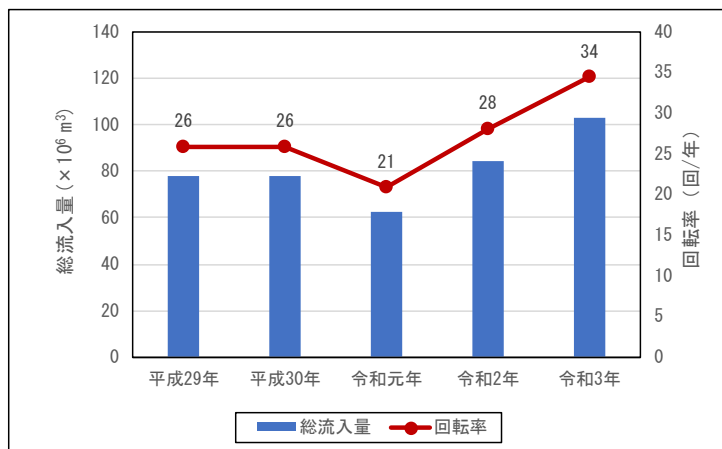
寒狭川堰の総流入量と回転率 (H29～R3年)

矢作ダムの令和2年の回転率は15回/年である。



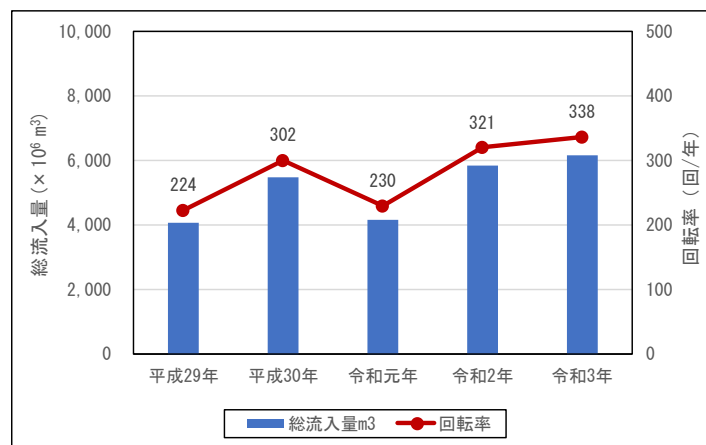
矢作ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

小里川ダムの令和3年の回転率は34回/年である。



小里川ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

丸山ダムの令和3年の回転率は338回/年である。



丸山ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

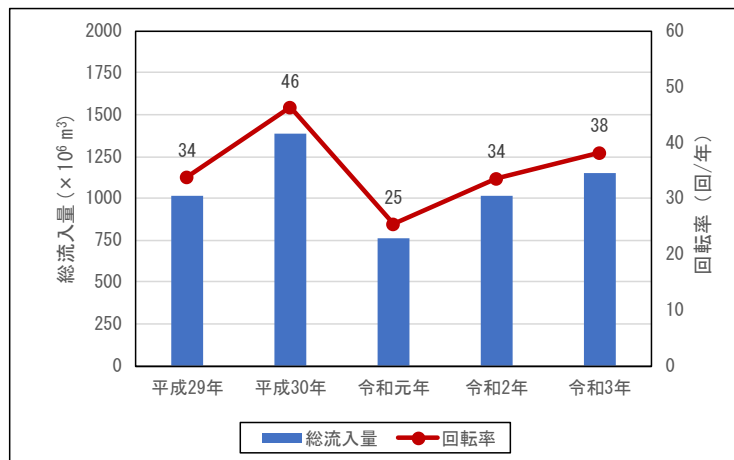
4. 利水

(2) 各ダムの回転率

<53>

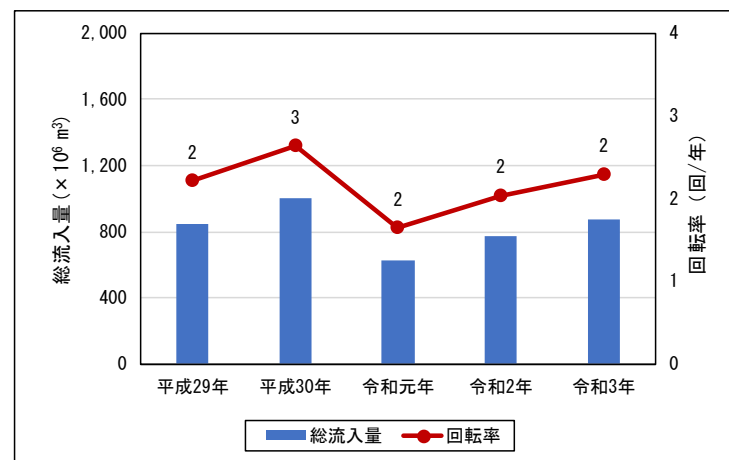
※ 回転率 (回/年) = 総流入量 (m³) ÷ 非洪水期利水容量 (m³)

横山ダムの令和3年の回転率は38回／年である。



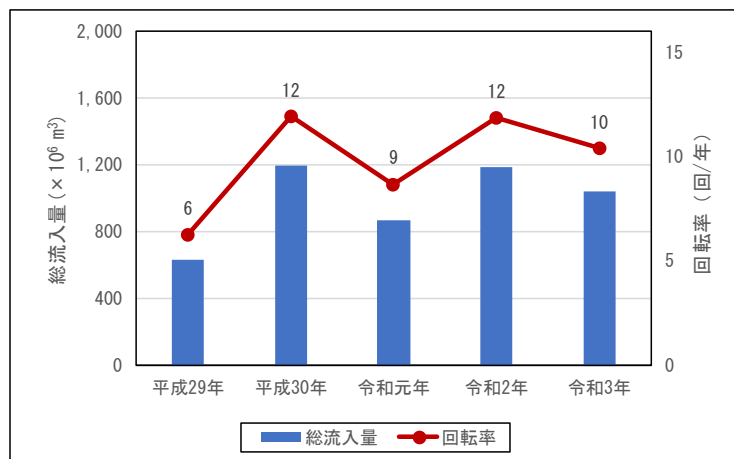
横山ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

徳山ダムの令和3年の回転率は2回／年である。



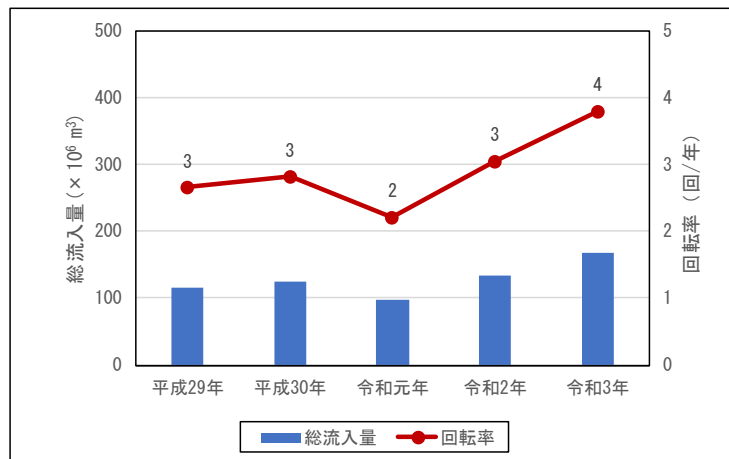
徳山ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

岩屋ダムの令和3年の回転率は10回／年である。



岩屋ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

阿木川ダムの令和3年の回転率は4回／年である。



阿木川ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

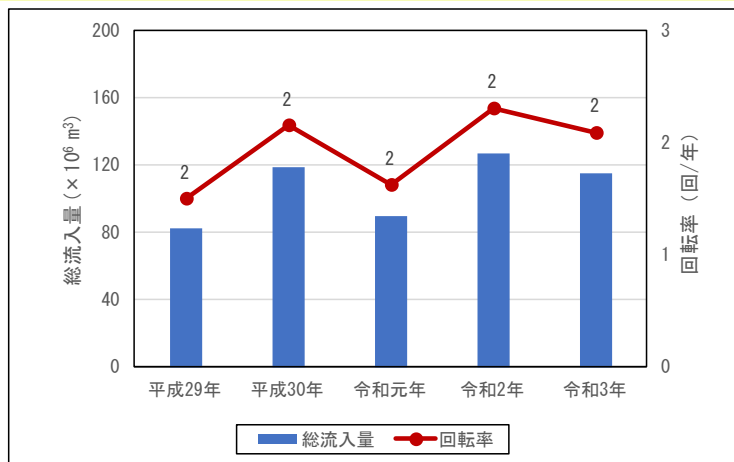
4. 利水

(2) 各ダムの回転率

<54>

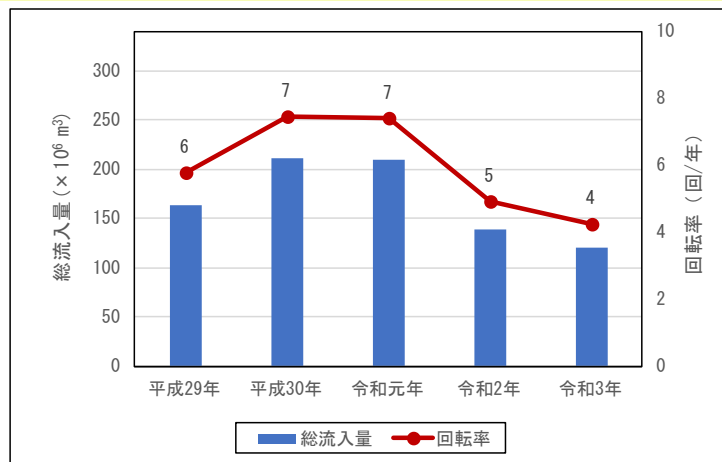
※ 回転率 (回/年) = 総流入量 (m³) ÷ 非洪水期利水容量 (m³)

味噌川ダムの令和3年の回転率は2回/年である。



味噌川ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

蓮ダムの令和3年の回転率は4回/年である。



蓮ダムの総流入量と回転率 (H29～R3年)

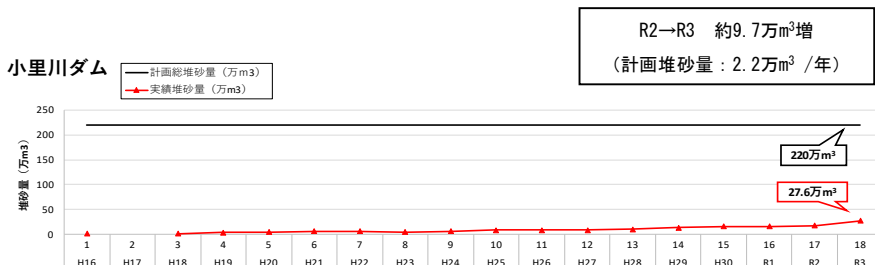
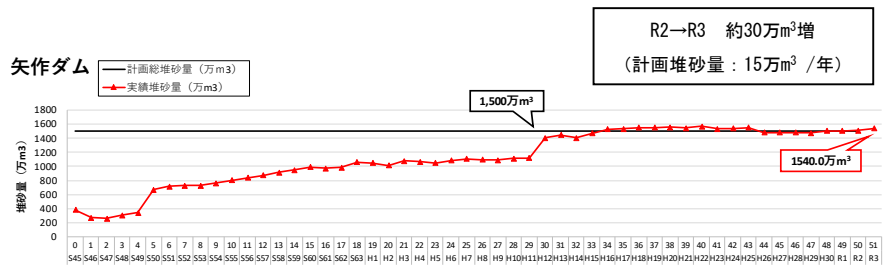
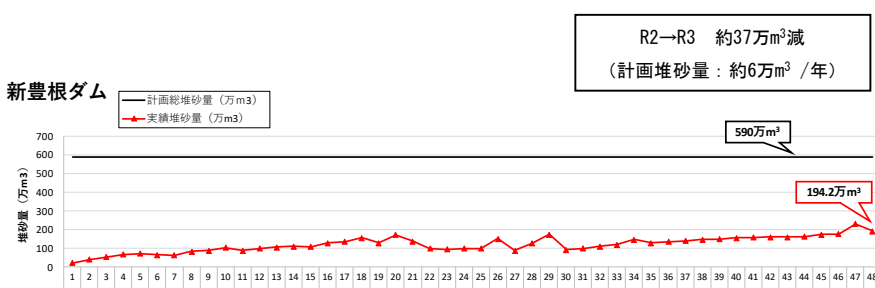
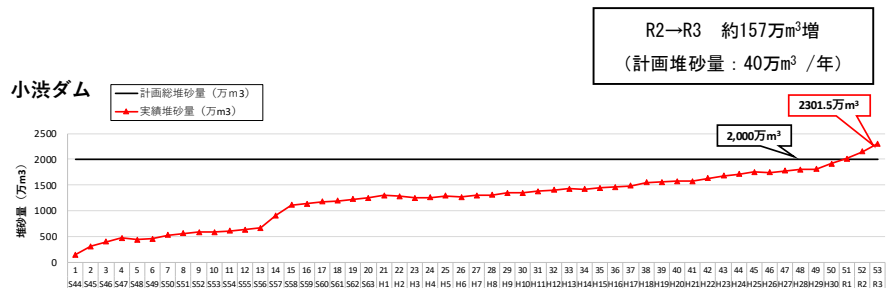
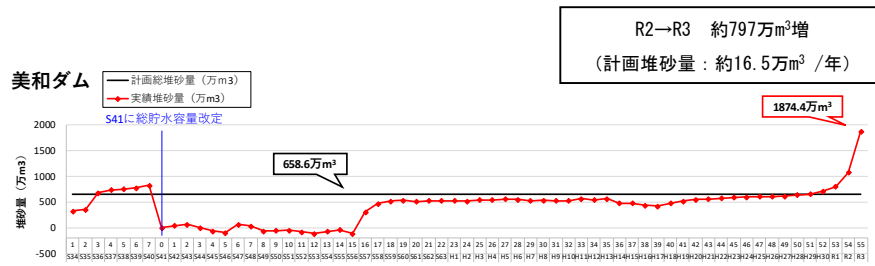
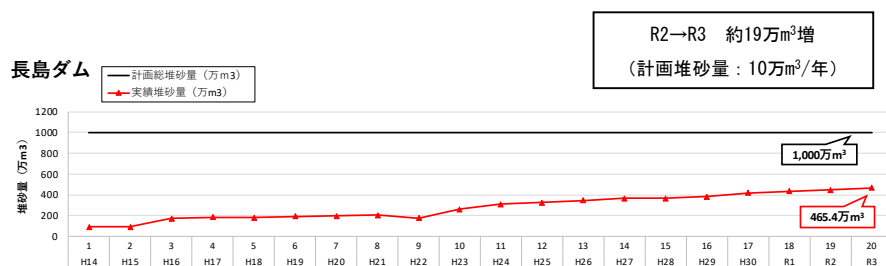
5. 堆砂

(1) 堆砂状況

①各ダムの経年堆砂状況

<55>

- 令和2年～令和3年は、美和ダム、小渋ダム、丸山ダムにおいて、計画年間堆砂量を大きく上回った堆砂量の増加が見られたが、他のダムでは大きな増加は見られなかった。
- 美和ダム、小渋ダム、矢作ダム、丸山ダムでは計画堆砂量を上回っている。



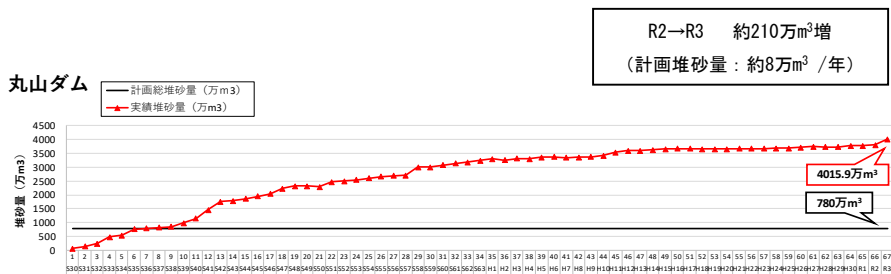
5. 堆砂

(1) 堆砂状況

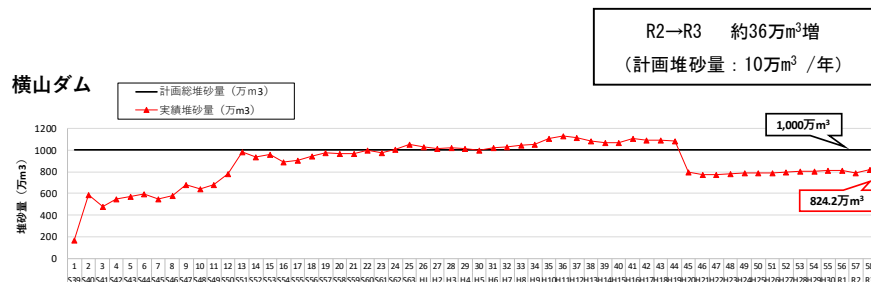
①各ダムの経年堆砂状況

<56>

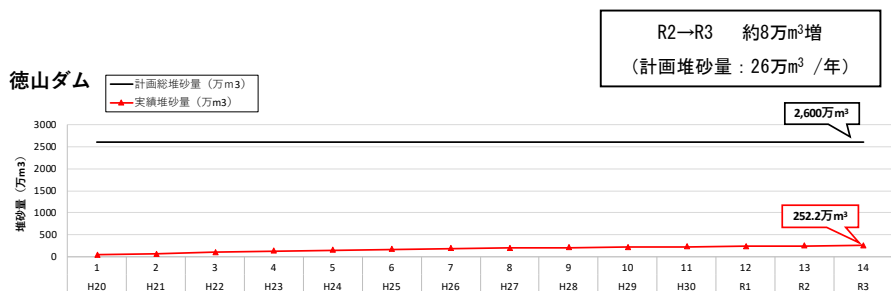
丸山ダム



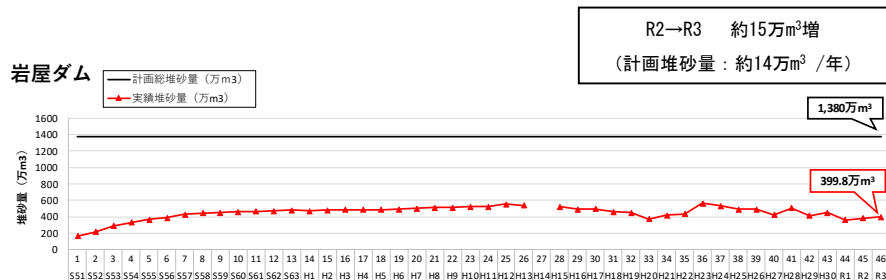
横山ダム



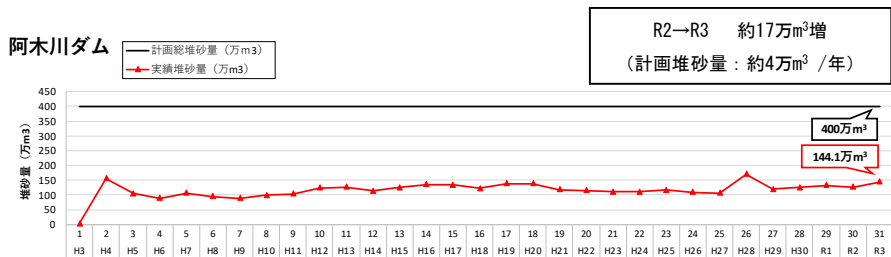
徳山ダム



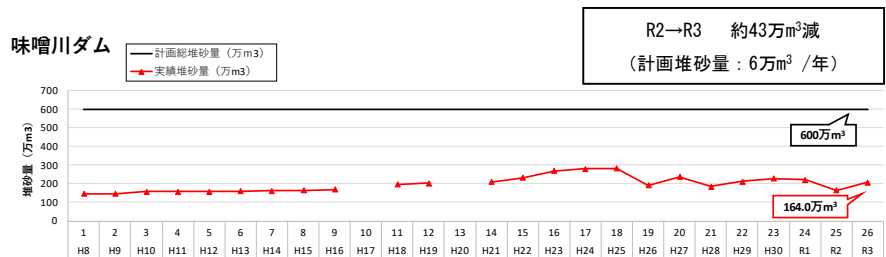
岩屋ダム



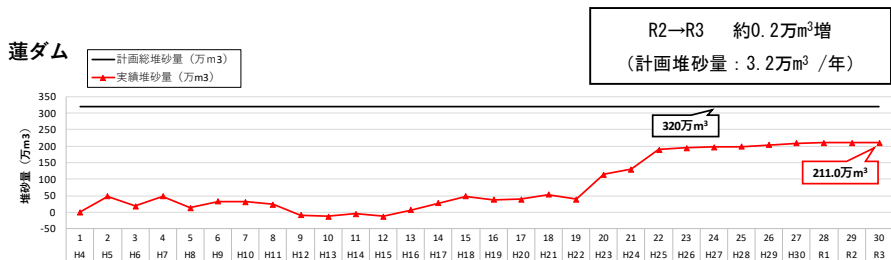
阿木川ダム



味噌川ダム



蓮ダム



令和3年の堆砂対策実施ダム

(単位：千m³)

- ・ 長島ダム：土砂掘削 13.0
- ・ 美和ダム：砂利採取・土砂掘削 8.4
- ・ 小渋ダム：砂利採取・土砂掘削 108.7
- ・ 新豊根ダム：実施なし
- ・ 寒狭川堰：実施なし
- ・ 矢作ダム：砂利採取・土砂掘削 92.5
- ・ 小里川ダム：実施なし
- ・ 丸山ダム：実施なし
- ・ 蓮ダム：砂利採取 7.4 (蓮貯砂ダム)
- ・ 横山ダム：土砂掘削 31.0
- ・ 徳山ダム：実施なし
- ・ 岩屋ダム：砂利採取 5.3
- ・ 阿木川ダム：実施なし
- ・ 長良川河口堰：実施なし
- ・ 味噌川ダム：実施なし



矢作ダム貯水池における土砂掘削の様子



砂利採取前



砂利採取後

蓮貯砂ダムの堆砂状況及び砂利採取後の状況（令和3年の状況）

6. 水質

(1) 水質の現況

<58>

- ・環境基準が設定されている項目は、令和3年において概ね基準値を満足していたが、大腸菌群数は基準値を超過するダムが多かった。

ダム名	類型指定		貯水池の水質								
			表層pH	表層DO (mg/L)	表層SS (mg/L)	BOD 表層 (mg/L)	COD 表層 (mg/L)	T-N 表層 (mg/L)	T-P 表層 (mg/L)	表層大腸菌群数 (MPN/100mL)	表層クロロフィルa (μg/L)
長島ダム	河川AA	最大値	9.2	11.5	7	3.8	5.4	0.280	0.028	49	13.0
		平均値	8.0	9.9	2.8	1.2	1.7	0.121	0.012	23	3
		最小値	7.4	7.8	1.0	0.5	0.6	0.07	0.006	5	1.0
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
美和ダム	河川A	最大値	8.9	13.9	33.0	3.6	4.7	0.470	0.230	170	26.0
		平均値	8.4	10.9	11.5	1.2	1.9	0.310	0.058	40	7.6
		最小値	7.9	9.4	4.0	0.5	1.1	0.220	0.009	4.5	2.0
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	2mg/L以下	－	－	－	1,000MPN/100mL以下	－
小渋ダム	河川AA	最大値	9.1	12.4	109.0	1.7	3.1	0.440	0.103	79	9.0
		平均値	8.2	10.5	17.0	0.8	1.9	0.350	0.310	18	2.1
		最小値	7.8	7.8	1.0	0.5	0.8	0.070	0.006	1.8	1.0
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
新豊根ダム	－	最大値	7.8	11.5	17.7	1.5	2.4	0.910	0.053	1241	3.7
		平均値	7.6	8.9	6.5	1.0	1.9	0.610	0.027	270	1.8
		最小値	7.4	5.6	2.3	0.6	1.5	0.340	0.015	23	1.0
		基準値	－	－	－	－	－	－	－	－	－
寒狭川堰	河川AA	最大値	7.8	13.4	1.0	0.7	1.7	0.480	0.018	17000	4.0
		平均値	7.5	11.2	1.0	0.5	1.4	0.350	0.012	2661	1.3
		最小値	7.4	9.0	1.0	0.5	0.9	0.270	0.008	8	1.0
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
矢作ダム	河川AA	最大値	9.3	12.4	3.0	1.9	3.3	0.350	0.021	13000	23.0
		平均値	7.7	10.8	1.2	1.3	2.2	0.273	0.012	1627	5.4
		最小値	7.0	9.0	0.0	0.0	1.0	0.190	0.005	7	0.0
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
小里川ダム	河川B	最大値	9.5	15.8	12.0	3.4	4.6	0.7	0.1	13000.0	28.0
		平均値	7.6	10.4	4.8	1.7	3.4	0.460	0.039	2669	9.1
		最小値	7.0	8.2	1.0	0.6	2.4	0.1	0.0	33.0	1.0
		基準値	6.5～8.5	5mg/L以上	25mg/L以下	3mg/L以下	－	－	－	5,000MPN/100mL以下	－
丸山ダム	河川A	最大値	7.4	13.1	9.0	0.9	2.3	0.420	0.024	11000	1.0
		平均値	7.3	10.8	3.0	0.7	1.4	0.350	0.014	2390	1.0
		最小値	7.1	9.1	1>	0.5>	1.1	0.270	0.009	220	1>
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	2mg/L以下	－	－	－	1,000MPN/100mL以下	－

※新豊根ダムは環境基準が指定されていない。
※BOD及びCODの平均値欄には75%値を示している。

：基準値を満たしている項目
：基準値を超過している項目

6. 水質

(1) 水質の現況

<59>

・環境基準が設定されている項目は、令和3年において概ね基準値を満足していたが、大腸菌群数は基準値を超過するダムが多かった。

ダム名	類型 指定		貯水池の水質								
			表層pH	表層DO (mg/L)	表層SS (mg/L)	BOD 表層 (mg/L)	COD 表層 (mg/L)	T-N 表層 (mg/L)	T-P 表層 (mg/L)	表層大腸菌群数 (MPN/100mL)	表層クロロフィルa (μ g/L)
横山ダム	河川AA 湖沼AⅢ	最大値	7.7	12.5	5.0	1.6	2.1	0.440	0.021	4900	11.0
		平均値	7.4	10.6	2.0	1.1	1.4	0.320	0.013	1013	3.8
		最小値	7.3	8.8	1.0	0.5	0.8	0.240	0.007	23	1.0
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	5mg/L以下	－	3mg/L以下	－	0.03mg/L以下	1,000MPN/100mL以下	－
徳山ダム	河川AA	最大値	8.7	12.0	1.0	1.1	1.7	0.380	0.010	13000	8.0
		平均値	7.7	9.7	1.0	0.9	1.2	0.253	0.004	1994	3.2
		最小値	7.0	8.6	1.0	0.2	0.7	0.190	0.003	2	1.0
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
岩屋ダム	河川AA	最大値	8.0	12.6	1.9	1.1	1.8	0.262	0.015	13000	4.2
		平均値	7.3	10.3	0.8	0.5	1.1	0.197	0.008	1602	1.7
		最小値	7.1	8.8	0.1	0.1	0.7	0.131	0.004	0	0.8
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	1mg/L以下	－	－	－	50MPN/100mL以下	－
阿木川ダム	河川A	最大値	7.8	11.4	13.1	1.3	2.8	0.740	0.046	4900	7.5
		平均値	7.2	9.8	3.2	0.8	2.4	0.520	0.022	900	3.4
		最小値	6.9	8.2	1.0	0.5	1.4	0.430	0.014	5	1.3
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	2mg/L以下	－	－	－	1,000MPN/100mL以下	－
長良川河口堰	河川A	最大値	8.8	12.6	39.0	2.2	4.1	1.260	0.108	79000	34.7
		平均値	7.5	10.1	4.0	0.9	1.8	0.746	0.050	6663	4.7
		最小値	7.0	7.7	1.0	0.5	0.9	0.500	0.024	79	0.5
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	25mg/L以下	2mg/L以下	－	－	－	1,000MPN/100mL以下	－
味噌川ダム	湖沼AⅡ	最大値	7.9	11.6	24.5	1.5	2.8	0.790	0.097	4900	6.4
		平均値	7.7	9.7	4.0	0.9	1.9	0.286	0.019	691	1.8
		最小値	7.5	8.5	0.3	0.1	1.3	0.161	0.004	4	0.6
		基準値	6.5～8.5	7.5mg/L以上	5mg/L以下	－	3mg/L以下	－	0.01mg/L以下	1,000MPN/100mL以下	－
蓮ダム	－	最大値	9.0	12.3	3.0	0.5	3.0	0.290	0.014	330	15.0
		平均値	7.9	10.5	2.0	1.1	2.4	0.210	0.009	91	5.1
		最小値	7.2	8.5	1.0	1.8	1.0	0.130	0.005	1.8	2.0
		基準値	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※蓮ダムは環境基準が指定されていない。

※BOD及びCODの平均値欄には75%値を示している。

：基準値を満たしている項目

：基準値を超過している項目

6. 水質

(2) 水質変化現象

<60>

- 令和3年では、小里川ダムで着色現象、徳山ダムでアオコ・淡水赤潮が発生したが、苦情や魚の斃死等富栄養化に係る障害は生じていない。また、阿木川ダム、味噌川ダムでは出水に伴う濁水長期化現象がみられた。

ダム名	水質障害				
	冷温水現象	濁水長期化現象	低層DO低下現象	富栄養化現象	その他
長島ダム	—	—	—	—	—
美和ダム	—	—	—	—	—
小渋ダム	—	—	—	—	—
新豊根ダム	—	—	—	—	—
寒狭川堰	—	—	—	—	—
矢作ダム	—	—	—	—	—
小里川ダム	—	—	—	—	着色現象発生 ^{※1} (6月～9月)
丸山ダム	—	—	—	—	—
横山ダム	—	—	—	—	—
徳山ダム	—	—	—	—	アオコ発生 ^{※2} (8/25～12/3) 淡水赤潮発生 ^{※3} (6/8～6/23)
岩屋ダム	—	—	—	—	—
阿木川ダム	—	洪水に伴う濁水 (8/14～9/20)	—	—	—
長良川河口堰	—	—	—	—	—
味噌川ダム	—	洪水に伴う濁水 (8/18～9/27、11/24～)	—	—	—
蓮ダム	—	—	—	—	—

※1: 苦情や魚の斃死等富栄養化に関わる障害は生じていない。

※2: 発生箇所は、流入河川上流端、西谷、扇谷、白谷付近。

※3: 発生箇所は、西谷、白谷、扇谷付近。

7. 生物

(1) 調査実施状況

<61>

河川水辺の国勢調査【ダム湖版】等の生物調査の実施状況 (1/3)

ダム名 項目	長島	美和	小渋	新豊根	寒狭 川堰	矢作	小里川	丸山	横山	徳山	岩屋	阿木川	長良川 河口堰 (※)	味噌川	蓮
魚類	H16, H21, H26, R2	H06, H10, H14, H19, H24, H29,	H05, H10, H14, H15, H19, H24, H29,	H05, H10, H15, H16, H19, H24, H29,	H15 から 毎年	H03, H05, H10, H13, H15, H21, H26, R2	H18, H24, H29,	H07, H10, H15, H20, H26,	H08, H13, H20, H26,	H24, H26,	H02, H05, H08, H13, H20, H26,	H03, H05, H08, H13, H20, H26,	H12, H16, H20, H26,	H12, H17, H20, H26,	H04, H05, H08, H09, H14, H18, H23, H28, R3,
底生動物	H16, H21, H26,	H05, H09, H14, H19, H24, H29,	H05, H06, H07, H10, H14, H15, H19, H24, H29,	H06, H10, H15, H16, H19, H24, H29,	H15 から 毎年	H05, H10, H15, H22, H27, R01	H18, H24, H29,	H07, H10, H15, H21, H27, R01	H04, H10, H15, H21, H27, R01	H27, R01	H07, H12, H17, H21, H27, R01	H07, H12, H17, H21, H27, R01	H12, H16, H20, H27, R01	H12, H17, H21, H27, R01	H06, H08, H14, H18, H24, H29,
動植物 プランクトン	H16, H21, H26,	H06, H11, H17, H22, H27, R3,	H05, H11, H15, H22, H27, R3,	H06, H17, H22, H27, R2, R3,	H15 から 毎年	H05, H11, H14, H19, H28, H29,	H17, H18, H19, H20,	H11, H16, H21, R2, R3,	H04, H10, H13, H21, H27, R2	H27,	H07, H12, H17, H21, H27,	H07, H12, H17, H21,	H12 から 毎年	H12, H17, H21,	H11, H17, H22, R3,

※植物プランクトンは水質の項目で考察する。

※長良川河口堰は木曽川下流長良川の調査実施年

7. 生物

(1) 調査実施状況

<62>

河川水辺の国勢調査【ダム湖版】等の生物調査の実施状況 (2/3)

ダム名 項目	長島	美和	小渋	新豊根	寒狭 川堰	矢作	小里川	丸山	横山	徳山	岩屋	阿木川	長良川 河口堰 (※)	味噌川	蓮
植物	H18,	H05, H07, H08, H14, H18, H28,	H04, H06, H07, H09, H16, H18, H28,	H05, H14, H15, H18, H28,	(実施していない)	H06, H09, H13, H25,	H22, R2	H07, H09, H14, H23, R3,	H04, H09, H14, H23, R3,	H25, R3,	H05, H09, H15, H23, R3,	H09, H10, H15, H23, R3,	H14, H19, H23, R3,	H13, H23, R3,	H05, H09, H15, H25,
環境基図	H18, H25,	H05, H07, H08, H14, H18, H23, H28, R3,	H04, H06, H07, H09, H16, H18, H23, H28, R3,	H05, H14, H18, H23, H28, R3,	(実施していない)	H06, H09, H13, H25	H18, H22, H27, R2	H07, H09, H14, H19, H24, H29,	H04, H09, H14, H19, H24, H29,	H29,	H05, H09, H15, H19, H24, H29,	H10, H15, H19, H24, H29,	H14, H19, H24, H29	H13, H19, H24, H29,	H05, H09, H15, H21, H26, R01
鳥類	H18, H29,	H05, H08, H14, H27,	H05, H06, H07, H09, H14, H27,	H05, H09, H14, H15, H16, H27,	(実施していない)	H05, H09, H13, H14, H23, R3,	H20, H25,	H07, H09, H14, H22, R2	H04, H09, H14, H22,	H23, R2	H06, H11, H16, H22, R2	H06, H11, H16, H22, R2	H12, H17, H22, R2	H11, H16, H22, R2	H05, H10, H13, H20,

※長良川河口堰は木曽川下流長良川の調査実施年

7. 生物

(1) 調査実施状況

<63>

河川水辺の国勢調査【ダム湖版】等の生物調査の実施状況 (3/3)

ダム名 項目	長島	美和	小渋	新豊根	寒狭 川堰	矢作	小里川	丸山	横山	徳山	岩屋	阿木川	長良川 河口堰 (※)	味噌川	蓮
両生類・ 爬虫類・ 哺乳類	H18, H28, R3 ,	H05, H08, H14, H21, R01	H05, H06, H07, H10, H14, H21, R1	H06, H15, H16, H21, R01	(実施していない)	H05, H10, H16, H18, H28,	H21, R01,	H07, H10, H15, H25,	H07, H10, H15, H25,	H25,	H06, H11, H16, H25,	H06, H11, H16, H25,	H15, H25,	H15, H25,	H05, H10, H16, H19, H29,
陸上昆虫類 等	H17, H22, R3 ,	H05, H08, H09, H16, H20,	H06, H07, H09, H14, H20,	H05, H09, H14, H15, H20,	(実施していない)	H06, H09, H13, H14, H25,	H17, H19, H29,	H07, H09, H14, H18, H28,	H08, H13, H18, H28,	H23, H28,	H05, H09, H14, H18, H28,	H09, H14, H18, H28,	H13, H18, H28	H14, H18, H28,	H06, H10, H16, H22, R2

※長良川河口堰は木曽川下流長良川の調査実施年

【重要種】

- 文化財保護法：「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)等
特天：特別天然記念物、天：天然記念物、県天：県天然記念物
- 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生生物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)
国内：国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種
- 環境省RL：「環境省報道発表資料 第4次レッドリストの公表について」(環境省 平成25年2月)
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、
NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：地域個体群
- 県RDB：各県で制定しているレッドデータブックに記載の種
EX+EW：絶滅、A：絶滅危惧I類、B：絶滅危惧II類、C：準絶滅危惧、D：希少、N：注意、
NE：未評価 (※県RDBのカテゴリ分類は県ごとに異なるため、一般的な分類を記載)

【外来種】

- 特定外来生物：「特定外来生物による生態系に係わる被害の防止に関する法律(平成16年法律第78号)」
- 生態系防止被害：生態系被害防止外来種のうち、国外由来の外来種：「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(環境省 平成27年3月)
 - 定着：定着予防外来種(国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要な外来種)
 - 総合：総合対策外来種(国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害のおそれがあるため、国、地方公共団体、国民など各主体がそれぞれの役割において、防除(野外での取り除き、分布拡大の防止等)、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種)
 - 産業：産業管理外来種(産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種)

7. 生物

(3) 調査結果の概要

<65>

魚類

ダム名	調査結果	調査日
蓮ダム	○確認種数：4目9科18種 ○重要種：3種(アカザ、サツキマス、カジカ) ○外来種：3種(コイ(飼育型)、 <u>ブルーギル</u> 、 <u>オオクチバス</u>) ○河川環境調査、環境DNAテーマ調査、陸封アユの生息・生育状況調査	春季：R3/6/14-18 夏季：R3/8/16-19, 8/27-28 秋季：R3/10/4-8

動植物プランクトン

ダム名	調査結果	調査日
新豊根ダム	○確認種数：動物プランクトン5綱7目12科27種、植物プランクトン8綱8目19科37種	4月から3月までの12回 実施

陸上昆虫類

ダム名	調査結果	調査日
長島ダム	○確認種数：17目188科854種 ○重要種：2種(トゲアリ、オオメノミカメムシ) ○外来種：(該当種なし)	秋季：R3/9/20-24

注) 外来種(下線)は特定外来生物

7. 生物

(3) 調査結果の概要

<66>

環境基図

ダム名	調査結果	調査日
新豊根ダム	○群落及び土地利用区分：63区分(面積最大：スギ・ヒノキ群落) ○重要種群落：(該当種なし) ○外来種群落：8群落(<u>アレチウリ</u>群落、イタチハギ群落、セイタカアワダチソウ群落等)	夏季：R3/9/27-30
小渋ダム	○群落及び土地利用区分：50区分(面積最大：コナラ群落) ○重要種群落：(イトモ群落) ○外来種群落：10群落(<u>オオキンケイギク</u>群落、ハリエンジュ群落、セイタカアワダチソウ群落等)	夏季：R3/8/26-9/17 秋季：R3/10/6-29
美和ダム	○群落及び土地利用区分：63区分(面積最大：コナラ群落) ○重要種群落：(メハジキ群落) ○外来種群落：10群落(<u>アレチウリ</u>群落、<u>オオハンゴンソウ</u>群落、セイタカアワダチソウ群落等)	夏季：R3/8/26-9/17 秋季：R3/10/11-21

鳥類

ダム名	調査結果	調査日
矢作ダム	○確認種数：16目39科86種 ○重要種：32種(カワアイサ、ヤマセミ、カワガラス、クマタカ、オオアカゲラ等) ○外来種：4種(<u>コジュケイ</u>、<u>アヒル</u>、<u>ガビチョウ</u>、<u>ソウシチョウ</u>) ○アユ稚仔魚調査及び動物プランクトン調査	春の渡り期：R3/5/6-8 繁殖後期：R3/6/2-3 秋の渡り期： R3/9/25,27,10/6 越冬期：R4/1/31-2/3

注) 外来種(下線)は特定外来生物

両生類・爬虫類・哺乳類

ダム名	調査結果	調査日
長島ダム	■両生類 ○確認種数：5科9種 ○重要種：8種(アカイシサンショウウオ、アズマヒキガエル、モリアオガエル等) ○外来種：(該当種なし) ■爬虫類 ○確認種数：3科4種 ○重要種：1種(ヒガシニホントカゲ) ○外来種：(該当種なし) ■哺乳類 ○確認種数：13科20種 ○重要種：8種(ヒガシキクガシラコウモリ、ホンドモモンガ、ニッコウムササビ、カモシカ等) ○外来種：(該当種なし)	初夏：6月

注) 外来種(下線)は特定外来生物

7. 生物

(3) 調査結果の概要

<68>

植物

ダム名	調査結果	調査日
徳山ダム	○確認種数：127科724種 ○重要種：16種（イワヤシダ、エビネ、ミスミソウ、ヤマシャクヤク、マネキグサ等） ○外来種：48種(イヌムギ、カモガヤ、セイタカアワダチソウ、<u>オオキンケイギク</u>) ○湿生池調査（植物、両生類・爬虫類・哺乳類、陸上昆虫、底生動物（水生昆虫類））	春季：R3/5/11-12,19-20 夏季：R3/7/26-29 秋季：R3/9/27-30
阿木川ダム	○確認種数：141科865種 ○重要種：41種(シデコブシ、ヘビノボラズ、ツルカミカワスゲ、ヒゴスミレ、クラガリシダ等) ○外来種：112種(イタチハギ、<u>アレチウリ</u>、<u>オオキンケイギク</u>、<u>オオハンゴンソウ</u>等)	春季：R3/5/6,11~13 秋季：R3/9/27~29
味噌川ダム	○確認種数：707種 ○重要種：11種(ギンラン、ボタンネコノメソウ、サナギイチゴ、ギンレイカ、メハジキ等) ○外来種：87種(<u>アレチウリ</u>、<u>オオハンゴンソウ</u>等)	春季：R3/5/19-6/8 秋季：R3/9/14-10/4
岩屋ダム	○確認種数：123科622種 ○重要種：24種(サヤマスゲ、チョウジソウ、ミヤマナミキ、イナモリソウ等) ○外来種：7種(コヌカグサ、メリケンカルカヤ、アメリカセンダングサ等)	春季：R3/5/10~12 秋季：R3/10/5-6
丸山ダム	○確認種数：146 科837種 ○重要種：60種(ヘビノボラズ、ハナノキ、サギソウ、モウセンゴケ、ムギラン等) ○外来種：40種(ナヨクサフジ、ナンキンハゼ、<u>アレチウリ</u>、<u>オオキンケイギク</u>等)	春季：R3/5/17-21 夏季：R3/8/9-12 秋季：R3/10/11-15
横山ダム	○確認種数：138科804種 ○重要種：8種(イワヤシダ、エビネ、コケイラン、ミズマツバ、テツカエデ等) ○外来種：22種(メリケンガヤツリ、イタチハギ、ニワウルシ、セイタカアワダチソウ等)	春季：R3/5/17-21 夏季：R3/8/9-12 秋季：R3/10/11-15

注) 外来種(下線)は特定外来生物

フォローアップ調査

ダム名	調査結果	調査日
寒狭川堰	【魚類】 ○確認種数：7目11科30種 ○重要種：9種(スナヤツメ類、ニホンウナギ、アカザ、ウツセミカジカ（降海回遊型）等) ○外来種：4種(コイ（型不明）イチモンジタナゴ、ビワヒガイ、ギギ) 【底生動物】 ○確認種数：9綱25目96科264種 ○重要種：6種(ヒラマキミズマイマイ、オオアメンボ、ナベブタムシ、ケスジドロムシ等) ○外来種：3種(カワヒバリガイ、フロリダマミズヨコエビ、アメリカザリガニ) 【付着藻類】 ○確認種数：4綱11目19科88種 ○重要種：1種（タンスイベニマダラ） ○外来種：(該当種なし) 【動植物プランクトン】 ○確認種数：植物プランクトン7綱10目22科89種 動物プランクトン6門12綱18目29科50種 ○重要種・外来種：(該当種なし)	春季：R3/6/1-2,8-10 夏季：R3/8/30-9/2 秋季：R3/10/25-28 冬季：R4/1/11-14
長良川河口堰	【植物】 ○確認種数：37目85科433種 ○重要種：18種(イトトリゲモ、ホザキマスキサ、タコノアシ、カワジシャ、ミゾコウジュ等) ○外来種：55種(オオフサモ、アレチウリ、オオカワヂシャ、オオキンケイギク等) ○魚道等及び堰上流における回遊性魚類等の遡上・降下の状況調査を実施	春季、秋季

注) 外来種(下線)は特定外来生物

ヒメカンアオイ生育状況及びギフチョウの生息状況の把握

- ・小里川ダム建設に伴う環境保全対策として、平成12年に湛水域に生育していたギフチョウの食草であるヒメカンアオイの移植が実施されている。
- ・令和3年度調査では、移植先でのヒメカンアオイの生育状況及びギフチョウの生息状況調査を実施した。
- ・調査地点はヒメカンアオイ移植地(st.3)及び、過年度にギフチョウの生息が確認された小里川ダム上流の土捨て場付近とした。
- ・現地調査の結果、移植地(st.3)ではギフチョウは確認されなかったが、移植したヒメカンアオイは約30株生育しており、定着が確認された。
- ・一方、小里川ダム上流の土捨て場では、多数のヒメカンアオイとギフチョウの卵、幼虫が確認された。
- ・令和3年度の調査結果から、移植地ではヒメカンアオイの定着が確認されたが、ギフチョウは未確認であったが、小里川ダムからやや離れた場所では生息環境が残されている状況であることが確認された。
- ・ギフチョウの生息に関しては、小里川ダムフォローアップ委員会で「今後の課題」として取り上げられていることから、令和4年度以降も生息状況をモニタリングしていく。

■移植地の状況(令和3年調査時)



St. 3 ヒメカンアオイ移植地



St. 3 ヒメカンアオイ移植地
(ギフチョウ卵なし)



土捨て場付近 ヒメカンアオイ生育地
(ギフチョウ卵確認)



土捨て場付近 ヒメカンアオイ生育地
(開花状況)

7. 生物 (4) 環境保全対策の実施状況 徳山ダム

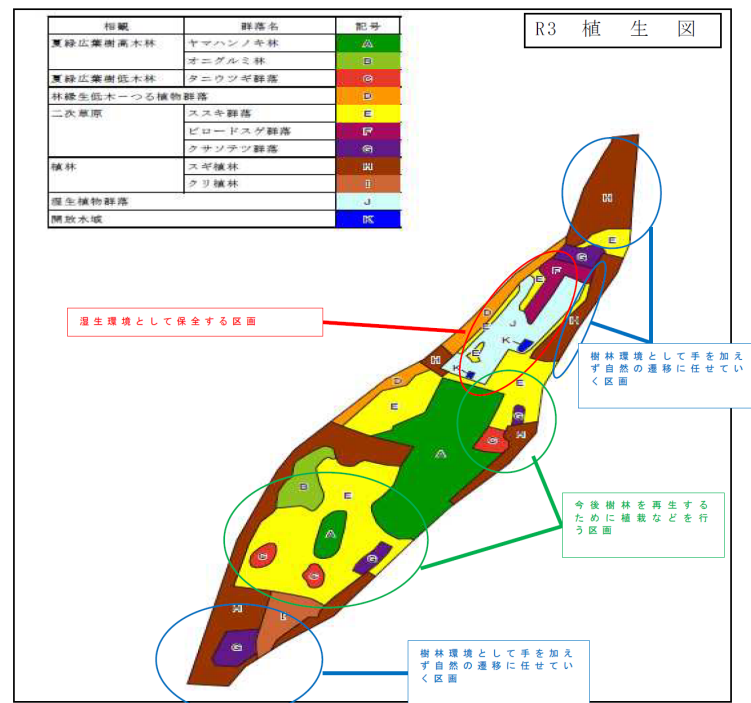
<71>

湿生地の整備

- ・徳山ダムにおける環境保全対策の一環として整備された湿性地及び新たに創出された湿性地において、整備後（創出後）の効果検証のため、生物の生息・生育状況を把握することを目的として実施した。
- ・令和3年度に現況の湿性地4箇所（会所、戸入、原石山、白谷）と「甚しゃく湿性地」の環境調査を実施し、整備後に「甚しゃく湿性地」で確認された種と概ね同程度の動植物の生息・生育を確認している。
- ・今後は湿性地の機能が維持されている湿性地や新たに発見した湿性地を継続的に巡視していく体制を作って管理し、湿生池環境の維持・確保に努めていく。
- ・「甚しゃく湿性地」は、湿生環境として保全する区画以外の場所について、周辺の在来樹種による森林再生等を検討していく。

■ 甚しゃく湿性地の今後の森林再生計画(素案)

■ 確認された両生類、爬虫類



8. 水源地域動態 (1) ダム湖利用状況

<72>

ダム湖利用状況①

ダム名	利用形態	令和元年度(最新の調査結果)の利用状況(長島ダムのみ令和2年度の調査結果)
美和ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は3.5万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「スポーツ」が最も多く64.3%、次いで「散策」が21.3%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、67.4%となっています。
小渋ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は3.1万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「施設利用」が最も多く71.3%、次いで「釣り」の12.4%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、76.9%となっています。
新豊根ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は1.6万人と推計され、利用形態別の利用状況は、ダム見学やダムカード収集を目的とした「その他」が31%、次いで「散策」が31.0%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、66.0%となっています。
寒狭川堰	該当なし	該当なし
矢作ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は4.0万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く35.7%、次いで「施設利用」の34.7%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、58.6%となっています。
小里川ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は6.9万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く71.6%、次いで「施設利用」が23.2%でした。 利用場所はダム本体の利用が最も多く、95.7%となっています。
長島ダム	スポーツ 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は6.9万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く52.2%、次いでは「施設利用」が26.5%でした。 利用場所は貯水池中央部の利用が最も多く、95.7%となっています。

8. 水源地域動態 (1) ダム湖利用状況

<73>

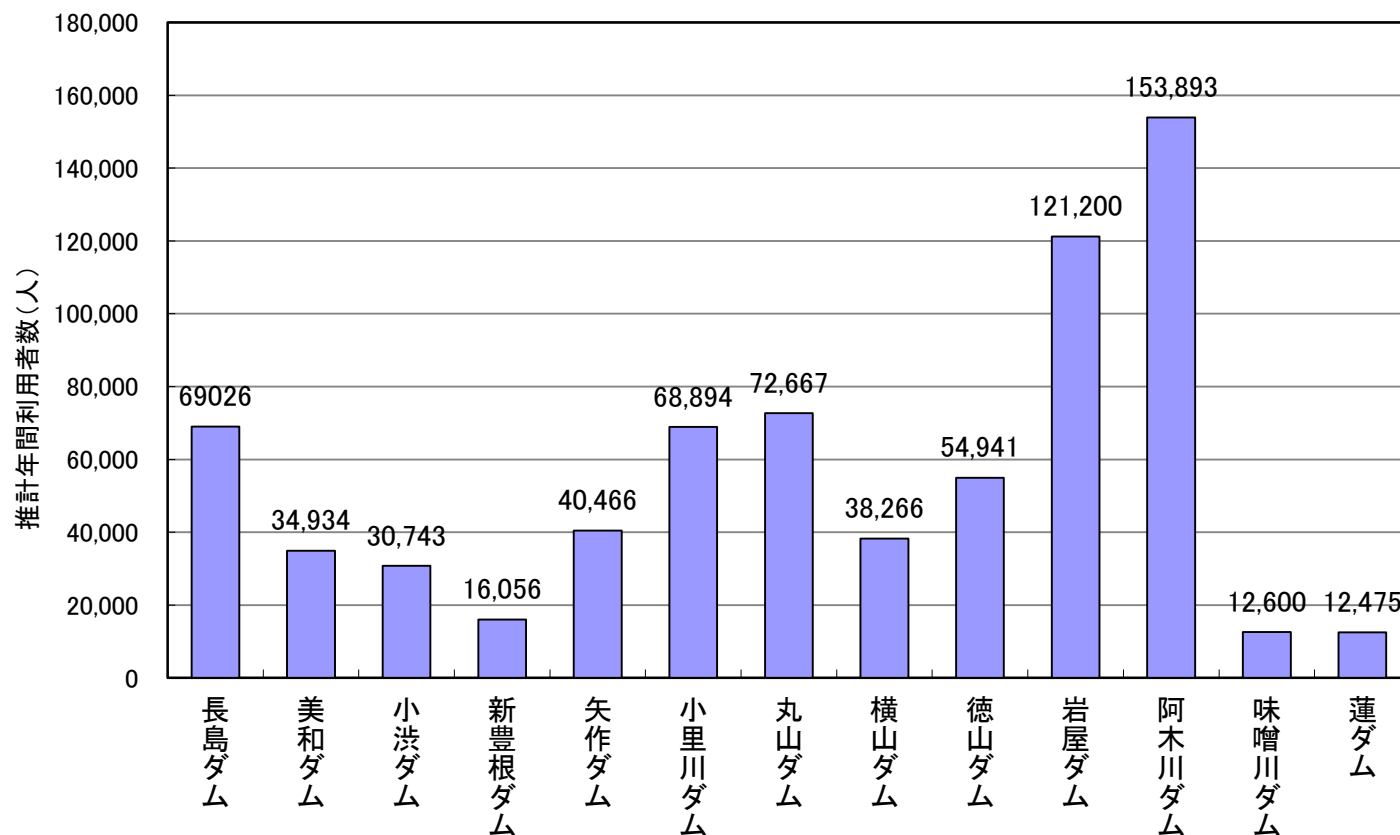
ダム湖利用状況②

ダム名	利用形態	令和元年度(最新の調査結果)の利用状況
丸山ダム	スポーツ 釣り 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は7.3万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「野外活動」が最も多く33.3%、次いで「散策」が24.56%でした。 利用場所は人道の丘公園の利用が最も多く、42.0%となっています。
横山ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は3.8万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「施設利用」が最も多く51.0%、次いで「スポーツ」が28.0%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、95.4%となっています。
徳山ダム	スポーツ 釣り 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は5.5万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く71.6%、次いで「施設利用」が21.8%でした。 利用場所はダムの利用が最も多く、全体の53.9%となっています。
岩屋ダム	スポーツ 釣り 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は約12.1万人と推計され、道の駅の施設やキャンプ場等の観光レクリエーション施設等の利用がダム湖利用形態の大部分を占めています。
阿木川ダム	スポーツ ボート 野外活動 その他 釣り 散策・休息 施設利用	年間利用者数は15.4万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「施設利用」が42.6%、「散策・休息」が42.0%と多く、次いで「野外活動」が12.0%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、全体の85.5%となっています。
長良川河口堰	該当無し	該当無し
味噌川ダム	スポーツ 釣り 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は1.3万人と推計され、そのうち散策がダム湖利用形態の大部分を占めています。
蓮ダム	スポーツ 釣り ボート 散策 野外活動 施設利用 その他	年間利用者数は1.2万人と推計され、利用形態別の利用状況は、「散策」が最も多く37.2%、次いで「施設利用」が28.6%でした。 利用場所は湖畔の利用が最も多く、91.3%となっています。

8. 水源地域動態 (1) ダム湖利用状況

<74>

ダム湖利用状況③



推計年間利用者数（令和元年度）

※河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）より
※長島ダムのみ令和2年度

8. 水源地域動態 (2) 水源地域ビジョン

<75>

水源地域ビジョンの策定と令和3年度の推進状況等①

ダム名	策定年度	策定・推進のキーワード	主なイベント実施状況
長島ダム	平成16年3月	◎取り組みの方向性: 流域の交流・連携の促進 水源地域のネットワーク強化	・twitter情報発信 ・長島ダムライトアップ ・ダム内部見学 ・Youtubeによる長島ダム周辺のドローン撮影映像の紹介
美和ダム	平成15年度	① 南アルプスの山々、三峰川、美和湖・高遠湖の自然環境を保全し、活用します。 ② 山村文化を地域内で育て楽しむとともに、他地域の人々との交流を促進します。 ③ 暮らしや生業を活性化し、いきいきとした水源地域とします。	・ダム見学ツアーの実施(ダム見学、土砂バイパストンネル見学)
小渋ダム	平成17年度	1. 小渋川流域住民、関係行政機関の連携 (流域内の協働と連携) 2. 小渋川の水を軸とした地域間交流の促進 (流域外との交流促進) 3. 小渋川流域の産業の振興と育成 (第一次産業を基盤とした産業振興) 4. 自然環境・文化環境の活用 (自然・歴史文化とのふれあい) 5. 地域との連携を促進するための環境整備 (地域の魅力の基盤となる自然環境の保全と整備/ 地域の総合的な情報発信)	・ダム見学ツアーの実施(ダム見学、キャットウォーク見学)
新豊根ダム	平成18年3月	◎ ビジョンの基本方針 「情報」 「自然環境」 「人材育成」 「観光交流」	・行事の実施なし

8. 水源地域動態 (2) 水源地域ビジョン

<76>

水源地域ビジョンの策定と令和3年度の推進状況等②

ダム名	策定年度	策定・推進のキーワード	主なイベント実施状況
矢作ダム	平成18年3月	◎基本理念五ヶ条 一. わごころ※の交流を楽しみ、矢作ダム水源地域の活性化を図る。 一. 地域の歴史文化と伝統を誇りとする。 一. 豊かな森林資源と清流・矢作川を誇りとする。 一. 人を慈しみ、自然を慈しむ、やすらぎの郷を誇りとする。 一. 山の幸、水の幸に恵まれたふるさとを誇りとする。	・奥矢作森林フェスティバル(矢作ダム見学(試験放流)、魚つかみ体験、カヌー体験、水源地域物産展 等)
小里川ダム	平成15年度	◎ビジョンの推進手法 ①ダム事業の影響・効果に関する情報を提供し、 ②それを踏まえた地域振興方策を地域住民自らが考える為の支援を行い、 ③多くの地域住民の参加の下、地域の将来像を描き ④下流域住民の協力を得て実効性のある取組みを具現化させることにより、 ⑤地域振興への地域住民の主体的な行動を喚起し、 ⑥様々な地域振興に向けた動きを可能な限り支援する。	・小里川ダム周辺の見学会
丸山ダム	平成19年3月	◎ビジョンの実現方策 1.まちのにぎわいづくり 2.川・ダムを活かした魅力づくり 3.交流ネットワークづくり	・ダム見学ツアー ・日本酒の貯蔵を令和3年12月から開始、丸山ダム貯蔵酒の開発
横山ダム	平成15年7月	◎ビジョンのテーマ ①緑豊かな自然に学ぶ奥いび(自然資源の活用を軸に展開) ②揖斐川の流れが育む奥いび(揖斐川を軸に上下流交流について展開) ③地場産業と歴史文化が創る魅力の奥いび(地域性を軸に振興策について展開)	・木曽川上流河川事務所 横山ダムのHPに「森と湖に親しむ旬間の期間限定動画」を投稿 ・横山ダム堤体内見学

8. 水源地域動態 (2) 水源地域ビジョン

<77>

水源地域ビジョンの策定と令和3年度の推進状況等③

ダム名	策定年度	策定・推進のキーワード	主なイベント実施状況
徳山ダム	平成18年度	★揖斐の防人・中部の水瓶としての上流域環境を、みんなで守り育てる ★自然の叡智や風土など水源地域そのものを「水と森の自然博物館」として、学び、やすらぐ ★流域ぐるみで協働し、流域文化の創造と展開を図る	・ダム見学 ・実のなる木を植えよう大作戦(植樹)
岩屋ダム	平成14年度 (平成15年3月)	岩屋ダムの活用 観光機能の強化 環境の保全 地域参加・交流の推進	・ダム施設見学会、環境体験学習会
阿木川ダム	平成16年度	I 地域環境の保全と向上 II 地域観光の活性化 III 阿木川ダムの有効利用 IV 地域産業の振興 V 地域や阿木川ダムのPR推進	・メモリアルマーチ(阿木川湖周辺のハイキング)
長良川河口堰	該当無し	該当無し	・行事の実施なし
味噌川ダム	平成13年度	◎ ビジョンの基本方針 『～先ずは～ 地域を知り、地域に誇りを持とう。』 『～次に～ 地域資源を活かし、地域経済の活性化を図ろう。』	・行事の実施なし
蓮ダム	平成15年3月	◎ ビジョンの取り組み ・ダム周辺のハード整備・ソフト対策 ・水を軸とした地域間交流 ・地場産業の振興	・蓮ダム30周年記念カード及びリーフレット配布 ・中部地整公式Youtubeに30周年記念として試験湛水時放流映像等を紹介(森と親しむ旬間行事)

8. 水源地域動態 (2) 水源地域ビジョン

<78>

主なイベントの実施状況（令和3年度）



矢作ダム代替放流の見学



小里川ダム湖周辺
ウォーキング



小渋ダム減勢工開放イベント



長島ダム
(twitterによる情報発信)



【蓮ダム】#7 30周年記念試験湛水時試験放流映像紹介【もりみず】

蓮ダム(動画投稿)



徳山ダム植樹活動

8. 水源地地域動態

(2) 水源地地域ビジョン ^{<79>}



長島ダム



美和ダム



小渋ダム



新豊根ダム



矢作ダム



小里川ダム



丸山ダム



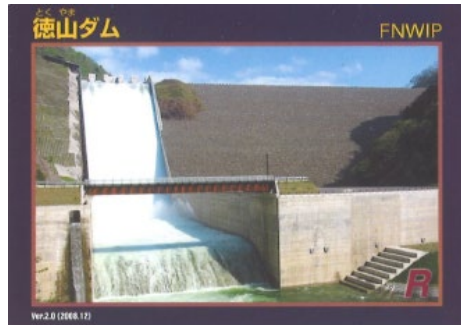
横山ダム

ダムカード①

※ダムカード：ダムの写真や形式等の情報が記載され、ダム管理所で無料配布されている、縦6.3cm×横8.8cmのカード

8. 水源地域動態

(2) 水源地域ビジョン <80>



徳山ダム



岩屋ダム



阿木川ダム



長良川河口堰



味噌川ダム



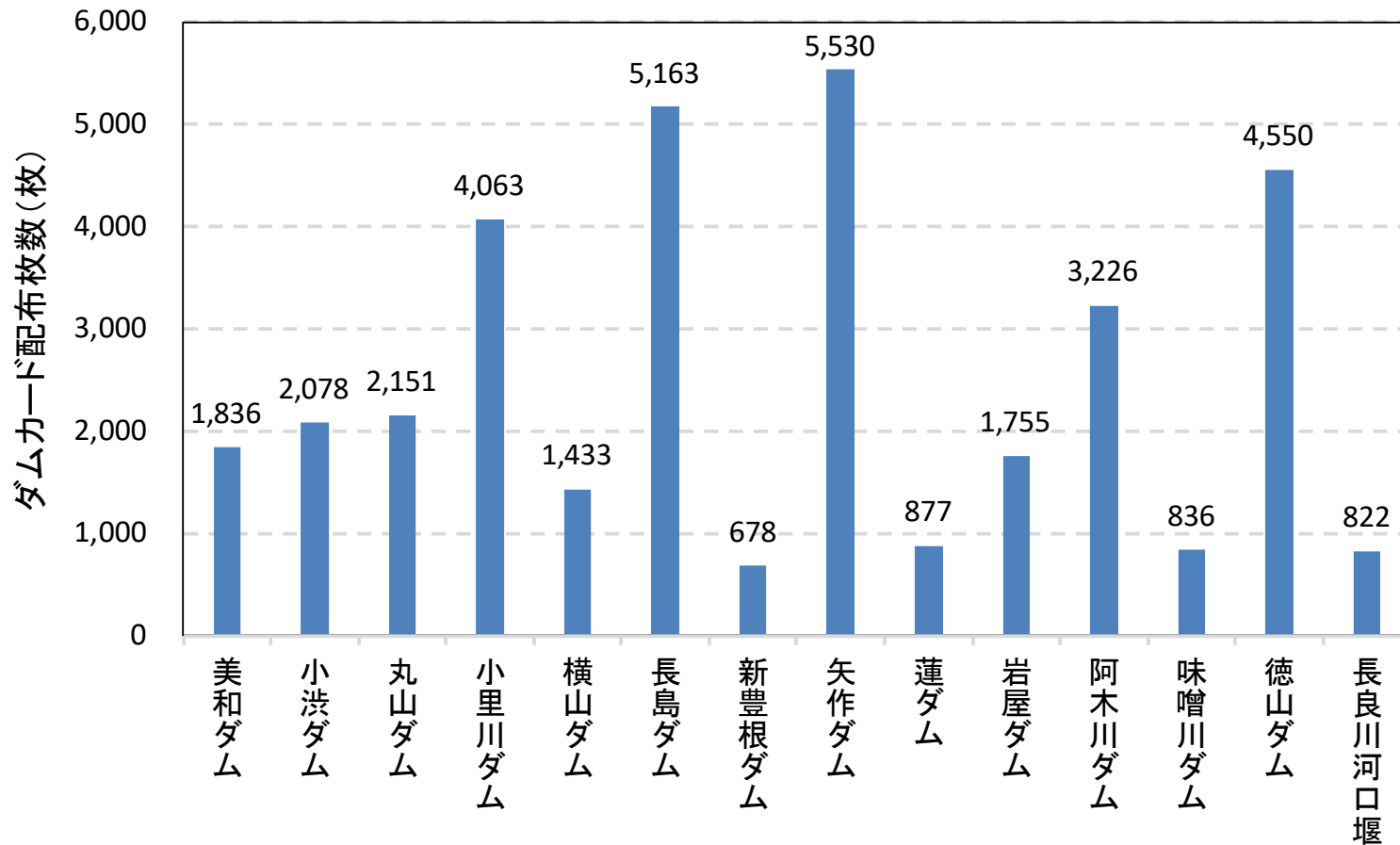
蓮ダム

ダムカード②

※ダムカード：ダムの写真や形式等の情報が記載され、ダム管理所で無料配布されている、縦6.3cm×横8.8cmのカード

8. 水源地域動態 (2) 水源地域ビジョン

<81>



ダムカード配布枚数（令和3年度）